

ニ於ケル圖面ニハ三葉聯續スルモ後者ニ於テハ二葉聯續シ又前者ノ葉書ノ上部ニアル切斷線(ニ)ハ後者ニ在リテハ側部ニ在ルトノ相違アルモ此ノ如キハ決シテ新規ノ考案ニ屬スルモノニ非スシテ被請求人カ登録標記ヲ附シテ販賣セル懷中葉書發行帳カ只一枚ノ葉書ヲ數葉重ネテ綴着シ數枚ノ聯續シアラサルニ徴シテモ明瞭ナリ即チ被請求人ノ登録ヲ得タル葉書發行帳ナルモノハ全ク請求人所有ノ第七九號登錄實用新案權ノ範圍内ニ包含セル部分ヲ分離シタルニ止マリテ新規ノ考案ト謂フヘキモノニ非ス被請求人ハ第七八七號實用新案ハ第七九號實用新案請求範圍中ノ(ハ)及(ニ)及(ヒ)ノ各部ヲ有セサルカ上ニ第七八七號實用新案ニ於テハ發信ノ要領ト宛名ト同一紙面ニ複寫スルノ構造ナルカ故ニ二者ノ間劃然タル區別アリ又實用新案權ハ特許ノ請求範圍ノ如ク權利ヲ數項ニ分割スルコトヲ許サレサルモノナレハ其ノ請求範圍ノ或部分ヲ分離シタルモノニ對シテハ權利ノ保護ヲ得ヘカラスト抗辯スト雖第七八七號實用新案ノ構造ハ第七九號實用新案ノ半製品ニ對シ普通考案ヲ加ヘタルニ過キス又實用新案權ノ一半ヲ分離シタル場合ニ於テ權利撞着ヲ生スルモノニ非ストセハ畢竟實用新案ノ登錄ハ其必要ナキニ至ルヘシト謂フニ在リテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至同第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ第七八七號登錄實用新案ハ第七九號登錄實用新案ノ請求範圍中複寫臺紙(ハ)筆插(ニ)紙插(ニ)及副紙(リ)各部ヲ除キタルモノト全ク同一構造ニシテ何等新規ト認ムヘキ點ナシト主張スルモ第七九號實用新案ノ請求範圍中副紙(リ)ナルモノハ之ナキノミナラス請求人所有ノ第七九號實用新案ハ上述ノ(ハ)及(ニ)及(ヒ)其ノ他ノ各部ヲ湊合シテ初メテ一ノ實用新案タルコトヲ得ルモノナリ而シテ實用新案ナルモノハ請求人所論ノ如ク任意ニ其請求範圍ノ或部分ヲ取捨シテ別途ニ權利ヲ生シ得ヘカラストハ勿論特許ノ請求範圍ニ於ケルカ如ク權利ヲ數項ニ分割スルコトヲ許サレサルモノナルカ故ニ今請求人ノ主張スル所ハ殊更ニ自己ノ請求範圍中ノ

幾分ヲ除去シテ以テ強テ被請求人ノ權利ニ撞着セシメントスルモノニシテ其ノ不法ナルコト論ヲ俟タス且ツ請求人ノ第七九號實用新案ハ表裏ノ控ヲ別々ニ複寫スルノ構造ニシテ被請求人ノ第七八七號實用新案ハ發信ノ要領ト宛名ト同一紙面ニ複寫スルノ構造ナルカ故ニ二者ノ間ニ劃然タル區別アルモノト謂フヘシ第七九號實用新案ト第七八七號實用新案トハ何レノ點ヨリ見ルモ撞着シタル理由ナキモノト確信スト云フニアリテ其申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證及同第二號證ヲ提出セリ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類竝ニ證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ハ私製端書ニ複寫紙ヲ添附シテ數葉ヲ綴リタル點ヲ以テ新規ノ考案ナルカ如ク論辯スルモ斯ノ如キハ從來ヨリ郵便局商店等ニ於テ使用シ來リタル受取證ニ複寫紙ヲ添附シテ綴リタルモノニ比シ新規ト認ムヘキ點ナキヲ以テ本件登錄實用新案第七九號ハ其登錄請求範圍ニ記載セル如ク二枚連續セル私製はかきヲ其ノ一葉毎ノ表裏ニ各一枚ツ、ノ複寫紙ヲ添附シテ數葉ヲ綴リテ之ニ二枚ノ表紙(イ)(ニ)ト複寫臺紙(ハ)トヲ連續シテはかき綴リノ左右何レニモ轉廻スヘク表紙(イ)ニ綴着ケ表紙(ニ)ニ連續部ニ筒狀ノ筆插(ニ)ヲ附設シ表紙(ニ)ノ裏面ニ廣キ紙插(ニ)ヲ附設シテ成ル複寫帖ニ對シ實用新案權ヲ有スルモノトナサ、ル可カラス然ルニ被請求人ノ登錄實用新案第七八七號ハ其ノ圖面及圖面ノ説明ニ依ルトキハ三枚連續シタル端書ノ裏面ニ各端書ノ大サニ相當スル境界線及發信番號及宛名ヲ記入スヘキ別欄ヲ設ケタル控用紙一枚ヲ重ネテ一組トシ之ヲ數組綴リ合セテ一冊トシ普通ノ表紙ヲ附シテ成リタル端書發信帳ニシテ之ヲ登錄實用新案第七九號複寫帖ト對照スルニ彼ト是トハ別構造ヨリ成ルモノニシテ前者ハ端書一葉ニ對シ其ノ裏面ニ一枚ノ控用紙ヲ用フルモノナルカ故ニ殘存ノ端書ハ常ニ複寫臺ノ用ヲ爲スヲ以テ別ニ複寫臺紙ヲ要セスト雖モ後者ニ在リテハ端書ノ表裏ニ各一枚ノ複寫紙ヲ附シ端書ノ兩面ヲ複寫スルモノナルカ故ニ其ノ一面ノ複寫ニ對シテハ複寫臺紙ノ必要ヲ生スルカ如キハ兩者ノ構造相違ヨリ

來ル結果ニ外ナラス故ニ登録實用新案第七九號複寫帖ノ權利ハ登録實用新案第七八七號端書發信帳ニ及
ハサルモノトス

右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治三十九年十二月二十四日於特許局

審判長 特許局事務官 中松 盛雄
特許局技師 鈴木 千代吉
特許局事務官 人見 次郎

第一千二十四號

京都府天田郡福知山町字蘆屋 請求人 藤井俊三郎
兵庫縣城崎郡豐岡町五十一番地 被請求人 白木信夫
右藤井俊三郎ヨリ白木信夫ニ對シ第一〇五號實用新案登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ
審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第一〇五號揚水器ハ實用新案法第一條第二項第一號ニヨリ無効トス
ト審決相成度其ノ理由ハ該實用新案ハ請求人カ昨年來製造販賣セルモノヲ被請求人カ模擬剽窃シテ自己
ノ案出セシモノ、如ク裝ヒ出願セシモノナリ被請求人ハ其ノ共同發明人中島彌助ヲ請求人カ誘ヒテ雇人
トシ同人ヲ通シテ被請求人ノ考案ヲ剽窃シ製造販賣シタルモノナリト答辯スレトモ全然虛構ニシテ請求

人ハ中島彌助ノ指導ヲ受ケシモノニアラス請求人カ苦心案出ノ末其ノ創作ヲ天田郡福知山町清水音吉ナ
ルモノニ托セシハ明治三十八年七月三日ニシテ請求人カ中島彌助ニ面會セシハ被請求人モ認ムル如ク明
治三十八年七月二十三日ナルヲ以テ見ルモ請求人ノ製作セル揚水器ノ被請求人及中島彌助ノ考案ヲ模擬
セシニアラサルハ明ナリト云フニアリテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ
被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ中島彌助トノ共同出願
ニカ、ル特許出願第二八四三八號輕便揚水機ノ拒絕査定ヲ受ケ且該器ノ揚水程度低キヲ以テ明治三十八
年春頃ヨリ其改良ニ苦心シ種々考案ノ末之ヲ中島彌助ニ相語リタルコトアリシカ被請求人ハ明治三十八
年七月二十三日兵庫縣豐岡町ニ來リ中島彌助ヲ雇用スルコトニ契約シ中島彌助ヲシテ製作ニ從事セシメ
以テ販賣スルニ至リタルモノナリ本件揚水器カ請求人ノ考案ニアラスシテ被請求人ノ考案ヲ剽窃シテ製
造販賣セルモノナルコトハ被請求人ノ問責ニ對シ常ニ謝罪シ又數度同意味ノ書面ヲ送り來リタルヨリ見
ルモ明ナリト云フニアリテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證乃至同第十號證ヲ提出セリ

本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件登録實用新案第一〇五號揚水器ハ其ノ登録出願前ヨリ請求人カ製造販賣セルモノニシテ實用新案
法第一條第二項第一號ヨリ無効タルヘキモノナリト云フ請求人ノ申立ニ對シ被請求人ノ主張ハ請求人カ
本件揚水器ヲ自己ノ新案ノ如ク申立ルモ實ハ明治三十八年七月月中島彌助ヲ雇用シ同人ヲ通シテ被請求人
ノ考案ヲ剽窃シ以テ偽造販賣セルモノナリト云フニアルヲ以テ考案者ノ何人ナルヤハ之ヲ別個ノ問題ト
シ本件揚水器カ其ノ登録出願前請求人ノ手ニヨリテ公用セラレタルコトハ被請求人モ之ヲ認ムルモノト
云ハサルヘカラス登録出願前既ニ公用ノ事實アリトスレハ實用新案法ニ所謂公用ハ其ノ原因ヲ區別セサ
ルモノナルヲ以テ本件登録實用新案ハ登録實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同法第三十一條ニヨ

リ無効タルヘキモノナリ斯ノ如クシテ本件實用新案ノ登録無効タル以上ハ考案者ノ何人ナルヤハ審理ノ限ニアラス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

實用新案第一〇五號揚水器ノ登録ハ無効トス

明治三十九年十二月二十七日於特許局

審判長 特許局事務官 中松 盛雄
特許局技師 鈴木 千代吉
特許局事務官 人見 次郎

第一千三十三號

大阪市北區堂島船大工町二十七番屋敷

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者

大阪市東區備後町二丁目五十四番地

請求人 高橋 岩吉
右代理人 淺村 三郎
右代理人 佐々木 高吉
被請求人 森 下 博
右高橋岩吉ヨリ森下博ニ對シ第一六二〇號實用新案登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ明治三十九年三月十五日實用新案登録ヲ出願シ同年三月二十六日登録ヲ得タル登録第一六二〇號實用新案丸藥容器ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其理由ハ被請求人ノ第一六二〇號實用新

案登録丸藥容器ハ其ノ出願以前ヨリ類似ノ物品カ帝國内ニ於テ公ニ用ヒラレタルモノニシテ實用新案法第一條ノ規定ニ違ヒ登録ヲ得タルモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ主張ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出シタリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ實用新案ノ登録ヲ得タル第一六二〇號丸藥容器ハ被請求人ノ創始ニ係ルモノナリト云フニアリテ其主張ヲ確ムル爲メ乙第一號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件係争ノ第一六二〇號實用新案權ハ明治三十九年七月二十七日被請求人ヨリ其ノ拋棄ノ旨届出テ同年八月十一日其ノ登録ヲ抹消シ權利消滅シタルヲ以テ本件請求ノ目的ハ既ニ消滅シタルモノナリ
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
本件請求ハ之ヲ却下ス

明治三十九年十二月二十七日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪田 貞一
特許局事務官 宿利 英治
特許局事務官 永井 亨

第一千八百號

長野縣北佐久郡三岡村森山七百三番地

請求人 鹽川 伊一郎

東京市麴町區内幸町一丁目五番地特許代理業者
長野縣北佐久郡三岡村森山九百六十番地

右代理人 平松市藏
被請求人 日本桃養株式會社

右法定代理人同社社長

鹽川貞五郎

* 四十八

右鹽川伊一郎ヨリ鹽川貞五郎ニ對シ第三三三七號實用新案登錄ヲ無効ニスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ明治三十九年十月一日鐘詰用洋桃脫皮器ニ付受ケタル第三三三七號實用新案登錄ハ之ヲ無効トストノ審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ(一)實用新案第三三五三號鹽川式果實皮取器ニ付明治三十八年八月八日登錄出願ヲナシ其請求範圍ハ「刃ト臺柄トヲ平面ニシテ勾配ナク刃ノ裏面ニ長形ノ穴ヲ設ケ其ノ上ニ螺旋狀ノ捻子ヲ嵌裝シ刃ヲ上下シ得ル様ニナシ厚薄自由ニ果實ノ皮ヲ取り得ル裝置」トシ之ニ圖面ノ說明ヲ加ヘテ明瞭ナラシメ同年九月十五日登錄ヲ受ケタリ(二)實用新案第二二四〇號刃付皮引器ニ付明治三十九年五月三十日登錄ヲ受ケ其ノ請求範圍ハ右(一)ト殆ント同一ニシテ只該器ノ柄ニ差ヲ設ケタルノミ(三)實用新案第三五五六號果實剝皮器ニ付明治三十九年十月二十七日登錄ヲ受ケ其ノ請求範圍ハ刃ヲ上下スヘキ螺旋捻子ヲ嵌裝セサルノミニシテ他ハ右(一)ト略ホ同一ナル構造ナリ然ルニ被請求人ハ實用新案第三三三七號鐘詰用洋桃脫皮器ニ付明治三十九年十月一日登錄ヲ受ケタルモ右ハ其構造ニ於テ請求人ノ右(一)(二)(三)ノ實用新案ノ請求範圍内ニ於テ構成セラレタルモノニシテ同一ナルコト明瞭ナリ假リニ數歩ヲ譲リテ之ヲ同一ナラストスルモ其類似タルコトハ殆ント爭フヘカラス今其多少ノ差異ト見ルヘキ點ヲ擧クレハ請求人ノ(一)(二)(三)ノ實用新案ハ刃ニ剝カレタル皮ノ直ニ背面ニ排出スヘキ穴ヲ設ケタルニ被請求人ノ第三三三七號ハ其ノ穴ヲ上方ニ向ケタルト又被請求人ノ第三三

三七號ニハ臺柄ニ指輪ヲ設ケタルトノ二點アルノミ而モ其ノ兩點ハ却テ使用上ノ不便ヲ來スモノナリ是レ被請求人カ同一又ハ類似タルノ非難ヲ免レン爲メ故ラニ變更模製シ後日藉口ノ餘地ヲ作ラントスルヨリ爲サレタル差異ニシテ其ノ他ニ於テハ全然請求人ノ右(一)(二)(三)ト同一ナルノミナラス其ノ出願モ亦其ノ以後ニ在ルカ故ニ第三三三七號ハ同一又ハ類似ノモノトシテ登錄スルヲ得サル無効的ノモノタルノミナラス其ノ出願ノ際ハ已ニ公知公用ノモノタルコト明ナリト云フニアリ而テ其ノ申立ヲ確ムル爲メ請求人及被請求人ノ實用新案登錄出願ニ關スル書類取寄セノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ登錄ヲ受ケタル第三三三七號實用新案ハ請求人ノ第三三五三號第二二四〇號及第三五五六號登錄實用新案ニ同一若クハ類似ナリト云フト雖被請求人ノ登錄脫皮器ハ登錄請求範圍ニ於テ明示セル如ク指輪ヲ有シ且圖面ニ示セル如キ特別ナル脫皮器ニシテ請求人ノ登錄セシ三器ニ對照セハ其ノ構成及作用ノ點ニ於テ異レリ而シテ請求人ハ被請求人ノ脫皮器ニ於テ穴ノ上方ニ向ヘルト指輪ヲ附セルト不便ノ如ク唱フルモ被請求人ハ數年來ノ實驗ニヨリ該器ヲ至便ナルモノトシテ使用シ居レリ要スルニ被請求人ノ登錄脫皮器ハソノ構成及作用ノ點ニ於テ請求人ノ登錄セシ三器トハ全然工夫ヲ異ニシテ確カニ實用的效果アリト云フニアリ而シテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ請求人及被請求人ノ實用新案登錄出願ニ關スル書類取寄セノ申請ヲ爲セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ハ被請求人ノ第三三三七號實用新案ハ其ノ構造ニ於テ請求人ノ有スル第三三五三號第二二四〇號及第三五五六號登錄實用新案ノ請求範圍内ニ於テ構成セラレタルモノニシテ同一若クハ類似ナリト云フト雖被請求人ノ有スル第三三三七號登錄實用新案ヲ請求人ノ右(一)(二)(三)實用新案ニ對比スルニ第三三三七號實用新案ニ在リテハ臺ノ裏面ニ指輪ヲ附着スルニ係ラス右(一)(二)(三)ノ實用新案ニ在リテハ之

* 四十九

ヲ缺キ又第三三三七號實用新案ニ在リテハ臺ナル薄板ノ上部ヲ其儘後方ニ折リ返シタルニ反シ右(一)
 (二)(三)ノ實用新案ニ在リテハ其ノ上部ノ中央ヲ切り去リ只兩端ノミヲ後方ニ折リ返スモノナルカ故ニ
 前者ニ在リテハ剝カレタル皮ヲ排出スル穴ノ上方ニ向ヘルニ反シ後者ニ在リテハ後方ニ向ヘリ其他第三
 三三七號實用新案ニ在リテハ刃ハ固定スヘク構成サレタルニ右(一)ニ在リテハ螺旋狀ヲ嵌装シ刃ヲ
 上下シ得ヘク構成シ又第三三三七號實用新案ニ在リテハ臺ハ一枚ノ薄板ヨリ成ルニ反シ右(二)ニ在リテ
 ハ螺旋釘ヲ以テ止メタル木柄ヲ附着シ又第三三三七號實用新案ニ在リテハ臺ノ上背部ニ控ナキニ反シ
 右(三)ニ在リテハ之ヲ附着セリ故ニ被請求人ノ有スル第三三三七號實用新案ハ請求人ノ有スル前記實用
 新案トハ明ニ構造上ノ差異アルヲ認メ得ヘク從テ被請求人ノ登錄實用新案ハ其ノ出願前ニ於テ請求人ノ
 前記實用新案カ公ニ用ヒラレタリトスルモ無効トナルヘキモノニアラス其他當事者間ニ於テ論辯スル所
 アリト雖本件審理ニ必要ナキニ依リ説明ヲ加ヘス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 請求人申立相立タス

明治三十九年十二月二十七日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局技師 鈴木千代吉
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三十七號

大阪市北區金屋町二丁目百五十五番屋敷 請 求 人 内 藤 熊 吉
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右 代 理 人 淺 村 三 郎
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右 代 理 人 佐 々 木 高 吉
 大阪市北區南同心町二丁目四百五十番地 被 請 求 人 原 知 作

右内藤熊吉ヨリ原知作ニ對シ第一〇九三號木杆屈撓器實用新案ノ權利確認ヲ求ムル爲審判ヲ請求シタル
 ニ依リ審理ヲ遂クル處
 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ登錄實用新案木杆屈撓器ハ其ノ出願前ノ出願ニ係ル請求人ノ特許第八五
 五七號木柄屈曲裝置ヲ使用スルニアラサレハ實施スルコト能ハサルモノナルコトヲ確認スト審決ヲ求ム
 其理由ハ請求人ハ甲第一號證ノ如ク明治三十八年三月十日附ヲ以テ從來完全ニ屈曲シ能ハサル木柄ヲ毫
 モ毀裂セシムルコトナク巧妙ニ屈曲セシムル目的ニ於テ扁平ナル押ヘ金(イ)ヲ木柄(ロ)ノ屈曲セントス
 ル部分ノ背面ニ附着シ環(ホ)ヲ有スル滑車(ニ)又ハ其ノ他適宜ノ裝置ニ依リ木柄(ロ)ト押ヘ金(イ)トノ
 先端ヲ共ニ鉤持シテ相重テタルマ、屈曲セシムヘクナシタル木柄屈曲裝置ナル範圍ニ於テ特許ヲ得タル
 モノナリ而シテ其ノ裝置ハ請求範圍竝ニ該明細書ノ記載ニヨリ之ヲ適宜ノ裝置ニナシ得ヘク之ヲ要スル
 ニ該特許ハ木柄(ロ)ト押金(イ)ノ先端ヲ鉤持シテ双方相重テタルマ、共ニ屈曲スルモノヲ權利範圍トナ
 スニアルハ論ヲ俟タヌ又被請求人ノ登錄實用新案木杆屈撓器ハ甲第二號證ニ示ス如ク木杆ト共ニ押金ノ
 用ヲナス平鎖(ヘ)ヲ鉤持シテ相重テタルマ、共ニ屈曲スルモノニシテ請求人ノ特許發明ト撞着スルモノ
 ト云ハサルヲ得ス假ニ平鎖(ヘ)ヲ使用スル點カ特許ニ於ケル押金(イ)ニ類似スル程度ニ至ラサルモノナ
 リトスルモ其ノ登錄實用新案ハ請求人ノ特許權利ヲ利用スルモノナリ特ニ押ヘ金(イ)ハ必ス金屬ニ限ラ
 ス他ノ適宜ノ材料ヲ用フルモ可ナリト明細書ニ記載シ押ヘ金(イ)ト稱スルハ「押ヘ」ノ意味ナルヲ言明シ

アル以上ハ特許請求範圍ハ木柄ト押ヘトヲ共ニ鉤持シテ之ヲ共ニ屈曲スル装置ナリト解スヘキヲ至當ト
 ス故ニ此種ニ屬スル殆ント凡テノ裝置ハ請求人ノ特許範圍ニ屬スルモノニシテ被請求人ノ木柄屈撓器モ
 此ノ範圍ヲ脫スル能ハスト云フニアリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人ハ其ノ所有ニ係ル特許第八五
 五七號ノ裝置中押ヘ金(イ)ハ金屬ニ限ラス適宜ノ材料ヲ用フルモ可ナリト明細書ニ記載シ押ヘ金(イ)ト
 稱スルハ「押ヘ」ノ意味ナルヲ言明シアル以上ハ特許請求範圍ハ木柄ト押ヘトヲ共ニ鉤持シテ之ヲ共ニ屈
 曲スル裝置ナリト解スヘキヲ至當トスルカ故ニ被請求人ノ登錄實用新案木柄屈撓器ハ請求人ノ特許範圍
 ニ屬スルモノナリト主張スルモ請求人ノ壘壁トセル所謂押ヘ金(イ)ナルモノハ大阪砲兵工廠ニ於テ請求
 人ノ特許出願前殆ント十年ノ昔ヨリ砲車ノ轆木又車輪ヲ製スルニ扁平狀ナル金屬片ヲ木材ニ當テ共ニ屈
 曲スルモノナルコト同廠ニ勤務スル人ノ皆能ク知ルトコロナルヲ以テ請求人主張ノ如ク極メテ漫然タル
 範圍ニ於テ特許權ヲ專有セラルヘキモノニ非ス請求人ノ特許ニ於テハ押ヘ金(イ)ヲ木柄(ロ)ノ背部ニ當
 テ一端ヲ共ニ鉤持シ他端ヲ押持シテ屈曲スヘキモノニシテ此裝置ニ依ルトキハ屈曲スルニ當リ押ヘ金
 (イ)ト木柄(ロ)トハ最初押持シタル時トハ移動シテ其所ヲ異ニシ其ノ先端(ホ)ニ鉤持セル點モ亦多少
 移動スルヲ免レサルモノニシテ其ノ不便尠カラズ然ルニ被請求人ノ實用新案ノ構造ハ其ノ屈撓スヘキ木
 柄ノ先端ハ支柱(ハ)ニ依リテ遮止セラレ且他端ハ螺旋杆(ト)ト締器(チ)ニ依リテ背面ニ沿ヒタル平鎖(ヘ)
 ト緊縮シテ伸縮スルヲ得ス故ニ其ノ背面ヨリ柄杆(ホ)ヲ持チテ滑車(ニ)ヲ滑ラシ屈撓スレハ豫定ノ部分
 ヲ容易ニ屈撓シ得ヘシ又其ノ内方ノ溝車(ロ)モ其ノ側面中央ヲ溝内ニ於テ分離スヘキ構造ニシテ屈曲セ
 ル木柄ヲ取外スコト極メテ容易ニナシ得ヘキモノニシテ其ノ構造效果共ニ請求人ノ特許トハ相違スルモ
 ノナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ハ本件特許第八五七號ノ特許範圍ハ木柄ト押ヘ片トヲ共ニ鉤持シテ之ヲ共ニ屈曲スルニアル如
 ク論スルモ其ノ附屬明細書ヲ通讀スルトキハ其ノ特許範圍ハ木柄(ロ)ニ押ヘ片(イ)ヲ重ネタルモノ、先
 端ヲ有溝滑車ノ一部ニ鉤持シ木柄ノ後部ヲ押ヘ片ト共ニ手若クハ其ノ他ノモノニテ押持シ滑車軸ヲ廻轉
 シテ之ヲ屈曲セシムル全體ノ裝置ナリトナスヲ至當トス何トナレハ從來鐵ヲ有スル滑車ニ木柄ノ先端ヲ
 鉤持セシメテ木柄ヲ屈曲スル裝置ハ公知ニ屬スルモノニシテ木枝等ヲ屈撓スルニ屈撓スヘキ部分ノ背部
 ニ押ヘ片ヲ添加スルコトハ從來ヨリ活花等ニ於テ行ハル、手段ニシテ是亦公知ニ屬スルヲ以テ請求人主
 張ノ如キ單ニ木柄ト押ヘ片トヲ共ニ鉤持シテ之ヲ共ニ屈曲スルコトヲ以テ發明ト認ムルコト能ハサレハ
 ナリ然ルニ被請求人ノ登錄實用新案木柄屈撓器ハ其ノ圖面竝ニ說明ニ依レハ屈撓スヘキ木柄ノ先端ハ支
 柱(ハ)ト溝車(ロ)トノ間ニ挿入セラレ其ノ他端ハ螺旋杆(ト)及締器(チ)ニ依リ背面ニ平鎖(ヘ)ヲ添ヘテ緊
 締シ其ノ背面ヨリ柄杆(ホ)ヲ持チテ轉子(ニ)ヲ滑ラセテ屈撓スルモノナリ今兩者ヲ對比スルニ特許木柄
 屈曲裝置ハ木柄ノ後部ヲ押ヘ片ト共ニ鉤持シ有溝車ヲ廻轉シテ屈曲スヘキ裝置ニシテ實用新案木柄屈撓
 器ハ木柄ノ後部ハ平鎖ト共ニ緊締シタル儘ニ之ヲ自由ニ放置シ屈撓部ノ背面ヲ轉子ヲ以テ壓迫シテ屈撓
 スルモノニシテ其ノ屈撓手段ニ於テ兩者相違スルモノトナサ、ル可カラス其ノ構造ニ於テ類似ノ部分ナ
 キニ非スト雖是等ハ發明ヲ構成セサル部分ニ於テ然ルノミ故ニ登錄實用新案木柄屈撓器ハ特許木柄屈曲
 裝置ノ特許範圍ニ屬セサルモノトス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 請求人申立相立タス

明治三十九年十二月二十八日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百二十號

前橋市細ヶ澤町七十一番地
前橋市清王寺村二十一番地

請 求 人 横 澤 金 八
被 請 求 人 黒 田 忠 次 郎

右横澤金八ヨリ黒田忠次郎ニ對シ第一三〇五號登録實用新案推肥斷ノ權利確認ヲ求ムル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣ニ係ル普通間鋏ニ利刀ヲ附シタルモノハ請求人ノ第一三〇五號登録實用新案推肥斷ト撞着スト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ普通ノ間鋏ニ利刀ヲ附シタルモノヲ製造セリ右ハ請求人所有ノ第一三〇五號登録實用新案推肥斷ト同等ナル構造ニシテ同一實用ニ適スルモノナリ何トナレハ請求人ノ登録請求範圍ハ鋏先ノ現出スルヤ否ニ係ラス單ニ間鋏ニ利刀ヲ附スルニアルモノナレハ其ノ構造ノ同一ナルコト明ナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ請求ハ之ヲ却下スト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ製作セシモノハ其ノ構造形狀及效用ニ於テ請求人ノ登録ヲ得タル推肥斷ト相異レリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ノ有スル第一三〇五號登録實用新案推肥斷ノ請求範圍ヲ調査スルニ其ノ新案タル所以ハ普通ノ間

鋏ニ於ケル鐵片ノ中央部ヨリ稍尖頭ニ接近セル部分ニ銳利ナル刀ヲ止釘ヲ以テ附着セシ點ニアリ而シテ被請求人ノ製作セシモノハ其ノ鐵片ノ尖端ニ利刀ヲ附着セシモノニシテ其ノ構造上明ニ兩者ノ差異ヲ認め得ヘシ故ニ被請求人ノ製作セシ間鋏ハ請求人ノ有スル前記實用新案ト撞着スルモノニアラス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治四十年一月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 松田啓太郎
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百五號

大阪市南區松屋町十一番地
大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番屋敷特許代理業者
大阪市南區瓦屋町四番丁十三番地ノ内二百五十番屋敷
大阪市東區島町二丁目五十六番屋敷特許代理業者

請 求 人 木 村 市 松
右 代 理 人 廣 井 代 藏
被 請 求 人 富 久 清 五 郎
右 代 理 人 川 口 秀 臣

右木村市松ヨリ富久清五郎ニ對シ第三四二二號登録實用新案ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第三四二二號登録實用新案ハ無効ナリト審決相成度其理由ハ被請求人ハ明治三十九

年九月十六日文鎮兼呼子笛ノ實用新案登録ヲ出願シ同年十月十六日ヲ以テ前記第三四二一號實用新案登録ヲ受ケタルモノナリト雖モ之ト全ク同一ノ構成ヲ備フル呼子笛ハ右被請求人ノ登録出願前ニ於テ公刊物タル雜誌ニ記載セラレ一般ニ周知セラレタルモノナルカ故ニ右ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニアリ而シテ其申立ニ付キ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立却下相成度其理由ハ第三四二一號登録實用新案權ハ被請求人ヨリ藤本鶴へ讓渡シ同人ニ於テ該權利ヲ拋棄シタルニ付キ係争ノ目的物ハ既ニ消滅シタルモノナリト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第三四二一號登録實用新案權ハ本權審理中權利者藤本鶴ニ於テ之ヲ拋棄シタルヲ以テ審判請求ノ目的物ハ既ニ消滅シタルモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十年二月十九日於特許局

審判長 特許局技師 鈴木千代吉
 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局事務官 永井 亨

第千九十六號

大阪市南區難波元町一丁目七百五十八番地

大阪市北區信保町一丁目百三十五番屋敷

大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番屋敷特許代理業者

請 求 人 三 谷 軌 宏
 被 請 求 人 荒 木 正 俊
 右 代 理 人 廣 井 代 藏

右三谷軌宏ヨリ荒木正俊ニ對シ第二八九九號登録實用新案珉瑯燒湯沸ノ權利確認ヲ求ムル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造スル珉瑯燒湯沸ハ請求人ノ第二八九九號登録實用新案湯沸ト撞着スト審決相成度其理由ハ被請求人ハ其製造スルコロノ湯沸ノ構造中胴ノ下部ト底ノ上部トノ接合點カ請求人ノ登録實用新案ノ一部即チ胴ノ下部ト底ノ上部トノ接合點ト同一構造ナルコトヲ認メナカラ其他ノ部分ノ構造カ異レルノ故ヲ以テ撞着スルモノニアラスト主張スルモ實用新案權ハ其請求範圍全部ニ存シ其一部タリトモ他ノ侵害ヲ受クヘキモノニアラスト加之被請求人カ使用スル部分ハ本登録實用新案中最モ主要部分ニシテ其使用カ實用新案權侵害ニアラストセハ本新案權ナルモノハ殆ント其實益無キニ至ルヘシ被請求人ハ又本件係争ノ接合點ノ構造ハ輸入珉瑯器物ニ普通ニ行ハル、トコロナルノミナラス請求人ノ登録出願前ニ於テ被請求人カ胴部ト底部トノ接合點ニ同一ノ構造ヲ用ヒタル湯沸ヲ製造セルコトハ請求人ノ知悉承認セルトコロナリト云フト雖モ以上ノ事實ハ請求人ニ於テ全部否認スト云フニアリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其理由ハ實用新案權ハ其登録請求範圍トシテ記載セル事項ノ全部ヲ包括シテ一個ノ單一ナル權利ヲ構成スルモノニシテ若シ其事項ヲ數箇ニ分離スルトキハ其各部ハ最早實用新案ノ一部トシテ存在スルモノニアラスト全ク權利ノ性質ヲ備ヘサル又ハ他ノ權利ニ該當スル一箇ノ單獨ナル構造又ハ形狀タルニ過キス實用新案權已ニ其請求範圍トシテ記載セル事項

ノ全部ニ涉リテ存スル以上ハ之レカ撞着モ亦權利範圍全部ニ付テ生スヘキハ當然ナリ請求人ハ又被請求人ノ用ヒタル部分ハ最モ主要ナル部分ナリト云フト雖モ斯ノ如キ接合點ノ構造ハ輸入珙瑯器ニ普通ニ行ハル、ノミナラス請求人ノ登録出願前ニ於テ被請求人カ胴ノ下部ト底部トノ接合點ニ同一構造ヲ用ヒタル珙瑯燒湯沸ヲ製造セシコトハ請求人ノ知悉承認セルトコロニ係リ接合點ノ構造トシテハ別ニ新規ナルモノニアラスト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人カ請求人ノ登録實用新案湯沸ノ構造ノ一部即チ胴ノ下端ヲ外方ニ折り底ノ上端ヲ之ニ合セシメ共ニ上方ニ折り底部ノ上端ハ更ニ内方ニ折り返シテ胴部ノ下端ノ溝狀ヲナセル部分ニ嵌入セシメタルモノト同一ナル構造ヲ使用シタルコトニ付テハ被請求人ニ於テ何等争フトコロナシ依テ審案スルニ元來斯ノ如キ構造ハ板金ヲ接合スル場合ニ於テ普通ニ行ハル、モノニシテ別ニ新規ナルモノト云フヲ得ス請求人ノ第二八九號登録實用新案ハ前記構造ヲ上下ニ箇所ニ相對向セシメ以テ底部、胴部及上面部ヲ接合シ之ニ蔓、蔓接着臺、舌片及蓋ヲ附加シタルノ構造全部ニアリテ各部ニ付テハ別ニ新規ト認ムル點ナシ故ニ被請求人カ單ニ胴ノ下部ト底部ト上部トヲ接合スルカ爲メニ前記構造ヲ使用スルモ敢テ請求人ノ實用新案ト撞着スト云フト得ス其他双方ニ於テ論争スルトコロアルモ本件審決ニ必要ナラサルカ故ニ説明セズ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治四十年二月二十二日於特許局
審判長 特許局技師 鈴木千代吉

特許局事務官 松田啓太郎
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二十一號

京都市上京區堀川通寺之内上ル東入扇町十五番戶織物業 請求人 安本宗七
京都市葛野郡朱雀野村西京十五番戶織物業 被請求人 川井寛次郎
岩手縣西磐井郡老松村百十番戶無職業 被請求人 千葉伊平
東京市京橋區榮女町二十一番地特許代理業者 右代理人 石原卯八
東京市京橋區榮女町二十一番地特許代理業者 右代理人 飯田治彦

右安本宗七ヨリ川井寛次郎千葉伊平ニ對シ登録實用新案第一四一八號箎框ノ登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ實用新案第一四一八號箎框ノ登録ハ無効ナリト審決ヲ求ム其理由ハ請求人安本宗七ノ所有ニ係ル特許第七四一八號小巾織羽二重箎框ハ明治三十七年五月二十六日附ヲ以テ特許ヲ得爾來今日ニ至ル迄公然使用セラルルモノナリ然ルニ今般被請求人カ登録ヲ受ケタル實用新案第一四一八號箎框ハ前記ノ特許箎框ニ類似スルモノニシテ登録ヲ受クルコト能ハサル物品ニ屬シ其ノ登録ハ當然無効タルヘキモノナリ被請求人ハ其答辯ニ於テ兩箎框ノ區別ヲ論シテ特許二重箎框ハ各彈籽杆ニ各別ニ紐ヲ附シタルカ故ニ數個ノ彈籽杆ヲ同時ニ動カサントスルモ各紐ノ伸縮一定ナラサルヲ以テ到底完全ニ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ反シ實用新案ノ箎框ハ三段ノ彈籽杆ヲ兩端ニ定着シテ一ノ框狀トナシ之ヲ二條

ノ紐ニテ往復セシムルモノナレハ各彈杆杆力均一ナル運動ヲナシ得ルモノニシテ是本實用新案ノ新規ナルトコロナリト主張スルモ特許二重箴框ノ發明要旨ハ紐掛ノ點ニアラスシテ幅狹キ箴數箇ヲ植立セル梓二箇以上ニ各箴ヲ參差ノ位置ニナルヘキ様重ネ容易且ツ迅速ニ織成スル點ニアルヲ以テ紐掛ノ如キハ如何様ニ之ヲ變更スルモ妨ナク現ニ請求人カ各段ノ彈杆杆ヲ兩端板ニ捻鉤ニテ定着シ一筋ノ紐ニテ動搖スヘクナシタル箴框ヲ被請求人ノ實用新案登録出願前已ニ公ニ使用シタルコト甲第三號證ノ證明スルトコロナリ又被請求人ハ特許二重箴框ハ平均ニ箴打ヲナス爲メニ吊杆ニ鏢鉸ヲ設ケ曲尺形ノ定規杆ヲ具フルモ登録實用新案箴框ハ其ノ必要ヲ認メサルヲ以テ普通箴框同様ニナシタルノ差異ナリト主張スルモ吊杆ニ鏢鉸ヲ設ケ曲尺形ノ定規杆ヲ具フルコトハ卷取裝置ヲ設ケタル機臺ニ對シテ其必要ナキハ請求人モ知ルトコロナリト雖モ卷取裝置ヲ具ヘサル普通ノ機臺ニ於テ織延ヲナシ一時ニ二三寸ノ卷取ヲ爲ス場合ニアリテ之レカ設備ヲ必要トスルモノナリ故ニ特許二重箴框ハ之ヲ卷取裝置ノ有無ニ論ナク總テノ機臺ニ應用シ得ルモ登録實用新案ノ箴框ハ卷取裝置ヲ有スル機臺ニノミ之ヲ使用シ得ルモノナリ斯ノ如キハ以テ兩者ヲ區別スルニ足ラサルモノト信スト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決ヲ求ム其理由ハ請求人ノ審判請求ノ理由ハ登録實用新案第一四一八號箴框ハ特許第七四一八號二重箴框ト全然同一ナレハ實用新案法第一條第一號ニ該當スト云フニアアルモ特許二重箴框ハ明細書及圖面ニ示ス如ク彈杆杆(一)(一)ヲ各別ニ紐ヲ以テ動搖杆ニ連繫シタルモノナルヲ以テ數箇ノ彈杆杆同時ニ動カサントスルモ其ノ紐ノ伸縮一定ナラサルカ故ニ完全ニ其ノ目的ヲ達シ得サルニ反シ登録實用新案箴框ハ適當ノ距離ヲ隔テ、數箇ノ杆受(一)(一)ヲ設ケタル橫板(二)(二)ヲ數段設ケ兩端板(三)(三)ニ定着シテ一ノ框狀トナシ一條ノ紐ニテ動搖杆ニ連繫シタルモノナレハ數段ノ橫板(二)(二)ハ必ス同時ニ一定同速ニ進退シ毫モ投杆作用ヲ誤ルコトナシ是本實用新案ノ新

規タルトコロニシテ特許箴框ト區別アルトコロナリ又特許二重箴框ハ平均ニ箴打ヲナスヘク箴框ノ吊杆ニ鏢鉸ヲ設ケ曲尺形ノ定規杆ヲ具フト雖モ登録實用新案箴框ニ於テハ其ノ必要ヲ認メサルヲ以テ其ノ設備ナク普通ノ箴框ト同様ニナシタルノ差異アリ以上論述スル如ク兩者間ニハ明白ニ構成上及效果上ニ差異アルカ故ニ特許第七四一八號ノ存在ニ依テ登録實用新案第一四一八號カ無効トナルヘキ理由ヲ示シ抑モ實用新案法第一條ノ所謂類似トハ實用上ノ效果ニ差異ナキ場合ニ於ケル構成形狀ノ小差アルモノヲ示スモノニシテ本件ノ如ク其ノ構成上及效果上互ニ大差異アル場合ニ於テ之ヲ同法第一條ノ類似ト云フヲ得サルモノナリト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及ビ證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ハ特許二重箴框ノ發明要旨ハ幅狹キ箴數箇ヲ植立セル梓二箇以上ニ各箴ヲ參差ノ位置ニナルヘキ様重ネ容易且ツ迅速ニ織成スル點ニアリト云フト雖モ斯ノ如キハ單ニ在來一般ニ行ハル、多數ノ箴ヲ植立セル梓ヲ數段相重ネタルニ止マリ發明ト稱スルノ價值ナク本特許ノ發明ハ二重箴框ニ吊杆ヲ取付ケ其ノ吊杆ノ中央ヲ鏢鉸ニテ繫着シ其ノ下部ニ曲尺形ノ定杆ヲ具ヘテ框ヲ振搖スルモ下部ハ常ニ垂着ノ箴打ヲナスヘキ様裝置シタル工夫ニ存スルモノト云ハサルヘカラス然ルニ被請求人所有ノ登録實用新案箴框ハ數箇ノ杆受ヲ設ケタル數段ノ橫板ヲ兩端板ニ定着シテ一ノ框狀トナシ一條ノ紐ニテ動搖杆ニ連繫シ數段ノ橫板ヲ同時同速ニ運動セシメ投杆作用ヲ正確ナラシムル工夫ヲナシタルモノニシテ本件係争ノ特許發明ト登録實用新案トハ工夫ノ存スルトコロ互ニ相異ナリ別箇ニ成立スヘキモノト云ハサルヘカラス又請求人ハ本件實用新案ト同一ノ箴框カ其ノ登録出願前ヨリ公用セラレタル事實ヲ立證センカ爲メ「リボ」製造者ノ證明書(甲第三號證)ヲ提出シタルトモ本證書ハ只一私人ノ作成シタル書面ニシテ採リテ以テ證據トシ本件實用新案カ其ノ登録出願前ヨリ公用セラレタルモノト認ムルヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス
明治四十年二月二十五日於特許局

審判長 特許局事務官 中松盛雄
特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 人見次郎

第一千九十一號

- 東京市日本橋區桶町二丁目四番地 請求人 岩田勝次
- 東京市日本橋區大傳馬町二丁目十八番地 請求人 森田善七
- 東京市日本橋區大傳馬町二丁目六番地 請求人 井上善七
- 東京市神田區神田鍋町八番地 請求人 大久保惣左衛門
- 東京市日本橋區龜井町一番地 請求人 永井茂兵衛
- 東京市日本橋區通二丁目十四番地 請求人 印藤清左衛門
- 東京市京橋區仲橋廣小路十一番地 請求人 玉木長之助
- 東京市日本橋區小傳馬町三丁目十番地 請求人 平井喜太郎
- 東京市日本橋區小傳馬町二丁目九番地 請求人 大塚重吉
- 東京市日本橋區通油町十九番地 請求人 石川松五郎

右代理人 高橋淺五郎
被請求人 吉野繁次郎
東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許代理業者
東京市本所區柳島梅森町五十六番地
東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許代理業者 右代理人 細川陽之介

右岩田勝次外九名ヨリ吉野繁次郎ニ對シ第六八號登錄實用新案杓子ノ登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人專用ノ第六八號登錄實用新案杓子ハ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ裏面ニ溝ヲ設ケタル杓子ヨリ彈性ノ缺管ヲ打出シ止釘ヲ用ヒス柄ヲ堅ク挿入スヘクシタル杓子ニ付明治三十八年七月十日實用新案登錄ヲ出願シ同年同月二十二日第六八號ヲ以テ登錄セラレタリ然ルニ右ト同一ノ杓子ハ明治三十四年中大阪砲兵工廠ニ於テ「アルミニウム」ニテ製造シ汎ク使用セラレタルヲ初メトシ爾來民間ニ於テハ大阪ニ於テ盛ニ製造セラレ又東京ニ於テ販賣セラレタルモノ幾許ナルヲ知ラス故ニ該登錄實用新案ハ其ノ出願以前公ニ用ヒラレタルモノニシテ實用新案法第二條第二項第一號ニ該當シ無効ノモノナルヲ以テ同法第三十一條ニ依リ本請求ヲナス所以ナリト云フニアリテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ請求人等ハ「被請求人カ第六八號ヲ以テ登錄ヲ受ケタル實用新案ノ如キ構造ノ杓子ハ明治三十四年中大阪砲兵工廠ニ於テ「アルミニウム」ニテ製造シ汎ク使用セラレタルヲ初メトシ爾來民間ニ於テハ大阪ニ於テ盛ニ製造セラレ又東京ニ於テ販賣セラレタルモノ幾許ナルヲ知ラス」ト申立テ甲第一號證ヲ提出セリト雖モ是レ事實ニアラス請求人カ申立ツル如キ「アルミニウム」製ノ杓子ハ被請求人ノ提供スル乙第一號證ノ如ク柄ヲ挿嵌スヘキ部分ヲ缺管狀ニナス管ノ一端ヲ鏝様ノ環ニテ一定ノ徑ヲ保持セシムヘク固定シ且柄ノ先頭ヲ杓子ノ裏面ナル間

陷部ニ達セシメサルモノニシテ甲第一號證ノ如キ杓子ハ本件實用新案登録出願以前公知公用ニ屬シタルコトナキヲ以テ無効トセラルヘキモノニアラスト云フニ在テ其申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證ヲ提出セリ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ且證人ノ陳述ヲ聞キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ被請求人ノ有スル第六八號登録實用新案杓子ハ金屬製ノ杓子(ロ)ヨリ彈性ノ缺管(ハ)ヲ打出シ之ニ木製ノ柄(イ)ヲ附シ其先端ヲ杓子ノ裏面ニ設ケタル溝内ニ達セシメタル構造ヨリ成ルモノニシテ明治三十八年七月十日登録ヲ出願セシモノナリ然ルニ右ト同一構造ノ杓子ハ明治三十四五年頃ヨリ公ニ販賣セラレタルコトハ證人阿部彦四郎及那須鐵之助ノ供述ニ徴シテ之ヲ認知スルコトヲ得故ニ第六八號登録實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ登録ヲ受クルコトヲ得サルモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第六八號登録實用新案杓子ノ登録ハ無効トス

明治四十年三月二日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局技師 安藤格
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千百一十一號

福井縣南條郡神山池ノ上六十四號十六番地 請求人 渡邊權七
 福井市佐佳枝下町五十三番地特許代理業者 右代理人 大塚表一

福井縣吉田郡松岡村字窪四十四號二十九番地 被請求人 清水久太郎

右渡邊權七ヨリ清水久太郎ニ對シ第一六〇八號實用新案登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一六〇八號實用新案登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ第一六〇八號ヲ以テ登録ヲ受ケタル實用新案瓦ノ雪止柱(イ)ハ請求人カ明治三十六年一月八日第五九七〇號ヲ以テ特許ヲ得タル瓦ノ支雪柱(イ)ヨリ容易ニ推考セラルヘキモノニシテ新規ノ考案ナリト認ムルコト能ハス加之請求人ハ明治三十六年以來専ラ支雪ノ目的ヲ以テ甲第三號證ニ示サレタルカ如キ瓦ノ左側ニ(イ)ナル突起ヲ有スル瓦ヲ製造販賣シ來レリ此瓦ハ雪止瓦ト稱シ福井縣吉田郡松岡村酒井岩太郎ナル者モ亦明治三十七年以來汎ク製造販賣シタリ此瓦ノ支雪柱(イ)ト第一六〇八號登録實用新案瓦ノ(イ)トハ全然同一ノ考案ニ出テタルモノニシテ被請求人ハ新規ナル考案ヲナシタルモノニアラス被請求人ハ又前記酒井岩太郎ト共同シテ福井縣吉田郡志比谷村永平寺ノ屋根瓦ノ葺替ヲ受負ヒタル際ニ同寺ノ指圖ニ依リ甲第四號證ノ圖面ニ示スカ如キ屋根ノ棧ニ掛止ムヘキ突起(ロ)ヲ有スル瓦ヲ製造シ之ヲ用ヒテ其葺替ヲ爲シタリ而シテ第一六〇八號實用新案瓦(ニ)ノ部ハ甲第四號證圖面ニ示ス瓦ノ(ロ)ノ部ト全然同一ノモノニシテ毫モ異ナリタル考案ヲ有スルモノニアラス請求人モ亦酒井岩太郎ヨリ甲第四號證圖面ノ瓦ノ便益ナルコトヲ聞知シテ之ヲ製造シタリ故ニ第一六〇八號實用新案瓦ノ(ニ)ノ部分ハ新規ノ考案ニアラサルノミナラス又公ニ知ラレタル事項ニ屬スヘキモノナリ被請求人ハ又第一六〇八號實用新案登録請求範圍ハ圖面ニ示セル瓦ノ形狀トアリテ圖形全體ヲ以テ登録ノ保護ヲ受クルモノナルカ故ニ其一部分ニ於テ他ニ類似スル點アリ且ツ公知公用ノ箇所アリト雖モ以テ圖形全體ニ對スル本件實用新案登録ヲ無効トスルニ足ラスト云フト雖モ本件實用新案ハ圖面ニ示サレタル如ク(ろ)ハ(は)ナル切缺ヲ有シ且ツ雪止柱(イ)

突起(に)ヲ俱有スル瓦ナリ然ルニ(ろ)ハ普通ノ瓦ニ見ルトコロナルカ故ニ本件實用新案ハ唯僅ニ普通ノ瓦ノ表面ニ(い)ナル雪止柱ヲ設ケ其裏面ニ(に)ナル突起ヲ備ヘタルニ過キサルノミ故ニ(い)及(に)ノ部分ニシテ前記ノ如ク公知公用ニ屬スル以上ハ本件實用新案ハ新規ナル實用ノ考案ニ出テタルモノナリト云フコト能ハス又本件實用新案登録請求範圍ハ圖形全體ニアリトスルモ其圖形ノ要部カ無効トナルトキハ其無効ハ圖形全體ノ無効ヲ來スモノナリト信ス本件ノ實用新案ニ於テハ被請求人ノ自稱ノ如ク要部ハ雪止柱(い)ト突起(に)トニアリ故ニ(い)及(に)ノ部分ノ前記ノ如ク共ニ公知公用ニ屬スル以上ハ其登録ノ請求範圍タル圖形全體ノ無効トナルヘキハ理論上燎カナリト云フニアリ而シテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且ツ證人訊問及檢證ノ申立ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ不當ニ付キ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ本件實用新案瓦ノ雪止柱(い)ハ特許第五九七〇號瓦ノ支雪柱(イ)ヨリ容易ニ推考セラルヘキモノニシテ新規ノ考案ニアラスト主張セリ今假リニ之ヲ至當ナリトスルモ尙ホ且本件實用新案無効ノ理由トナスニ足ラス何トナレハ本件實用新案ノ登録請求範圍ハ圖面ニ示セル瓦ノ形狀トアリテ圖形全體ヲ指示スルコト明ナルヲ以テ縱シヤ其一部ナル雪止柱(い)ト全然同一ナル支雪柱ヲ有スル瓦カ本件新案ノ出願前ニ於テ公用ニ屬ストスルモ本件新案ノ權利ニ影響ヲ及ホスコトナキモノナルニ况ンヤ本件瓦ノ支雪柱(い)ハ特許第五九七〇號瓦ノ支雪柱(イ)ト全然同一ナラサルコトハ請求人モ亦認ムルモノナルニ於テオヤ請求人ハ又甲第三號證ノ圖面ニ示ス如キ左側ニ突起(イ)ヲ有スル瓦ヲ明治三十六年以來自己ニテ製造販賣シ又酒井岩太郎モ明治三十七年以來製造販賣シタリト主張スレトモ其ノ瓦ヲ製造販賣シタル事實ニ付テハ何等ノ證據ヲ提供セサルヲ以テ其ノ主張ハ採ルニ足ラス請求人ハ又被請求人カ明治三十五年中甲第四號證ノ圖ニ示ス如キ瓦ヲ永平寺ノ屋根葺替ニ用ヒタリト陳述セリト雖モ甲第四號證ノ圖面ハ單ニ裏面ニ突起

(ロ)及ヒ對隅ニ切缺(イ)ヲ具フルコトヲ示スニ止マリ本件實用新案瓦ノ全體ノ形狀ヲ表ハスモノニアラサルヲ以テ假リニ其ノ事實ヲ眞ナリトスルモ本件實用新案權ノ無効ヲ主張スルノ資料ト爲スニ足ラス請求人ハ又本件實用新案ノ要部(い)及(に)カ共ニ公知公用トナル以上ハ其ノ登録ハ無効ナリト雖モ雪止柱(い)ト突起(に)トヲ俱有セル瓦ハ本件實用新案ノ登録出願前ニ於テ決シテ公知公用ニ屬セザリシヲ以テ請求人ノ主張ハ採ルニ足ラスト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件係争ノ第一六〇八號登録實用新案瓦ハ其ノ表面左端ノ稍々中央部ニ於テ雪止柱(い)ヲ有シ其ノ裏面上端ニ於テ棧ニ掛止ムヘキ突起(に)ヲ有シ之ニ其ノ合目ヲ完全ニ嵌合スヘキ切缺(ろ)ハ(は)ヲ附加セル形狀ヨリ成レリ然ルニ請求人ハ本件實用新案ノ一部雪止柱(い)ハ請求人所有ノ第五九七〇號特許ノ支雪柱(イ)ヨリ容易ニ推考セラルヘキモノニシテ新規ノ考案ニアラスト主張シ又其ノ雪止柱(い)ト全然同一ノ考案ニ出テタル支雪柱(イ)ヲ有スル瓦(甲第三號證)ハ明治三十六年以來請求人ニ依リ又明治三十七年以來酒井岩太郎ニ依リテ製造販賣セラルト主張シ次ニ本件實用新案ノ他ノ一部(に)ト同様ナル突起(ロ)ヲ有スル瓦(甲第四號證)ハ明治三十五年中永平寺ノ屋根瓦ノ葺替ニ際シテ使用シタリト主張スト雖モ要スルニ本件實用新案登録出願以前ニ於テ時ヲ異ニシ場合ヲ異ニシテ本件實用新案中ノ二箇ノ部分カ別箇ニ使用セラレシト云フニ止マリ本件實用新案其モノト同一又ハ類似ノ形狀ヲ有スルモノ、公知公用ヲ主張スルニ足ラス故ニ請求人ノ主張ハ眞實ナリトスルモ本件實用新案登録ヲ無効トスルコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十年三月十五日ヲ特許局

第一千二十八號

審判長 特許局事務官 中松盛雄
特許局技師 安藤格
特許局事務官 奥山萬次郎

*六十八

東京市日本橋區本石町四丁目八番地

請求人 右恒川平太郎

東京市神田區裏神保町四番地特許代理業者

右代理人 齋藤孝治

東京市神田區裏神保町四番地特許代理業者

右代理人 宇田正穂

東京市本所區相生町四丁目十七番地

被請求人 大川六之助

東京市京橋區采女町二十四番地特許代理業者

右代理人 松田源治

右恒川平太郎ヨリ大川六之助ニ對シ第一五七七號實用新案登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ本件第一五七七號實用新案登録ハ無効ナリト審決セラレ度其ノ理由ハ被請求人ハ明治三十九年五月二日附ヲ以テ建具用捺止金具ナル名稱ヲ附シタル物品ニ付實用新案登録ヲ出願シ同年十二月二日登録番號第一五七七號ヲ以テ之カ登録ヲ受ケタリ然ルニ請求人ハ右ノ如ク被請求人カ實用新案登録ヲ受ケタル物品ト全ク同一ナル物品ニ改良戸締金物ナル名稱ヲ附シ明治三十八年五月上旬以來廣ク製作販賣シ居ルモノナリ斯ノ如ク被請求人カ實用新案登録ヲ受ケタル物品ト同一ナル物品ハ既ニ被請求人ノ登録出願前ニ於テ公ニ用ヒラレタルモノナルカ故ニ被請求人ノ實用新案登録ヲ受ケタル建具用捺止金

具ト稱スル物品ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルモノナルコト明ナリ依テ請求人ハ實用新案法第三十一條ノ規定ニ從ヒ被請求人ノ受ケタル實用新案第一五七七號登録無効ノ審判ヲ請求スルモノナリ今又假ニ被請求人カ右實用新案登録ヲ受ケタルハ被請求人カ之ト同一ナル物品ノ製作販賣ヲ始ムル以前ナリトスルモ被請求人カ實用新案登録ヲ受ケタル物品ハ請求人カ明治三十七年六月二十五日特許番號第七五三一號ヲ以テ特許ヲ受ケタル戸締金具ニ全ク類似スルモノナルヲ以テ尙實用新案法第一條第二項第一號後段ニ該當スルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且人證ノ申立ヲ爲セリ
被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人提出ノ證據ハ實用新案第一五七七號登録出願以前之ト同一ノ物品ヲ請求人ニ於テ製造販賣シタルノ證據ト認ムルコト能ハスト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ證人ノ陳述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ハ明治三十九年三月二日附願書番號第二八八〇號ヲ以テ建具用捺止金具ナル名稱ヲ附シタル物品ニ付實用新案登録ヲ出願シ同年同月二十二日登録番號第一五七七號ヲ以テ之カ登録ヲ受ケタルモノトス然ルニ右實用新案登録ヲ受ケタル物品ト同一ナル物品カ其ノ登録出願以前即明治三十八年中ニ於テ請求人ニ依リ改良戸締金物ナル名稱ヲ附シ廣ク製作販賣セラレタルノ事實ハ證人村田信太郎、中村吉太郎、堀良輔及金子寅吉ノ證言ニ徴シテ之ヲ認ムルヲ得ヘシ依テ被請求人カ登録番號第一五七七號ヲ以テ實用新案登録ヲ受ケタル物品ト同一ナル物品ハ右登録出願前帝國内ニ於テ公ニ用ヒラレタルモノト謂フヘシ從テ本件第一五七七號登録實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シテ其ノ登録ヲ受クルヲ得サルモノトス

*六十九

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第一五七七號建具用捻止金具實用新案登録ハ無効トス
明治四十年三月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 松田啓太郎
特許局事務官 永井 亨

第一千八十六號

大阪市北區空町二丁目二百四十八番屋敷 請 求 人 奥 田 龜 太 郎
大阪市北區堂島裏二丁目二十一番屋敷 被 請 求 人 嶋 喜 久 男
ニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一二六三號登録實用新案首卷ハ實用新案法第一條第一項第二項及同第十八條ニ該當シ無効ナリト審決相成度其理由ハ右實用新案首卷ハ其登録請求範圍ニ箝狀ニナセル莫大小又ハ其他編物(イ)ノ一端ニ締紐(ロ)ヲ貫通シ其締結點ニ小環(ハ)ヲ附シ其部分ヲ返廻シ而シテ該締紐(ロ)ニテ適宜ニ締結シ得ヘクナシタル首卷トアリ又圖面ノ說明(イ)ハ箝形ノ編物(ロ)ハ締紐(ハ)ハ小環トアリ然ルニ被請求人カ右實用新案登録首卷ト稱シテ實際ニ製造販賣シツ、アルハ莫大小輪形ノ立毛反曲立毛ノ裏面ノモノニシテ第一號證物件ノ如ク而シテ其小環及締紐ニ至テハ使用人カ隨意ニ之ヲ拔除シテ用ヒ又使用

人ノ需メニ應シ販賣ノ際之ヲ拔除スルコトアリト云フ又假リニ締紐ノ儘之ヲ販賣ストナスモ右ハ畢竟請求人所有ノ第一五號登録首卷ト同品ナリト云ハサルヘカラサルモノナリト云フニ在リ而シテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ第一五號登録實用新案首卷ハ單純ナル形狀ニ止マリ第一二六三號同首卷ハ實用上有益ナル效果ヲ得セシムヘクナシタル構造タルニ係リ兩者ハ相異ナルモノナリト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
請求人カ本件登録實用新案第一二六三號首卷ヲ無効ナリトスル理由ハ被請求人カ本件實用新案首卷トシテ製造販賣スルモノハ莫大小輪形ノ裏面ヲ起毛シ之ニ小環及締紐ヲ加ヘタルモノニシテ其小環及締紐ヲ拔除セハ請求人所有ノ第一五號實用新案首卷ト同一ナルモノナリト云フニ在リ然ルニ請求人カ被請求人ノ製造販賣セルモノトシテ提出セル甲第一號證ノ首卷ハ請求人主張ノ如ク單ニ締紐ヲ附シ之ニ小環ヲ添ヘタル差異アルノミニシテ實用新案法第十四條ニ該當スヘキモノタルヲ免レスト雖モ被請求人ノ有スル本件第一二六三號實用新案ハ其請求範圍並ニ圖面ニ依ルトキハ表裏共ニ起毛セサル箝狀ノ莫大小又ハ他ノ編物ノ一端ニ締紐ヲ貫通シ其締結點ニ小環ヲ附シ返廻シ得ヘクナシタルモノタルハ明カナルヲ以テ之ニ基キテ製シタル首卷カ請求人所有ノ第一五號實用新案首卷ト同一ナリト認ムルヲ得ス從テ本件第一二六三號首卷ハ無効ナリト云フヲ得ス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治四十年四月二日於特許局

第一千二百二十六號

東京市小石川區初音町十一番地

東京市京橋區銀座一丁目十九番地特許代理業者

京都市上京區東洞院通竹屋町下ル三本木五丁目八番戸

右山崎鐵二郎ヨリ岩村茂ニ對シ第二八六九號實用新案ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第二八六九號携帶用輕便寢臺ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ本件實用新案ハ甲第一號證實用新案公報ニ記載セラレタル構造ニシテ被請求人カ明治三十九年六月八日附ヲ以テ出願シ同年八月三日附ヲ以テ登録セラレタルモノナリ然ルニ本件實用新案ハ其ノ登録出願以前已ニ公用ニ屬シ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルモノナリ何トナレハ本件實用新案寢臺ハ甲第二號證寫眞ノ寢臺ト同一物ニシテ後者ハ明治三十七八年戰役ノ戰利品ニ係リ其ノ現品ハ去ル明治三十八年七月下旬陸軍省ヨリ別格官幣大社靖國神社ヘ陳列通知ヲ發セラレ其ノ當時ヨリ同神社附屬ノ遊就館ニ陳列セラレテ公衆ノ縱覽ニ供セラレタルモノナレハナリ要スルニ本件實用新案第二八六九號携帶用輕便寢臺ハ其ノ登録出願前公用セラレタルモノニ該當スルヲ以テ實用新案法第三十一條ニヨリ登録無効ノ

*七十二

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
特許局技師 安藤格
特許局事務官 永井亨

請求人 山崎鐵二郎
右代理人 森省吉
被請求人 岩村茂

審判ヲ請求スルトコロナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且ツ靖國神社附屬ノ遊就館ニ出張實地臨檢スルコト及前記寢臺ノ陳列時日ヲ陸軍省ニ照會スルコトヲ申請セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決セラレ度其ノ理由ハ請求人ノ主張スル戰利品ノ陳列ハ多クノ場合公知ト云ヒ得ヘキカ如シト雖モ陳列ニヨル公衆ノ縱覽ハ直ニ公用ト稱スヘカラス況ンヤ陸軍官憲ハ單純ニ戰役ノ機會ニヨリ捕獲セル物品ヲ紀念品トシテ陳列シタルニ止マルノミナラス請求人ノ提出セル甲第二號證ノ寫眞ト遊就館ニ陳列シタル寢臺ト同一物ナルヤ否ヤ何等ノ證據ナキニ於テオヤト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ノ申請ニ依リ明治四十年三月九日東京市麴町區富士見町所在靖國神社附屬遊就館ニ出張シ該館ニ陳列シタル戰利品携帶寢臺ヲ實檢シ該寢臺ハ請求人ヨリ提出セル甲第二號證寫眞ノ寢臺ト同一物ナルコト及本件實用新案寢臺ト同一構造ナルコトヲ確認セリ又前記寢臺ヲ遊就館ニ陳列シ公衆ノ觀覽ニ供シタルハ明治三十八年七月二十八日ヨリナルコト請求人ノ申請ニ依リ陸軍省ニ照會セル回答ニヨリテ明ナリ以上ノ事實ニヨリ本件登録實用新案第二八六九號携帶用輕便寢臺ト同一構造ノ寢臺ハ前者ノ登録出願以前公用セラレタリト認ムヘキモノトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

本件登録實用新案第二八六九號携帶用輕便寢臺ノ登録ハ無効トス
明治四十年四月五日於特許局

審判長 特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 松田啓太郎

*七十二

第七十八號

特許局事務官 人見次郎

*七十四

三重縣度會郡田丸町字佐田九百三十八番地

請求人 小林政太郎

大阪市北區老松町三丁目九十三番屋敷特許代理業者

右代理人 岡八

廣島市橋本町十四番地

被請求人 山根民藏

廣島市下流川町六十七番地特許代理業者

右代理人 世良靜一

右小林政太郎ヨリ山根民藏ニ對シ實用新案第二九三二號菓子包紙ノ登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ實用新案第二九三二號菓子包紙ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ海草即チ寒天ヲ以テ主要成分トシタル特許第五五四三號柔軟「オブラート」ヲ以テ菓子ノ包裝ニ使用スルコトハ既ニ柔軟「オブラート」發明後直ニ實施セラレタル公知ノ方法ナリ請求人ノ特許ヲ受ケタル柔軟「オブラート」ト被請求人ノ登録ヲ得タル實用新案菓子包紙トカ同一又ハ類似ノ物品ニシテ且容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ノモノナルトキハ其ノ登録ノ後レ居ルモノハ當然無効タルヘキモノナリ又年月土地分量ノ上ヨリ既ニ柔軟「オブラート」ヲ菓子包裝用トナスコト換言スレハ海草ノ一種ニシテ紙片ノ如クナスニ最モ適當且便利ニシテ此點ニ附テハ全部海草ノ代表ト見ルヘキ寒天ヲ基トセル紙片ヲ菓子包紙トナスコトハ公用ノ事實ナリ現ニ請求人ノ柔軟「オブラート」ヲ菓子包紙用トシテ請求人ヨリ購買シ居ル者ニ對シ被請求人ハ自己ノ實用新案菓子包紙ト同一物品ナルヲ以テ禁止スヘキ旨ノ告知書ヲ發セルニ徴シ被請求人ニ於

テモ請求人ノ特許權アル「オブラート」ト被請求人ノ菓子包紙トハ全く同一物品ナルヲ自認シ居ルコト明白ナリ被請求人ノ菓子包紙ハ海草ヲ以テ製シタル紙片ニシテトアルノミ而シテ透明ニシテ薄キ紙片トナスニ最モ適當ニシテ其ノ代表ト見ルヘキハ寒天ヲ措テ他ニ之ヲ求ムヘカラス又答辯書ニハ其ノ製法トシテ甲ヨリ乙ニ至ル六種ノ製法ヲ陳列スト雖モ此ノ如キハ新案公報ニ明示セサルノミナラス實用新案ハ形狀構造組合ニ關シ製造方法ニ關セサルニ於テオヤ從テ該實用新案ハ實用新案第一條第二項第一號及第二號ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第二十二號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ實用新案第二九三二號海草ヲ以テ製シタル透明ナル紙片ヲ爲ス菓子包紙ノ製造方法並ニ構造ハ被請求人カ明治二十八年頃創メテ布糊草ヲ以テ菓子ヲ包ムコトヲ考案シ潛心研究ノ餘遂ニ布糊草ノ外種々ノ他ノ海草ヲ以テ包紙ヲ製造スルコトヲ案出シタルモノニシテ斯ル方法並ニ構造ハ決シテ公知若クハ公用或ハ之ニ類似ノモノニアラス請求人ノ有スル特許柔軟「オブラート」ノ權利ノ範圍ヲ案スルニ該柔軟「オブラート」ハ其ノ用法ノ性質上藥物ヲ包ミ容易ニ之ヲ嚙下スルコトヲ得セシムヘキ目的ヲ以テ寒天及澱粉ノ一定量ヲ原料トシ製作サレ且常ニ圓形ニ切斷セラレタル「オブラート」ナリ被請求人ノ有スル實用新案菓子包紙ハ其ノ用法ノ性質上菓子類ヲ包裝シ粘着ヲ防キ並ニ直ニ食用ニ供シ得ル實用的效果ヲ主タル目的トシ種々ノ海草ヲ原料トシテ成ル花形ノ紙片ナリ以上ノ二者ハ共ニ工業上ノ所有權トシテ利益ヲ保護セラル、點ニ於テハ更ニ輕重甲乙ノ區別ナク其ノ權利ノ内容又ハ範圍ニ至テハ二者全ク異ナル部類ニ屬シ決シテ同一若クハ類似ノ關係ニ立ツモノナリト云フヲ得ス布糊草、「裙帶菜」石花菜、寒瓊脂藻等少クモ綠藻科又ハ褐藻科ニ屬スル海草ヲ原料トシ花形ヲ爲ス菓子包紙ハ我實用新案登録以前ニ於テ考案實行シタルモノナシ請求人ハ寒天ハ海草ノ代表

*七十五

ナリト云フト雖植物學上寒瓊脂藻ハ紅藻科ニ屬シ海苔及裙帶菜ハ褐藻科ニ屬シ布糊草及石花菜ハ共ニ紅藻科ニ屬シ各獨立ノ一科ヲ爲スヘキモノニシテ通俗上ヨリ云フモ何人モ寒天ト云ヒテ海藻全部ヲ代表スルモノナリトハ首肯シ能ハサルトコロナルヘシ從テ實用新案菓子包紙ハ公用又ハ容易ニ應用スヘキ程度ノ考案ニアラスト云フニ在リテ其ノ答辯ヲ確ムル爲メ乙第一號證乃至乙第十三號證ヲ提出セリ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人カ本件實用新案第二九三二號菓子包紙ノ登錄ヲ無効ナリトスル理由ハ該實用新案ノ原料トナス海藻ヲ以テ製シタル紙片ハ請求人ノ有スル特許第五五四三號柔軟「オブラート」ト同一若クハ類似ノモノニシテ且容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ノモノナリ又請求人ノ有スル特許第五五四三號柔軟「オブラート」ヲ菓子包ニ用フルコトハ既ニ公用ニ屬スルヲ以テ本件實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號及第二號ニ該當スト云フニ在リ然ルニ實用新案第二九三二號菓子包紙ハ海藻ヲ以テ製シタル花形ノ紙片ニテ包裝スル時ハ箱狀ヲナスモノタルハ該實用新案登錄範圍并ニ附屬圖面ニ依リ明ナリ而シテ請求人カ從來菓子包トシテ公用ニ屬セリトスル甲第一號證ノ二ハ方形ノ四隅ノ切り去リタル者ニシテ前記實用新案菓子包紙トハ全然其ノ形狀ヲ異ニスルノミナラス之ヲ被請求人ノ提出ニ係ル第一號證乃至第十三號證ノ製品ニ比スルニ其ノ實質ニ於テモ亦差異アルヲ以テ兩者互ニ同一又ハ類似ノモノト云フヲ得ス又請求人ハ本件實用新案ノ原料タル海藻ヲ以テ製シタル紙片ハ自己ノ所有ニ係ル特許第五五四三號柔軟「オブラート」ト同一若クハ類似且容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ノモノナリト云フト雖モ請求人ノ有スル特許第五五四三號柔軟「オブラート」ハ寒天澱粉ヲ以テ明細書所記ノ工程ヲ施シ圓形ニ切斷シタルモノニシテ海藻ヲ以テ製シタル紙片カ總テ其ノ範圍ニ屬スヘキモノト云フヲ得サルノミナラス本件實用新案ニ於テハ其ノ原料タル紙片ヲ製スルノ方法ハ該實用新案登錄ノ範圍ニアラサルヲ以テ假リニ該實用新案

菓子包紙ノ原料製法共ニ特許第五五四三號「オブラート」ノ原料及製法ト全然同一ナル場合アリトスルモ斯ノ如キハ第五五四三號特許ノ侵害如何ニ關スル別箇ノ問題ニ屬シ本件實用新案カ爲メニ無効ニ屬スヘキモノト云フヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十年四月十五日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局技師 安藤格
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千十五號

橫濱市高島町一丁目一番地 請求人 庄田常次郎
 東京市京橋區南金六町十二番地特許代理業者 右代理人 高橋淺五郎
 東京市京橋區采女町二十四番地特許代理業者 右代理人 松田源治
 東京市京橋區本八丁堀一丁目十五番地 被請求人 天沼幸三郎
 東京市京橋區築地三丁目十五番地特許代理業者 右代理人 西脇今太郎

右庄田常次郎ヨリ天沼幸三郎ニ對シ實用新案登錄第一七八四號洋燈口金ノ登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第一七八四號洋燈口金ノ登録ハ無効ナリト審決セラレ度其ノ理由ハ前記實用新案口金ニ於ケル心筒(イ)ノ上端周圍ニ突縁(ホ)ヲ設ケタル外筒(ロ)ヲ嵌挿シタル點ト請求人ノ有スル特許第八二九五號ノ請求範圍全部即チ上端ニ橢圓形ノ皿狀ヲ形成セシメタル心筒(ハ)ヲ普通洋燈口金ノ心筒(ロ)ニ嵌合セシムヘクナシタル裝置トハ其ニ通氣板ヨリ上昇スル空氣ヲ迂回セシムヘキ目的ニ出テタルモノニシテ而カモ洋燈ニ於テ重油ヲ使用シ得ルハ實ニ此裝置ノ效果ナルヲ以テ兩者ハ其ノ精神ニ於テ相一致スルモノトス前記實用新案口金ノ心筒下端ヲ油壺内ニ延長シ之ニ海綿其他ノ吸油物料ヲ具ヘタル如キ又心筒(イ)ノ側面中央及複管(ロ)ニ凸條(ハ)ニシテ設ケ心筒ト複管トノ間ニ間隙ヲ生セシメタル如キハ補助的裝置ニ外ナラス而シテ本件實用新案口金ハ請求人ノ有スル特許第八二九五號洋燈輕油油煙止裝置カ已ニ公ニ使用セラレ且ツ特許公報ニ依リ公ニ知ラレタル以後ニ於ケル出願ニ係リ實用新案法第一條第二項第一號及第二號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ナリ又請求人カ去ル明治三十八年十一月二十九日附ヲ以テ改訂許可ヲ得タル特許第八二九五號ノ明細書ニ心筒(ハ)ノ上端ナル皿狀ヲ形成セシムヘキ點ハ其形狀ヲ變更スルコトアルヘキヲ記載シアリテ請求人ハ之ニ基キ甲第一號證ノ如ク心筒(ハ)ノ上端ヲ直角ニ曲折シテ本件實用新案ニ於ケル突縁(ホ)ト同一ノ形狀トナシ且心筒ノ下端ヲ延長シテ油壺ノ中腹ニ達セシメタル口金ヲ作製シ盛ニ貸附又ハ販賣シ本件實用新案登録出願前已ニ公用ニ屬セルコト被請求人ノ知了セルトコロナリ然ルニ被請求人ハ前記公用ノ口金ニ些少ノ變更ヲ加ヘ實用新案ノ登録ヲ受ケタルモノニシテ其ノ登録ハ無効ナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且ツ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決セラレ度其ノ理由ハ特許第八二九五號ノ特許範圍ハ心筒ノ上端ニ橢圓形ノ皿狀ヲ形成シ若クハ上端ニ橢圓形ノ皿狀ヲ形成セル心筒(ハ)ヲ普通洋燈口金ノ心筒

(ロ)ニ嵌合セシムヘクナシタル裝置ニシテ其ノ構成頗ル簡單ナルモノナリ而シテ此裝置タル點火部ヲ上昇シテ之ヲ通氣板ヨリ遠サカラシメ通氣板ヨリスル空氣ヲ迂回セシメテ之ヲ直チニ點火部ニ流致セサラシムヘク特ニ其ノ心筒ノ上端ヲ皿狀ニ形成セルモノナルコト其ノ明細書ニ明記スルトコロナリ然ルニ本件實用新案ノ登録請求範圍ハ其ノ願書ニ明記セル如ク別紙圖面ニ示セル凸條(ハ)、副管(ヘ)、通孔(チ)ヲ有スル心筒(イ)ト凸條(ニ)、周縁(ホ)ヲ有スル複管(ロ)ト吸油物料(ト)トヲ備ヘテ成ル洋燈口金ニシテ之ヲ詳説スレハ心筒(イ)ハ其ノ上部ノ一外側ノ中央ニ同側ト複管(ロ)ノ一内側トニ間隙ヲ生セシムヘクナセル凸條(ハ)ヲ縱設シ下部ノ一側ニ數箇ノ通孔(チ)ヲ縱列ニ穿設シ其ノ外側ニ之ト相待テ断面半圓形ヲナセル副管(ヘ)ヲ縱附シテ之ニ吸油物料ヲ填充シ又複管(ロ)ニハ一内側ノ中央ニ凸條(ニ)ヲ縱設シ上端ニ周縁(ホ)ヲ直角ニ設ケ之ヲ心管(イ)ノ上部ニ嵌挿スヘクナシタル構造ナリ又兩者ノ作用ニ關シ一言スレハ該特許ハ心筒(ハ)ノ上端ヲ皿狀ニ形成セルヲ以テ點火部ハ通氣板ヨリ遠サカリ且其ノ通氣板ヨリ來ル空氣ハ直ニ點火部ニ流致セス皿狀ヲ迂回シテ點火部ニ至ルヘキモノナルモ本件實用新案ニ在リテハ其ノ點火部ハ毫モ上昇スルコトナク且其ノ通氣板ヨリスル空氣ヲ迂回セシムルコトナキノミナラス心管(イ)ト複管(ロ)トノ間ニ間隙ヲ設ケタルヲ以テ通氣板ヨリ流入スル空氣ハ却テ點火部ニ直致セラル、モノトス斯ノ如ク本件ノ實用新案ハ特許第八二九五號トハ其ノ構成及作用ヲ異ニスルモノニシテ何等撞着スル點ナキヲ以テ本件實用新案ニ對シ登録ヲ許可セラレタルハ至當ノコトトス又請求人ハ去ル明治三十八年十二月二十九日附ヲ以テ許可ヲ得タル特許第八二九五號ノ改訂明細書ニ基キ心管(ハ)ノ上端ヲ直角ニ曲折シテ本件ノ實用新案ニ於ケル突縁(ホ)ト同一ノ形狀トナシ且心筒ノ下端ヲ延長シテ油壺ノ中腹ニ達セシメタル口金ヲ作製シ盛ニ貸附又ハ販賣シタリト言明シ明治三十九年六月二日附ヲ以テ甲第一號證トシテ前記構造ノ口金ニ筒ヲ提出シタルモノ之本件請求ノ主意ニ反スル物件ニシテ本件ト何等ノ關係ナ

ク從テ毫モ證據力ナキモノナリ何トナレハ請求人ニ於テ特許第八二九五號ノ改訂明細書ニ基キ云々ト云フハ蓋シ該明細書中ニ心筒(ハ)ノ上端ノ形狀ニ多少ノ變更ヲ加フルコトアルモノトスト記載アルカ爲メナルヘシト雖本件特許ハ心筒(ハ)ノ上端ニ皿狀ヲ形成セシムルヲ以テ發明ノ精神トシ其ノ皿狀ナルモノハ或ル深サヲ有スルモノナルコト其ノ明細書並ニ圖面ニ徴シテ明ナルヲ以テ甲第一號證口金ノ如ク心筒ト直角ヲナシ毫モ深サヲ有セサル水平面ノ突縁ヲ具フル口金ハ請求人ノ特許口金ト何等ノ關係ヲ有セサルモノナリト云フニアリテ乙第一號證ヲ提出シ且證人ノ訊問ヲ申請セリ

仍テ本件ニ關シ當事者双方ノ辯論ヲ聽キ證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ
請求人ハ本件登錄實用新案第一七八四號洋燈口金ハ其ノ登錄出願前已ニ公知公用ニ屬セル特許第八二九五號洋燈輕油々煙止裝置ノ全部ト相一致シ實用新案法第一條第二項第一號及第二號ニ該當スルモノナリト主張スルモ特許第八二九五號ノ特許範圍ハ普通洋燈口金ノ心筒(ハ)ノ上端ニ設ケタル突縁ヲシテ其ノ明細書附屬圖面ニ示ス如ク上方ニ屈曲シテ橢圓形ノ皿狀トナシタル點ニアルモノト認ムルヲ至當トス何トナレハ口金下部ノ通氣板ヨリ上昇スル空氣ヲシテ點火部ニ直流セサシムル爲メ心筒上部ニ突縁ヲ設クルコトノ考案ハ本特許出願以前已ニ特許第七五〇三號ニ依リ公ニ知ラレタルモノナレハナリ故ニ特許第八二九五號ノ特許權ハ前記皿狀以外ノ突縁ヲ有スル口金ニ及ハサルヲ以テ該特許ノ公知公用ハ心筒上部ニ之ト直角ナル平面突縁ヲ設ケタル本件登錄實用新案第一七八四號ヲ無効トナスヘキ理由トナラス又請求人ハ心筒(ハ)ノ上端ヲ直角ニ曲折シテ本件實用新案ニ於ケル突縁(ホ)ト同一ノ形狀トナシ且心筒ノ下端ヲ延長シテ油壺ノ中腹ニ達セシメタル甲第一號證ノ口金ハ本件實用新案ノ登錄出願前ニ於テ公用ニ屬セリト論シ且證人ノ證言ヲ援用セリ然レトモ本件實用新案ハ心筒(イ)ノ上部ニ周縁(ホ)ヲ有スル複管(ロ)ヲ挿嵌シ心管下部ヲ油壺中ニ延長シ之ニ通孔(チ)ヲ穿テ副管(ヘ)ヲ添着シテ海綿其ノ他ノ吸油物料

ヲ填充シテ成ル構造ナルヲ以テ甲第一號證口金カ公用ニ屬セリトスルモノ之レ單ニ本件實用新案ノ一部カ前記公用物ニ類似スト認メ得ルニ止マリ本實用新案ヲ無効トスヘキ理由トナスニ足ラサルモノトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治四十年四月十八日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局技師 鈴木 千代 吉
特許局事務官 宿 利 英 治

第一千一號

東京市京橋區新富町六丁目十番地 請 求 人 川 瀨 鍛 策
東京市本郷區本郷三丁目十七番地特許代理業者 右 代 理 人 飯 田 鈺 次
新潟縣古志郡長岡町字坂ノ上二十八番地 被 請 求 人 栗 田 樹 之 重
東京市京橋區采女町二十七番地特許代理業者 右 代 理 人 木 戸 傳
右川瀨鍛策ヨリ栗田樹之重ニ對シ第九七三號實用新案登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ登錄實用新案第九七三號「ランプ」口金ハ實用新案法第一條ニ違反シ同條第一號及第

二號ニ該當スルモノナルヲ以テ無効トスト審決セラレ度其ノ理由ハ本件登録實用新案第九七三號「ラン
 プ」口金ノ登録出願ハ明治三十八年十二月二十一日ナルコト及其ノ請求範圍ハ網板(7)ト燈芯管(1)氣
 流促進瓣(2)ト二重若クハ三重ニ設ケタル帽狀鰐口金トノ組合ナルコト實用新案公報第二十九號(甲第
 一號證)ニ依テ之ヲ知ル而テ該組合ノ中網板(7)ト燈芯管トハ敢テ在來ノ「ランプ」口金ニ於ケルモノト
 異ルトコロナク全然同一ニシテ毫モ新規ノ點ナキヲ以テ被請求人ノ所謂新規ノ考案ナリトスルハ第一、
 氣流促進瓣(2)、第二、二重若クハ三重ニ設ケタル帽狀鰐口金ノ二點ナルヘシ然レトモ此二點モ亦公知公
 用ニ屬シタルモノナリ其ノ事實ハ第一、氣流促進瓣(2)ノ目的及效果ヲ按スルニ網板ヲ通シテ上昇スル
 空氣ヲ加熱セラレタル瓣(2)ニ依リ遮下セシメ熱氣トナスニアリ然ルニ甲第二號證及甲第三號證ノ「ラ
 ンプ」口金ニ於ケル燈芯管ノ上部ニ設ケタル縁金ハ氣流促進瓣(2)ナルモノト其ノ目的及效果ヲ同ウシ
 類似否殆ント同一ノ考案ナリ而テ甲第二號證及甲第三號證ノ口金ハ本件實用新案登録出願以前ニ於テ既
 ニ公知公用ニ屬セルモノナリ第二、帽狀鰐口金ナルモノハ甲第二號證ノ口金ニ於ケル火帽及甲第四號證
 ノ口金ニ於ケル消煙具ト其ノ目的及效果共ニ同一ニシテ其ノ考案モ亦全然同一ナリ強ヒテ本件實用新案
 口金ト甲第四號證特許第九五六五號口金トノ構造ニ於テ相異ノ點ヲ求ムレハ本件實用新案口金ニ於テハ
 内鰐口金ヲ下部網板ニ附着シ空氣ヲシテ網板ノ所ヨリ直ニ別通路ヲ取ラシムヘクナセルト甲第四號證ノ
 口金ニ於テハ消煙具ノ板金ヲ帽狀煙止ノ内面ニ定着シ空氣ヲシテ網板ヲ通過シタル後燃火口ニ近キ所ニ
 於テ別通路ヲ取ラシムヘクナシタルト小差ナルモ之レ單ニ設計ノ變更ニ過キシテ通氣作用ニ於テ何
 等ノ差異ナキノミナラス却テ本件ノ實用新案ノ如キ構造ニアリテハ製作困難ナルコト、網板ノ目ヲ塞キ
 テ通氣量ヲ減少セシムルコト、掃除ニ困難ナルコト等ノ不便アリ又甲第二號證口金ノ小火帽ハ網板ニ定
 着シタルモノナルニ拘ラス特許局ハ之ヲ甲第四號證ノ消煙具ト同一考案ナリト認メ甲第五號證ノ如キ通

知書ヲ發シタルニ觀レハ本件實用新案口金ノ鰐口金モ甲第四號證ノ消煙具ト同一考案ナルコト明白ナリ
 而テ甲第四號證口金モ亦本件實用新案登録出願以前ニ於テ公知公用ニ屬セルモノナリ要スルニ本件實用
 新案ハ公知公用ノ各部ヲ湊合シタルニ過キスシテ其ノ湊合タルヤ何等實用の新效果ヲ生セサルノミナラ
 ス既ニ公知公用セラレタル特許及登録實用新案ヲ使用セサレハ實施シ能ハサル本件新案ノ如キモノカ實
 用新案法第十四條ノ規定ニ依ラスシテ單獨ニ成立シ能ハサルハ勿論ニシテ當然無効タルヘキモノナリト
 云フニアリテ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タスト審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人ハ本件實用新案口金ニ於ケル
 網板(7)ト燈芯管(1)ハ敢テ在來ノモノト異ルナク氣流促進瓣(2)ハ甲第二號證及甲第三號證ノ口金ニ
 於テ又帽狀鰐口金ハ甲第二號證及甲第四號證ノ口金ニ於テ本件新案登録出願前公知公用ニ屬スルモノニ
 シテ本件口金ハ以上各部ヲ湊合シタルモノナレハ新規トスルニ足ラストセリ是レ請求人カ特許發明ト實
 用新案トヲ混同シ特許發明的ニ實用新案ヲ觀察シタルモノト云ハサルヘカラス特許發明ト實用新案トニ
 區別アルハ發明ヲ構成セサル物品ニ對シテモ實用新案權ヲ與ヘ得ル場合アルニ徴シテ明ナリ請求人ハ本
 件實用新案第九七三號ニ於テ網板(7)ト燈芯管ト氣流促進瓣(2)ト帽狀鰐口金トノ各カ新規ナラサルカ
 故ニ本實用新案ハ此等ヨリ容易ニ推考シ得ヘキ湊合的構成ナリト云フト雖以上各部カ假ニ公知ナリトス
 ルモ其ノ各部ヲ同時ニ使用シタル構成カ新規ノ效果ヲ達スルニ於テハ之レ則チ實用新案法第一條ニ所謂
 實用アル新規ノ考案ト云ハサルヘカラス況ンヤ本件實用新案ノ各部ハ請求人ノ云フ所ノモノトハ全然其
 ノ構成ヲ異ニスルモノナルニ於テオヤ今本件實用新案ト請求人ノ提出セル各證トヲ比較シ其ノ構成及效
 果ヲ説明スレハ本件實用新案ノ帽狀内鰐口金(4)ハ網板(7)ノ下ヨリ流入スル空氣ヲシテ燃火口ニ至ル
 マテ其ノ内外通路ヲシテ各別ニ爲スヘキ爲ニ帽狀外鰐口金(6)ト其構成ヲ均等ナラシメ内鰐口金(4)ノ

下縁ハ網板上ニ附着スルモノニシテ空氣ハ内外其ノ通路ヲ互ニ妨害スルコト絶無ナリ且氣流促進瓣(2)ハ左右ニ向テ傾下シ半圓狀ヲナセルヲ以テ空氣ハ帽狀内罅口金ノ周邊何レノ場所ヨリモ一樣ニ侵入促進シ半圓狀傾斜面ニ沿ヒテ火焰ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ進行スルモノナルモ甲第二號證ニアリテハ火焰ハ側部ニ眼目狀(イ)ノ如キ孔及(ロ)ノ小孔ヲ有スルモノニシテ空氣ハ最初ニ通氣板ノ下ヨリ小火帽内ニ入り(ロ)ノ小孔ノトコロニ於テ内外ニ分レ小火帽外側ハ比較的少量ノ空氣ヲ通シ上部眼目狀孔(イ)ニ於テ再ヒ内外ノ空氣ヲ混交シ更ニ小火帽ノ内外ニ分レテ逸出スヘク且芯管上部ハ花形様(ハ)ノ如キ形狀ナルヲ以テ眼目狀孔(イ)ニ對スル所ハ多量ノ空隙ヲ存シ本件口金ノ促進瓣ノ如ク空氣ヲ誘導促進スルノ作用ナシ要スルニ本件新案ノ口金各部ノ組合ト甲第二號證各部ノ組合トハ全ク異レル構成ヲ有スルモノナリ又本件實用新案口金ノ氣流促進瓣(2)ノ半圓狀ニシテ芯管ノ口ヨリ左右ニ向ツテ傾下スルコトハ本件新案ノ如キ二重若クハ三重ニ被設シタル帽狀罅口金ニ於テ最モ必要ナル構成ニシテ甲第三號證ノ如キ芯管上端ニ橢圓形ノ皿狀ヲ形成セルモノトハ全然其ノ構成ヲ異ニスルモノナルコト明ナリ又甲第四號證ノ口金ト本件實用新案ノ口金ト類似スル點ヲ強ヒテ求ムレハ消煙具ノ板金ノ相重レル部分ニ過キス其ノ他ノ甲第四號證ニ於テ絶無ニシテ前段説明セル本件新案ノ如キ效果ハ甲第四號證ニ有セサルヤ明ナリ斯ノ如ク本件新案口金ノ氣流促進瓣帽狀罅口金ノ各ハ請求人提出ノ各證ト其構成ヲ全ク異ニスルノミナラス網板芯管等ト共ニ其ノ組合セトシテ全然新規ナル考案ヲナシタルモノナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人カ本件登錄實用新案第九七三號「ランプ」口金ノ登錄ヲ無効トナスヘキ主張ノ要旨ハ本件實用新案ハ其ノ登錄出願已前ニ甲第二號證乃至甲第四號證ノ「ランプ」口金ニ依リ公用ニ屬シタル部分ヲ湊合シタルニ過キスシテ其ノ湊合タル何等實用アル新效果ヲ生セサルモノナレハ實用新案法第一條ニ該當セスト

云フニアルモ甲第二號證及甲第四號證ヲ本件實用新案ニ對照スルニ兩者ハ均シク複火帽ヲ使用セルモ甲第二號證及甲第四號證ニ於ケル内火帽ハ熱氣室ノ一部ヲ區劃シタルニ止マリ空氣ハ其ノ内外何レノ通路ヲ取ルモ自由ナル可キ構造ナルモ本件實用新案ニ於ケル内火帽ハ熱氣室ヲ全然内外二室ニ分割シ下部通氣板ヨリ上昇スル空氣ノ内室ニ入りタルモノト外室ニ入りタルモノトハ必ス其自己ノ通路ヲ取ルヘキ構造ニ成リ兩者ニ於テ火焰ニ對スル給氣作用ノ相違ヲ認メ得ヘキカ故ニ彼是ヲ類似物トナスコトヲ得ス又甲第三號證ト本件實用新案トヲ對照スルニ芯管上端ニ縁ヲ設ケタル點ニ於テ兩者相一致スルモ前者ハ皿狀ヲ形成シテ上方ニ彎曲シ後者ハ半圓狀ノ平板ヲ斜ニ下方ニ屈折シタルモノニシテ其ノ形狀ヲ異ニシ從テ氣流ノ狀態ヲ異ニスト認メ得ルモノニシテ彼是類似スルモノニアラス故ニ本件實用新案ハ請求人提出ノ各證ノ公知公用ニ依リ無効タルヘキモノニアラス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治四十年四月二十日於特許局

審判長

特許局事務官

中松 盛雄

特許局技師

鈴木 千代吉

特許局事務官

松田 啓太郎

第一千百四十四號

大阪市北區空町二丁目二百四十八番屋敷

請求人

奥田 龜太郎

* 八十五

大阪市東區平野町二丁目六番地特許代理業者

右代理人 奥 戸 善 之 助

大阪市北區老松町三丁目三十三番屋敷

被請求人 飯 田 猪 之 助

大阪市東區道修町四丁目四十六番邸

被請求人 川 崎 喜 久 治

右奥田龜太郎ヨリ飯田猪之助川崎喜久治ニ對シ第一五號登錄實用新案權利確認ノ爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人等カ製造販賣スル莫大小製筒狀ニシテ内部ヲ起毛シ其ノ上端ニ卷縮セル毛絲ヲ並ヘ編ミタル首卷ハ第一五號登錄實用新案首卷ト撞着スト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ第一五號登錄實用新案即莫大小製筒狀ニシテ内面皮膚ニ接スル部分ヲ起毛シタル首卷ノ實用新案權ヲ有スルモノニシテ明治三十八年以來盛ニ製造販賣セリ然ルニ被請求人飯田猪之助ハ第一二八號實用新案ノ登錄ヲ受ケタルヲ奇貨トシ明治三十九年九月以來今日ニ至ル迄甲第二號證ノ如キ首卷ヲ製造シ被請求人川崎喜久治ニ於テ之ヲ販賣セリ而モ被請求人等カ口實トスル第一二八號實用新案ハ其ノ登錄請求範圍ニモ明記セル如ク「二重ニ折り其ノ上方ニアル端ニ卷縮セル毛絲ヲ並ヘ編ミ附ケ藤花形トナシタル首卷」ニシテ甲第二號證ノ如ク筒狀ヲナシタル内部起毛シタルモノトハ全ク同シカラス若シ夫レ該實用新案ニシテ第一五號實用新案ヲ利用スルニアラサレハ實施スル能ハサルトキハ請求人ノ許諾ヲ受クヘキニ拘ラス此事ナキハ以テ第一二八號登錄實用新案カ第一五號登錄實用新案ト抵觸セサルコトヲ證スルト同時ニ第一二八號登錄實用新案權アリト雖之ニ依リ第一五號登錄實用新案ノ範圍ニ屬スル莫大小製筒狀ヲナシ内部起毛セル首卷ヲ製造販賣スルノ權ナキヤ明ナリト云フニアリテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人飯田猪之助答辯ノ要領ハ被請求人ノ製造スル首環ハ第一五號登錄實用新案ニ撞着セスト審決相成度其ノ理由ハ請求人カ製造スル首環ハ莫大小製筒狀ニシテ反曲部ノモノナレトモ被請求人カ製造スル首環ハ登錄請求範圍ニ有ルカ如ク莫大小製環狀部ヲ二重ニ折返シ其ノ上端ニ卷縮セル毛絲ヲ並ヘ編ミ附ケ構成シタル藤花形首環ニシテ第一五號登錄實用新案ト撞着スルモノニアラス且ツ又莫大小製筒狀部及ヒ環狀部ナルモノハ從前ヨリ有ルモノニシテ防寒用トシテハ起毛セサルモノナシト云フニアリ

被請求人川崎喜久治答辯ノ要領ハ請求人ノ第一五號登錄實用新案首卷ト被請求人ノ販賣セル第一二八號首環トハ撞着セサルモノナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ飯田猪之助ノ製造シ川崎喜久治ノ販賣セル首環ハ第一二八號登錄實用新案ノ請求範圍ニ記載セル事項ト全ク同シカラスト云フモ請求人ノ提出シタル甲第二號證ト今回被請求人ノ提出シタル首卷ト同一物品タルニ於テハ其ノ何レノ點ニ於テモ請求範圍ヲ脱シ又ハ違反セサルコト明ナリ何トナレハ飯田猪之助ノ製造スル第一二八號登錄ノ首卷ハ今回提出シタル品ニシテ登錄請求範圍ノ通り二重ニ折リ上端ニ卷縮セル毛絲ヲ並ヘ編ミ附ケタルモノニシテ「イ」ハ「メリヤス」編地ニシテ環狀ヲ呈シ「ロ」ハ端ニ編ミ附ケタル毛絲縮毛ナレハナリ請求人ハ又第一二八號登錄實用新案權アリト雖之ニ依リ筒狀ノ内部ヲ起毛セル首卷ヲ製造販賣スルノ權ナシト云フト雖該實用新案ノ登錄請求範圍ニハ「メリヤス」製トアルカ故ニ起毛セルモノモ起毛セサルモノモ其ニ之ヲ包含スルコト明ナリ請求人ハ又被請求人カ第一五號登錄實用新案ト全ク同一ナル首卷ニ卷縮セル毛絲ヲ並ヘ編ミ附ケ藤花形首卷トシテ製造販賣セリト云フト雖第一五號登錄實用新案ノ請求範圍ニハ外部反曲シ云々トアルモ第一二八號登錄實用新案ニハ更ニ其ノ事ナキノミナラス其ノ構造ニ於テモ上部ノ卷縮セル毛絲ヲ編ミ附ケタル部分ヲ脱却スレハ唯單ニ筒狀ヲナセル一枚ノ「メリヤス」地トナルモノニシテ請求人ノ第一五號實用新案ト異レリ要スルニ前記二箇ノ實用新案ハ更ニ抵觸セサルモノニシテ双方間ニ於テ許諾ヲ受クヘキ謂レナシト云フニアリ而テ其ノ事實ヲ確ムル爲メ被請求人ノ販賣スル第一二八號登

録實用新案首卷ノ切解シタル物品ヲ提出セリ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 請求人ノ有スル第一五號登錄實用新案首卷ハ立毛ノ裏面ヲ有スル莫大小製ノ首卷ニシテ其ノ上部ヲ外面
 ニ反曲シタル形狀ヨリ成レルモノナリ然ルニ被請求人等ノ製造販賣セル首卷(甲第二號證及請求人ノ提
 出ノ物品)ハ環狀ノ「メリヤス」地ヲ二重ニ折リ其ノ上方ニアル端ニ卷縮セル毛絲ヲ並ヘ編ミ附ケタルモ
 ノニシテ其ノ形狀及構造ニ於テ第一五號登錄實用新案ト差異アルヲ認ム而テ請求人ハ第一二八號登錄
 實用新案權アリト雖之ニ依リ第一五號登錄實用新案ノ範圍ニ屬スル莫大小製筒狀ヲナシ内部起毛セル首
 卷ヲ製造販賣スル權ナシト云フト雖第一二八號登錄實用新案ノ請求範圍ヲ闕スルニ「別紙圖面ニ示ス
 如ク二重ニ折リ其ノ上方ニアル端ニ卷縮セル毛絲ヲ並ヘ編ミ附ケ藤花形トナシテ成ル藤花形高襟」トア
 リ而テ其ノ圖面ノ説明トシテハ「(イ)ハ「メリヤス」編地ノ環狀部ニシテ(ロ)ハ端ニ設ケタル藤花形縮毛」
 ト記載セリ斯ノ如ク第一二八號登錄實用新案ノ請求範圍ニハ概括的ニ「メリヤス」編地ト記載スルカ
 故ニ起毛ノ有無ヲ論セス總テ「メリヤス」編地ヲ抱合スルモノナリ而シテ筒狀ト云ヒ環狀ト云フモ本件
 ノ場合ニ於テハ畢竟異ル所ナキヲ以テ第一二八號登錄實用新案ヲ有スル被請求人ニ於テ筒狀ヲナシ内
 部起毛セル首卷ヲ製造スル權ナシト云フヲ得ス之ヲ要スルニ甲第二號證ハ第一二八號登錄實用新案ノ
 請求範圍内ニ於テ製造販賣セシモノニシテ其ノ形狀構造ハ全ク第一五號登錄實用新案ト異ルカ故ニ被請
 求人ノ製造販賣スル甲第二號證ノ首卷ハ第一五號登錄實用新案ト撞着スルモノニアラス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 請求人申立相立タス

明治四十年四月三十日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局技師 安 藤 格
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第一千三十四號

東京市京橋區築地二丁目十七番地

請 求 人 株式會社東京築地活版製造所

右代表者社長

東京市京橋區木挽町九丁目十八番地特許代理業者
盛岡市島服町三十四番戶

右代理人 名 村 泰 藏
 被請求人 拔 山 庄 次 郎
 工 藤 倉 吉

右株式會社東京築地活版製造所ヨリ工藤倉吉ニ對シ第八二一號登錄實用新案ノ登錄ヲ無効トスル爲審判
 ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
 請求人申立ノ要領ハ第八二一號登錄實用新案ノ登錄ハ無効ト審決相成度其ノ理由ハ第八二一號登錄實用
 新案ノ登錄請求範圍ハ四分一込物附着部(イ)ヲ有スル活字ノ構造ニアリ然ルニ植字ノ際間隔子即込物ト
 シテ用立ツニ充分ナル程文字ノ上下左右ノ一方又ハ數邊ニ平坦ナル餘地ヲ存セシメタル活字ハ明治三十
 二年ノ頃ヨリ同會社ノ製造販賣シタル所ニシテ本件ノ活字ハ同會社カ製シタルモノ、一種即下方ニ平坦
 ナル餘地ヲ存セシメタルモノト同一ニシテ明治三十八年即右ニ付キ特許出願ノ當時ニ在テハ既ニ公ニ用
 ヒラレタルモノナリ而モ同會社カ明治三十一年十一月七日附出願ノ願書番號第一三七一九號特許願書附

屬圖面ハ本件登録實用新案ノ登録出願附屬圖面ト文字ノ外全然同一ナリ從テ本件活字ハ實用新案法第一條第一項ニ該當ス加之前記願書番號第一三七一號特許願ニ對スル特許局審査官ノ拒絕査定ノ理由ハ本件活字カ實用新案法第一條第二項ニ該當シ新規ナラサルコトヲ證スルヲ得ヘシト云フニアリ而テ其ノ申立ヲ證スル爲メ第一號證乃至第四號證ヲ提出シタリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ請求理由トシテ述ヘタル本件實用新案ニ依ル活字ハ明治三十二年頃ヨリ製造販賣シ明治三十八年ニ在テハ既ニ公ニ用ヒラレタルモノナルニ依リ實用新案法第一條第一項ニ該當ストノ申立ハ不當ナリ又請求人ハ第一三七一號特許出願ヲ拒絕セラレタル査定ノ理由ヲ引用シテ第八二一號登録實用新案登録出願以前同一又ハ類似ノ物品ニ關シ容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ公刊物ニ記載セラレタルモノナリトシ本件カ實用新案法第一條第二項ニ該當スルヲ以テ新規ナラサルコトヲ證シ得ヘシト主張スルモ右特許出願ハ發明ニ對スルモノニシテ發明ハ未見ノモノヲ新ニ發明シタルモノニ非サレハ拒絕セラル、コト勿論ニシテ第八二一號登録實用新案四分一附活字ハ全ク實用新案法ノ精神ニ隨順シ組合セニヨリ變體シタルモノニシテ新ニ發明シタルモノニ非ラス從テ請求人ノ右主張亦不當ナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第八二一號四分一附活字ノ實用新案ハ活字ノ下部ニ活字ノ四分ノ一ノ厚サヲ有セル込物ヲ活字製造ノ際同鑄附着セルモノニシテ明治三十八年十月二十八日登録ヲ出願シ同年十二月八日登録セラレタルモノナリ然ルニ如此活字ノ一部ニ餘地ヲ存セシムル考案ハ西曆千八百九十二年英國倫敦ニ於テ出版セラレタル「ジョン、サウスアルド」氏著實用印刷ト題スル書第五頁ニ明記セラル、所ナルヲ以テ本件第八二一號實用新案ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ其登録ハ之ヲ無効ト爲スヘキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
實用新案第八二一號四分一附活字ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
明治四十年四月三十日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局事務官 宿 利 英 治
特許局事務官 永 井 亨

第一千二十六號

東京府南葛飾郡松江村字東小松川二千九百九十九番地 請 求 人 杉 浦 音 次 郎
東京市神田區裏神保町四番地特許代理業者 右 代 理 人 齋 藤 孝 治
東京市神田區裏神保町四番地特許代理業者 右 代 理 人 宇 田 正 穂
千葉縣君津郡根形村大字飯宮三百番地 被 請 求 人 齋 藤 熊 藏
東京市京橋區木挽町九丁目十八番地特許代理業者 右 代 理 人 丸 岡 東 治

右杉浦音次郎ヨリ齋藤熊藏ニ對シ第一七一九號糞尿移蓋小屋ノ登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一七一九號登録實用新案糞尿移蓋小屋ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ其ノ登録ハ無効トス尙審判費用ハ被請求人ノ負擔タルヘシトノ審決相成度其ノ理由ハ明治三十七年六月三十日警視廳ハ應令第十七號ヲ以テ清潔保持ニ關スル規則第十三條ノ規定ヲ「糞尿ハ運搬容器ノ儘ニ非

サレハ船舶ニ積載スルコトヲ得スレト改メタルモ其ノ實行ハ到底容易ナラス請求人ハ種々考案ノ末糞尿
 明ケ換ヘ器械ヲ案出シ其ノ實物見本ヲ造リ明治三十九年二月二十二日警視廳ニ實地検査ヲ請願シ同二十
 七日築地水上警察署ニ於テ検査セラレタリ其ノ結果頗ル良好ニシテ警視廳ハ請求人案出糞尿明ケ換ヘ器
 械ヲ採用スヘキコトニ内決シ其ノ結果本年三月二十四日應令ヲ以テ前掲第十三條ニ「但特ニ警視廳ノ許
 可ヲ得タル構造設備ノ糞尿船ニアリテハ此限リニアラス」トノ但書ヲ加ヘ更ニ請求人ニ對シ右器械ノ採
 用願ヲ差出スヘク内訓アリタルヲ以テ本年三月二十八日願書ヲ提出シ四月二日ニ至リ警視廳ハ之ヲ許可
 シタリ右ノ如ク請求人案出ノ糞尿明ケ換ヘ器械ノ使用ニ付キ警視廳ノ許可ヲ得タルハ本年四月二日ナレ
 トモ最初検査ヲ請願シ之カ實地検査ノ行ハレタルハ四月二十七日ナレヲ以テ本器械ハ此日ヲ以テ既ニ世
 間ニ公表セラレタルモノナリ被請求人カ請求人案出ノ器械ト同一ナル登録實用新案第一七一九號糞尿移
 蓋小屋ヲ出願シタルハ本年三月八日ナレヲ以テ同實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ其
 ノ登録ハ無効タルヘキモノナリ被請求人ハ請求人ノ主張ヲ眞實ナリトスルモ請求人案出ノ器械ヲ警視廳
 カ許可シタルハ本年四月二日ニシテ同日以後ニアラサレハ使用スヘカラサルモノナルヲ以テ同日以後ノ
 使用ニアラサレハ之ヲ以テ公用ト云フヘカラス見本ヲ製造シ之ヲ他人ニ示シタルカ如キハ公知ト云フヘ
 キモ公用ニアラサルカ故ニ本年三月八日ニ出願シタル本件實用新案ハ無効タルヘキモノニアラスト主張
 スレトモ實用新案法ニハ單ニ公用ト云ヒ公知ノ文字ヲ存セサルカ故ニ公用ノ文字ニハ公知ヲ包含セスト
 ハ特許法ト相對照スルモ甚シキ不公平ノ結果トナルヘシ實用新案法ノ公用ニハ公知ヲ包含スルモノト見
 サルヘカラス假ニ公用ノ文字ニ公知ヲ包含セストスルモ本年二月二十七日築地水上警察署ニ於テ明換器
 ヲ實用的ニ製作シ糞尿船ニ裝置シ海水ヲ用ヒテ糞尿明ケ換ヘノ實用ヲ明示シタルヲ以テ此時既ニ公用ノ
 事實アリタルモノト云ハサルヘラスト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決相成度其ノ理由ハ警
 視廳ノ清潔保持ニ關スル規則改正ハ請求人主張ノ如シ被請求人ハ此改正ノ目的ヲ達スヘキ器械ノ考案ニ
 苦心シ實用新案第一七一九號糞尿移蓋小屋ヲ案出シタリ本考案ハ既ニ三十八年中ニ完成シ東京市糞尿汲
 取人組合本部ニ之ヲ示シ警視廳ニ採用方ヲ勸誘シタルコトアリシモ同組合ハ本年二月四日附書面ニテ他
 ニ考案シタルモノアリトテ申立ヲ排斥シタリ被請求人ハ三月八日實用新案登録ヲ出願シタリ請求人ノ云
 フカ如ク請求人モ本考案ト同様ノ器具ヲ案出シ本年二月二十七日警視廳ノ實地検査ヲ經タル事實アルヤ
 否ヤハ之ヲ知ラス假ニ之ヲ事實トスルモ之ヲ以テ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スル公用ノ物品
 ナリト云フヘカラス本器具ヲ使用シ得ルハ警視廳ノ許可アリタル本年四月二日後ナルヲ以テ其ノ以後ノ
 使用ニアラサレハ公用ト云フヘカラス請求人ノ云フカ如ク見本ヲ製造シ之ヲ他人ニ示シタルカ如キ事實
 ハ之ヲ以テ公知ナリト謂ヒ得ヘキモ以テ公用ト云フヘカラス請求人ハ實用新案法ニ云フ公用ニハ公知ヲ
 包含スト論スレトモ實用新案ハ特許意匠ニ比シ寛大ニ登録スルノ主義ヲ以テ公用ノミヲ新規ナラサル原
 因トナシタルノミ請求人ハ水上警察署ニ於テナシタル實地検査ヲ以テ公用ナリト云フト雖モ單ニ試験ヲ
 ナシタルコトヲ以テ公用ト稱スヘカラサルハ明ニシテ請求人ノ主張ハ審判請求ノ理由トナルヘキモノニ
 アラスト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲乙第一號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 本件登録實用新案第一七一九號糞尿移蓋小屋ハ明治三十九年三月八日出願同年四月五日登録セラレタ
 ルモノニシテ其ノ構造ハ請求人ノ提出シタル請求人ノ考案ニ係ル甲第二號證糞尿明ケ換ヘ器ト殆ント差
 異ナシ而テ請求人ハ夙ニ甲第二號證糞尿明ケ換ヘ器ノ採用ヲ警視廳ニ出願シ明治三十九年二月二十七日
 築地水上警察署ニ於テ公然本器ノ試験ヲ經タルコトハ甲第一號證及甲第二號證警視廳證明書并ニ本年一

月二十一日日本局ノ照會ニ對スル同月二十五日付同應ノ回答ニヨリテ之ヲ認ムルコトヲ得ヘシ被請求人ハ
試驗ノ用ニ供シタルコトハ公知ニ屬シタリト云ヒ得ヘキモ以テ公用ナリト稱スヘカラスト主張スレトモ
假令目的ハ試驗ニアリトスルモ公然本器ノ作用ヲ實驗シタル事實ハ公用ノ範圍ニ入りタルモノト云ハサ
ルヘカラスト之ヲ要スルニ本件登錄實用新案第一七一九號糞尿移シ蓋小屋ハ其ノ登錄出願前公用ニ屬シ實
用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第一七一九號實用新案糞尿移シ蓋小屋ノ登錄ハ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十年五月一日於特許局

審判長 特許局事務官 中松 盛雄
特許局技師 鈴木 千代吉
特許局事務官 人見 次郎

第一千十七號

東京市京橋區銀座四丁目
東京市麴町區內幸町二丁目五番地特許代理業者
住所不明

請求人 秋葉 大助
右代理人 平松 市藏
被請求人 岡本 坦治

右秋葉大助ヨリ岡本坦治ニ對シ第四五九號登錄實用新案ノ登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ
審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ登錄實用新案第四五九號諸車輕轉機ハ之ヲ無効トストノ審決ヲ求ム其理
由ハ前記登錄實用新案ハ明治三十八年八月二十七日附ヲ以テ出願ヲナシ同年十月十五日登錄セラレタル
モノニシテ其ノ構成ハ玉受、玉セリノ間ニ十二箇ノ小鐵丸ヲ挾ミ之ヲ車軸ノ内外兩中心ニ插入シ螺旋ヲ
以テ車軸ニ固定セシメ而シテ車ノ心棒ハ玉セリノ中央ヲ貫通セシメ其外端ヲ螺旋ニテ堅緩自由ニ固定
シ其ノ小鐵丸ノ廻轉ニテ心棒ト車軸トノ多大ナル摩擦ヲ減殺シ廻轉ヲ輕快ナラシムルモノナリ然ルニ請
求人ハ明治三十年頃ヨリ十二箇ノ小鐵丸ヲ利用シ車軸ノ廻轉ヲ容易ナラシムヘキ本件實用新案ト同一ノ
裝置ヲ人力車ニ施シ無數ノ需要者ニ販賣シ來リタルモノニシテ已ニ明治三十六年ニ開催セラレタル第五
回內國勸業博覽會ニ際シ人力車ノ名稱ヲ以テ該新案ト同一組織ニ成ル車軸ヲ裝置セル人力車ヲ出品シ壹
等銀牌ヲ受領シタリ又明治二十四年以降輸入サル、自轉車及同三十年以降輸入サル、自動車ニ於テハ玉
受、玉セリ及ヒ數箇ノ小鐵丸ノ組合ニ依ル本件實用新案ト同一又ハ類似ノ裝置ヲ爲シ來リタルコト世人
ノ熟知スルトコロニシテ本件實用新案ハ其ノ登錄出願前已ニ公知公用ニ屬シタルモノナリ加之明治三
十六年九月三十日ヨリ同十月二日ニ至ル迄ノ發行ニ係ル中央新聞明治三十八年一月一日發行實業法律新
報第四十六號第七頁及明治三十八年一月發行京濱實業新報第十七號第十一頁ニ於テ何レモ請求人ノ營業
記事申請人カ車軸ノ組織中ニ十二ノ小鐵丸ヲ裝置シ其ノ内轉ニヨリテ車軸ヲ輕滑ニ運轉セシムル方法
ヲ案出シ目下製造シツ、アリトノ記事アリテ即チ容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ公刊物ニ記載
セラレタルモノニシテ其ノ登錄出願前已ニ公知ニ屬セルモノナリ故ニ本件登錄實用新案ハ實用新案法第
一條第一項ニ所謂新規ノ考案ニアラス又同第二項ニ該當シ登錄ヲ受ク可カラサルモノナリト云フニアリ

テ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證乃至甲第七號證ヲ提出シ且ツ人證ノ申請ヲ爲セリ
被請求人ハ其ノ居所不分明ニシテ書類ノ送附ヲ爲スコト能ハサルヲ以テ實用新案法第二十四條ニ依リ官
報ニ公告シタルモ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件登錄實用新案第四五九號諸車輕轉機ハ其ノ請求範圍及圖面ニ依ルトキハ玉受、玉セリ及玉ヨリ成リ
之ヲ車輪ニ取附ルニ先ツ玉受ヲ轂心ノ内外ヨリ挿入シ螺錐ヲ以テ轂ニ定着シ之ニ玉及玉セリヲ嵌入シタ
ル後車ノ心棒ヲ貫通シ其ノ外端ヲ螺旋ニテ堅緩自在ニ固定スルモノナルモ斯ノ如キ構造ハ本件實用新案
登錄出願以前ニ帝國内ニ公用セラレタル自轉車等ニ於テ「ボール、ベアリング」ト稱シ普通ニ行ハレタル
モノニ比シ新規ト認ムヘキ點ナキモノトス故ニ本件登錄實用新案第四五九號諸車輕轉機ハ實用新案法第
一條第一項ニ該當シ同法第三十一條ニヨリ無効タルヘキモノトス
其ノ他請求人ニ於テ申立ツルトコロアルモ審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ與ヘス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
登錄實用新案第四五九號ノ登錄ハ之ヲ無効トス

明治四十年五月九日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪田 貞一
特許局技師 鈴木 千代吉
特許局事務官 人見 次郎

第一千二百二十四號

大阪市東區南本町四丁目百八十四番屋敷 請求人 中川 伊作
大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者 右代理人 戸田 松次郎
名古屋市上長者町五丁目六番地 被請求人 佐藤 捨三郎

右中川伊作ヨリ佐藤捨三郎ニ對シ第一五六三號登錄實用新案ノ登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタル
ニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一五六三號登錄實用新案頭帽兼用襟布ハ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人
ハ第五六一號登錄實用新案莫大小襯衣掛襟ノ權利ヲ有スルモノニシテ其ノ物品ハ折襟式首環ノ前部ニ垂
片ヲ接續シ環ノ後下邊ニ釦孔ヲ設クルモノナリ然ルニ被請求人ハ實用新案登錄第一五六三號ヲ以テ頭帽
兼用襟布ナルモノニ權利ヲ得タリ其ノ物品ノ構造ハ是亦折襟式首環ノ前部ニ垂片ヲ接續シ環ノ後下邊ニ
細條ヲ設ケタルモノナリ而テ上記ノ二者ハ襯衣ノ襟釦ニ嵌着シ移動セシメサル爲ニ甲者ハ孔トシ乙
者ハ紐トセルノミニシテ何人ノ眼ヨリ視ルモ同一物ニ認ムヘキモノナリ被請求人ハ特ニ頭帽兼用ナル名
稱ヲ冠シ右物品ノ後下邊ノ細紐ニ依リ首環部ノ折襟ヲ延長シ上端ニ於テ適宜之ヲ括ラハ後部ニ垂レ附キ
ノ頭巾トナルモノト謂フモ請求人ノ第五六一號實用新案品ト云ヘトモ其ノ莫大小製ナルト及ヒ同一式ナ
ルカ爲メ使用者カ適宜ニ細條ヲ以テ頭帽タラシメントセハ容易ニ之ヲ爲シ得ラル、コトハ何人モ首肯ス
ル所ナリ而テ被請求人ハ其ノ名稱ニ於テ頭帽ニモ用フルテフノ虛效ヲ加フルモ其ノ心意ハ全ク襟布ニ
存スルコトハ名稱ノ骨髓ヨリスルモ將又其ノ標記並ニ領收證裏面ノ廣告等ニ徵スルモ明ニシテ此二者カ
全然同一物ナルコトハ毫モ疑フヘカラス故ニ第一五六三號頭帽兼用襟布ハ實用新案法第一條第一號及第

二號ニ該當シ右登錄ハ無効ナリト云フニアリ而テ右ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ第五六一號登錄實用新案ノ登錄請求範圍ハ首環ノ前面ニ垂片ヲ接續スル折襟形ニシテ後部ノ上邊ニモ短片ヲ附着シ其ノ中央ト兩側ニ釦孔ヲ穿テ下着襦衣ノ兩肩並ニ後背ニ釦ヲ附ケ之ニ嵌合セシメ移動ヲ防クモノナリ故ニ之ヲ頭巾ニ使用セン^ルモ後部ノ短片ニテ兩眼部ヲ妨ケ又本品以外ノ細紐ヲ用ヒサレハ容易ニ使用シ難キヲ以テ第五六一號實用新案品カ頭巾ニ使用シ得ルト云フハ登錄ノ範圍ヲ犯セルモノナリ然ルニ被請求人ノ第一五六三號登錄實用新案品ハ頭巾廻リヲ二重ニ折返シ垂片ヲ胸當トシ後部ノ紐ヲ結ヒテ孔ヲ設ケ之ニ嵌着シテ廻旋ナカラシメ尙之ヲ頭巾ニ應用センニハ前記結紐ヲ解キ適宜ニ四方ヲ括ラハ後部ニ垂レ附ノ頭巾トナリ父子兼用ノ利便アリ請求人ハ又特許品定價表ノ說明ニ依リ襟布專効ノ意旨ナリト謂ヘルモ被請求人カ廣告セル新聞並ニ箱張用紙又ハ登錄標記等ニ徵スルモ襟布專効ノ目的ニ非ラサルハ明瞭ナリ又請求人ノ提出セル甲第三號證品ハ製造上至難ナルカ爲ニヤ後部ノ短片ヲ附着セサルニ依リ被請求人ノ製品ニ撞着セシモノニシテ請求人ノ製品ハ明ニ其ノ登錄請求範圍ニ相違セリ要スルニ第一五六三號登錄實用新案ハ實用新案法第一條ニ該當シ無効トナルヘキモノニアラスト云フニアリ而テ其ノ申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證乃至乙第六號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ノ有スル實用新案莫大小襦衣掛襟ハ明治三十八年九月二十五日登錄ヲ出願シ同年十月二十三日登錄セラレタルモノニシテ其ノ構造ハ「メリヤス」ヲ以テ製シ前面ニ垂片(イ)ヲ接續スル折襟ニシテ後部上邊ニ短片(ロ)ヲ附着シ其ノ中央ト兩側ニ小孔(ハ)ヲ穿テタルモノナリ然ルニ被請求人ノ有スル實用新案ハ頭巾兼用襟布ハ明治三十九年一月十五日登錄ヲ出願シ同年三月十九日登錄セラレタルモノニシテ其ノ構造ハ「メリヤス」ヲ以テ製シ二重ニ屈折セシメタル頸襟(イ)ヲ有シ之ニ垂片(ロ)ヲ接續セシメ後部上邊ニ細條(ハ)ヲ附着スルモノナリ依テ兩實用新案ヲ對比スルニ何レモ「メリヤス」ヲ以テ製シ頸部ヲ二重ニ折リ其ノ前方ニ垂片ヲ接續スルモノニシテ後部ノ短片ノ有無及後部上邊ニ於ケル止メノ構造ニ於テ多少ノ差異ナキニアラスト雖其ノ大體ノ構造ニ於テハ兩者相類似セルヲ認ム被請求人ハ自己ノ有スル實用新案ハ頭巾トナシ得ルノ差異アリト云フト雖之カ爲特殊ノ構造ヲ具セシメタルニアラサレハ單ニ別種ノ用途ヲ案出シタルニ止リ物品トシテ本件兩實用新案ハ互ニ相類似スルモノト云ハサルヲ得ス而テ被請求人ノ登錄出願前既ニ請求人ノ實用新案ハ登錄ヲ受ケ明治三十八年十一月十六日特許局ニ於テ發行スル實用新案公報第十七號第七頁ニ掲載セラレタルカ故ニ被請求人ノ實用新案ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ登錄ヲ受クルコトヲ得サルモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ有スル第一五六三號登錄實用新案頭巾兼用襟布ノ登錄ハ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十年五月十六日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太都
特許局技師 安藤格
特許局事務官 奥山萬次郎

第千四十號

橫濱市高島町一丁目一番地	請求人	庄田常次郎
東京市京橋區木挽町十丁目二番地特許代理業者	右代理人	高橋淺五郎
東京市京橋區采女町二十四番地特許代理業者	右代理人	松田源治
橫濱市初音町二丁目二十七番地	被請求人	森下永造
橫濱市戸部町四丁目二十六番地	被請求人	小清水庄太郎
橫濱市裏高島町一丁目一番地	被請求人	伊藤久三郎
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者	右代理人	大野成之

右庄田常次郎ヨリ森下永造、小清水庄太郎、伊藤久三郎ニ對シ第一七五八號實用新案登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第一七五八號洋燈口金ハ無効ナリトス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人カ製作ヲ命シタル口金ヲ元雇職工タリシ伊藤久三郎カ剽窃シ之ヲ横田兼太郎ノ名義ヲ以テ實用新案ノ出願ヲ爲シ第一七五八號ヲ以テ登録ヲ受ケタルモノニシテ該出願ハ實用新案法第一條ニ所謂考案者又ハ其承繼人ニアラサル者ノ出願ニ係ルモノニシテ其ノ登録ノ無効ナルニ不拘横田兼太郎ノ考案ニ係ルモノ、如ク裝ヒ剽窃ノ事實ヲ掩ハントスルモノナリ而テ右登録實用新案洋燈口金ノ販賣廣告ニハ伊藤久三郎並ニ横田兼太郎ノ兩人カ苦心ノ結果案出セシモノ云々ト記載シナカラ登録願書ニハ考案者横田兼太郎ノミヲ記載シ伊藤久三郎ヲ除外シアルハ剽窃ノ事實ヲ掩ハントスルニ出テタル所爲ナルコトヲ證スルニ餘アリ加之實用新案登録願書ニハ考案者ノ氏名ヲ掲ケ出願人カ考按者ニア

*百

ラサル場合ニ於テ其ノ内ノ或者カ出願スル場合ニハ他ノ共同考案者ノ持分讓受又ハ持分放抛ニ關スル證明書ヲ添附スルコトヲ要スルハ實用新案法ノ解釋上疑ヲ容レサル所ナリ然ルニ本件登録實用新案第一七五八號ハ前述ノ如ク横田兼太郎伊藤久三郎ノ兩名カ考案セシモノナリト自陳セルニ不拘其ノ願書ハ法定ノ形式ヲ缺ケルモノナルニ依リ此點ヨリスルモ該出願ハ無効ノモノナルニ依リ之ニ基テ登録ノ無効ナルハ言フ俟タヌ又實用新案法ニ依リ登録ヲ受クルコトヲ得ヘキ物品ハ其ノ構造在來ノ物品ト異ルノミナラス特殊ノ效果ヲ奏スルモノナラサルヘカラス然ルニ本件登録第一七五八號ノ如キハ其ノ構造頗ル複雑ニシテ作製ニ多大ノ手數ヲ要スルモノナレハ假ニ重油ヲ使用スルコトヲ得ルトスルモ之カ爲何等社會ヲ利スル所ナシ否反テ請求人ノ有スル特許第八二九五號ニ比シ不利益ナルコト甚シ果シテ然ラハ該口金ハ實用新案法ノ精神ニ違反スルモノニシテ其ノ登録ノ無効ナルコト勿論ナリ又請求人ノ有スル特許第八二九五號口金ハ心筒ノ上部ニ外筒ヲ挿込ミテ其ノ上面ヲ皿狀又ハ平面ニシタルモノナリ或ハ又心筒ノ上部ニ外筒ヲ挿込マス其ノ上端ヲ平面ニスルノ改訂特許ヲモ受ケ居レリ而テ被請求人ハ實用新案口金ト異ル所ハ心筒ノ上部ニ外筒ヲ挿込ムコトノ代ニ同一ノモノヲ捲キタルニ過キス被請求人ハ實用新案口金ニハ外筒ノ側面ニ穴アリテ燈芯管ノ側面ニ附着スル通氣管ニ通スルモ特許ノモノニハ之ナシト云フモ其ノ心筒ノ側面ニ附着スル通氣管ハ普通ノ口金ニ存スル所ニシテ請求人ノ特許口金ハ固ト普通ノ口金ニ外筒ヲ挿込ミタルモノナルカ故ニ二者其ノ實體ニ於テモ將タ其ノ效用、作用ニ於テモ全然同一ナリ請求人ノ有スル特許口金ト雖必スシモ皿狀ヲ形成セシムルモノニアラスシテ直角ニ屈折スルコトアルヘキハ明治三十九年十一月二十九日附改訂明細書特許請求範圍ノ前段ニ於テ發明ノ精神ヲ變更スルコトナク心筒ノ上端橢圓形ノ皿狀ヲ形成セシメタル部分ニ多少ノ變更ヲ加フルコトアルヘキ旨ヲ記載シアリテ請求人ハ甲第四號證ノ如ク水平ニ屈折シタル口金ヲ作製シ本件實用新案登録出願前ヨリ公ニ販賣シツ、アルニ依テ明

*百一

ナリ要スルニ被請求人ノ實用新案口金ハ實用新案法第一條第二號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ナリト云フニ在テ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號乃至第六號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人主張ノ理由第一點ハ本件實用新案ハ請求人ノ考案ニ成レルモノヲ被請求人ノ一人タル伊藤久三郎カ剽窃シ横田兼太郎ノ名義ヲ以テ其ノ登録ヲ出願シタルモノナルヲ以テ無効ナリト云フニ在リ然レトモ斯ル事實ハ全然被請求人ノ否認スル所ナリ其ノ第二點ハ係争ノ實用新案ハ被請求人カ甲第二號證ニ記載スル如ク兩名ノ考案ニ成レルモノトセハ持分拋棄ニ關スル證明書ヲ添附シテ出願ヲ爲スヘキニ之ヲ爲サ、リシハ法定ノ形式ヲ缺ケル無効ノモノナリト云フニ在リ然レトモ承繼ノ證明書ヲ添附スルヲ要スルハ出願人カ考案者ニ非サル場合ニ於テ然ルノミニシテ出願者自ラ考案者タル場合ニ於テハ共同ノ考案タルト否トヲ問ハス斯ル證明書ヲ添附スルノ要ナキノミナラス形式ノ不完全ナルカ爲メ登録シタル實用新案ヲ無効トスヘキ法規ノ存在スルモノナシ況ンヤ係争實用新案ハ横田兼太郎カ考案シタルモノニシテ伊藤久三郎ニ製作ヲ依托シ同人ノ實驗上ノ意見ヲ聽キタルコトアルニ過キサルニ於テヲヤ甲第二號證ハ被請求人ノ一人タル小清水庄太郎ノ營業上ノ引札ニシテ畢竟係争實用新案カ苦心ノ末ニ成レルモノナルコトヲ知ラシメシカ爲メ伊藤久三郎ノ意見ヲ參照シタル事實ヲ記載シタルニ止マルモノトス其ノ第三點ハ係争實用新案ハ特許第八二九五號ニ比シレハ構造頗ル複雑ニシテ作製ニ手數ヲ要シ何等社會ヲ利スル所ナキヲ以テ其ノ登録ハ無効ナリト云フニ在レトモ已ニ係争ノ實用新案カ重油ノ點火ニ使用シ得ヘキコトヲ認識スル以上ハ何等社會ヲ利スル所ナシトノ空論ハ消散スヘシ作製ニ多大ノ手數ヲ要スルト云フカ如キハ構造ト效果トヲ願ミサル議論ニシテ採ルニ足ラス其ノ第四點ハ係争ノ實用新案ハ芯筒ヲ二重トナシ其ノ間隙ヲ密閉シ點火部ニ空氣ノ直送ヲ妨ケ之ニ依テ煤煙ヲ止ムヘキモノニシテ特許第八二九五號ノ芯筒ノ上端ヲ外方ニ屈折シテ空氣ノ直送ヲ

妨ケ之ニ依テ煤煙ヲ止メタルモノト同一ナリト云フニ在リ係争實用新案ニハ外筒ノ側面ニ設ケタル氣孔ヨリ燈芯管ノ側面ニ附着スル通氣管ヲ經テ油壺内ニ通氣ノ用ヲナシ依テ以テ油ノ度ヲ高メ燃燒ヲ容易ナラシメタル構造ヲ具フルモ特許第八二九五號ニハ斯ノ如キ構造ナシ而テ請求人ノ提出シタル甲第四號證ハ特許ノモノニ非ス特許ノ口金ハ芯筒ノ上端カ皿狀ナラサルヘカラス芯筒ノ上面カ皿狀ナルトキハ上端ニ於テ空氣カ集中セシテ火力開ク様ナルモ實用新案ノモノハ平面ナルカ故空氣ハ下ヨリ眞直ニ通シ上端ニ於テ火ノ開ク如キコトナシ特許ノ口金ハ空氣カ芯筒ノ上端迄來リテ逃ルノ嫌アルモ實用新案ノモノニハ斯ノ如キコトナシ又被請求人ノ口金ニ於ケル外筒ノ上部側面ニアル穴ハ決シテ普通ノ口金ニ存スルモノニ非ス假ニ一步ヲ讓リ特許ノ口金ト實用新案ノ口金ト同一ノ點アリトスルモ一部分同シ所アルノ故ヲ以テ其ノ實用新案ヲ無効トスヘキモノニ非スト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件實用新案第一七五八號洋燈口金ハ其ノ登録請求範圍ニ依レハ燈芯管ノ上半部ハ外筒ヲ嵌シテ二重筒トナシ尙該二重筒上縁ノ間隙ハ覆板ヲ以テ覆ヒテ油燈止トナシ又外筒側面ニハ氣孔ヲ穿設シ而テ又燈芯管下半ノ側面ニハ一端ヲ二重筒内ニ又他端ヲ口金底ニ顯出スヘクナシタル通氣管ヲ附着シ以テ外筒側面ナル氣孔ト連絡シテ油壺内ヘノ通氣ノ要ヲナスヘクセル油燈口金ナリ然ルニ請求人ハ本件實用新案口金ハ自己ノ考案ニ成レルモノヲ被請求人ノ一人ナル伊藤久三郎カ剽窃シ横田兼太郎ノ名義ヲ以テ出願シタルモノニシテ出願者ハ考案者ニアラサルカ故ニ實用新案法第一條ニ違反シ其ノ登録ハ無効ナリト云フト雖其ノ主張ヲ確ムルニ足ルヘキ證據ナキヲ以テ之ヲ認ムルヲ得ス請求人ハ甲第二號證ニ依ルトキハ本件實用新案ハ横田兼太郎及伊藤久三郎兩名ノ考案セシモノトアルニ拘ラス其ノ願書ニ後者ヲ除外シアルハ法定ノ形式ヲ缺ケルモノナルカ故ニ該出願ハ無効ナリト云フト雖甲第二號證ハ單ニ藤森商店ノ口金及

都油販賣ノ廣告ニ過キサラフ以テ之ニ依リ直ニ該實用新案カ前記兩名ノ共同考案ニ成ルモノトナスヲ得
 ス從テ該實用新案ノ出願カ形式ヲ缺ケルモノト云フヲ得ヌ又請求人ハ自己ノ所有ニ係ル特許第八二九
 五號ノ口金並甲第四號證ノ口金ノ本件實用新案登錄出願以前ヨリ公知公用ニ屬スル以上ハ其ノ實體ニ於
 テモ將タ其ノ效用作用ニ於テモ全然同一ナルカ故ニ該實用新案口金ハ實用新案法第一條第二號ニ該當シ
 無効ナリト主張スト雖請求人援用ノ口金ハ芯筒ノ上端ヲ橢圓形ノ皿狀ニ形成セシメタルモノ若クハ此皿
 狀物ヲ上端ニ有スル外筒ヲ普通ノ口金ニ嵌入シタルモノ又ハ該皿狀物ニ更フルニ平面板ヲ用ヒタルモ
 ノニシテ本件實用新案口金ノ芯筒ニ外筒ヲ嵌シテ二重トナシ其ノ上端ノ間隙ヲ覆板ヲ以テ覆ヒタルモノ
 トハ其ノ構造ニ於テ差異アリ而テ芯筒ニ外筒ヲ嵌シテ二重トナシ此處ニ油壺ニ通スヘキ空氣ヲ一部包
 圍シタルカ爲芯管保温ノ效果アルモノト認ムルカ故ニ本件實用新案口金ハ請求人援用ノ口金トハ其ノ構
 造效果ヲ異ニスルモノト云ハサルヘカラス從テ本件實用新案口金ハ特許第八二九五號口金並甲第四號
 證ノ口金カ公知公用ニ屬スルトモ之カ爲實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ無効タルヘキモノト云
 フヲ得ヌ其ノ他請求人ハ本件實用新案ハ特許第八二九五號ニ比シテ單ニ構造複雜ニシテ作製ニ手數ヲ要
 スルヲ以テ實用新案法ノ精神ニ違反シ無効ナリト云フト雖既ニ述フルカ如ク效果ヲ異ニスル以上ハ請求
 人ノ主張ハ其ノ理由アルモノト云フヲ得ヌ
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 請求人申立相立タヌ
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十年六月二十六日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄

特許局事務官 松 田 啓 太 郎
特許局技師 安 藤 格

第千八十九號

愛媛縣温泉郡垣生村大字西垣生	請 求 人	中 矢 傳 三 郎
愛媛縣温泉郡垣生村大字西垣生	請 求 人	中 矢 岩 藏
東京市京橋區竹川町二十番地特許代理業者	右 代 理 人	品 川 英 一
愛媛縣温泉郡垣生村大字西垣生千三百四番地	被 請 求 人	三 原 市 吾
愛媛縣温泉郡垣生村大字西垣生百十六番戶	被 請 求 人	長 谷 川 鐵 藏
大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者	右 代 理 人	戶 田 松 次 郎

右中矢傳三郎、中矢岩藏ヨリ三原市吾、長谷川鐵藏ニ對シ第二九一四號實用新案登錄ヲ無効トスル爲メ審
 判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登録實用新案第二九一四號經綉原絲製造機械ノ登録ハ之ヲ無効トス
 本審判事件ニ關スル費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決セラレ度其ノ理由ハ請求人ハ明治三十三年中綉絲
 製造機ナルモノヲ發明シ同年八月七日特許ノ出願ヲ爲シ同三十四年五月十一日登録番號第四六九一號ヲ
 以テ特許ヲ得タル者ナリ然ルニ前記被請求人ノ實用新案ハ請求人ノ特許ト均シク綉絲原絲製造機ナル
 ノミナラス其ノ構造ノ主要部分ノ同一ナルコト兩者ノ圖面並明細書ヲ對照比較スレハ明瞭ナリ而テ請求
 人ノ特許機械ハ本件實用新案出願前既ニ特許公報第四百號ニ記載サレタルモノナルヲ以テ本件實用新

案ハ實用新案法第一條第二號ニ所謂容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ公刊物ニ記載セラレタルモノニ類似シ登録ヲ受クルコト能ハサルモノナリト云フニアリテ兩者ノ構造ニ關シ特許公報第四〇〇號ニ記載セル明細書並圖面及實用新案公報第六四號ニ記載セル說明書並圖面ヲ援用セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決セラレ度其ノ理由ハ請求人ハ特許第四六九一號ト登録實用新案第二九一四號トハ主要部分同一ナリト主張スルモ其ノ所謂主要部分トハ如何ナル部分ヲ指シヤ漠トシテ其ノ要ヲ得ス請求人カ特許ヲ得タル物品ノ橫架式ニシテ其ノ經絲タルヘキモノヲ螺旋環線狀ニ紡織スルヲ以テ主タル發明ノ如ク唱フレトモ斯ノ如キハ從來玩具店等ニ於テ獨樂紐ニ色附ケヲ爲スニ當リ之ヲ竹筒等ニ螺旋環線狀ニ經セツ、色彩ヲ施スコトニ依リテ普通ニ屬シ其ノ他ノ機構ニ於テ原絲製造機タラシムヘク加工セリト雖要ハ殆ント從來ノ作業ト異ルトコナシ然ルニ被請求人ノ登録實用新案第二九一四號ノ物品ハ之ヲ直立式トナセル點ニ於テ既ニ絲ヲ螺旋環線狀ニ紡織スル上ニ就テ絲ノ取扱上利便ナルハ勿論甚タ完全ナルヲ期セリ尙各部ノ構造ニ至リテモ請求人ノ特許品ト比較スルトキハ其ノ構造作用共ニ全然相距ルコト常識アルモノ、首肯スル所ナリ之レ特許第四六九一號ノアルニ拘ラス實用新案第二九一四號ノ登録アル所以ナリト云フニ在リテ特許公報第四〇〇號並實用新案公報第六四號ノ記事ヲ援用セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

本件登録實用新案第二九一四號ノ經絲原絲製造機ハ其ノ圖面及說明書ニ依レハ方筒狀ニ配列シタル縮絲ヲ經トシ飛白織物ノ經絲トナス可キ原絲ヲ緯トシテ一種ノ螺旋環線狀ニ織込ム可キ考案ニ出テタルモノニシテ請求人ノ特許第四六九一號經絲製造ノ考案ト相一致スルモノナリ本件實用新案ニ於テ新案トシテ登録ヲ請求シタルハ織込ム可キ原絲ノ高低ヲ均一ニシ織目ノ尺度ヲ確實ニスヘキ鐵條柱(チ)、鐵條柱(チ)ノ平衡ヲ保タシムヘキ支片(ヌ)、縮絲ヲ結附クヘキ基礎(ツ)及(ム)(ウ)(キ)(ノ)ノ部分ヲ具フル能作器(ラ)ノ構造ニアルモノ之レ又前記特許經絲製造機ニ於ケル受金(ヨ)、支條(ワ)、鈎釘ヲ具フル板(ト)、綜柄(キ)及ヒ箆柄(ネ)ト均等ナルモノトス從テ兩機械ハ相類似スルモノト爲サ、ル可カラズ而シテ前特許第四六九一號ハ本件實用新案ノ登録出願前特許公報ニヨリ公知トナリタルモノナルヲ以テ本件實用新案ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ新規ノモノトシテ登録ヲ受クルヲ得サルモノニ屬ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

登録實用新案第二九一四號經絲原絲製造機ノ登録ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十年七月十八日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 松田啓太郎

第一千五百五十一號

大阪市東區大手通一丁目百二十二番屋敷
大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許代理業者
大阪市東區德井町二丁目十七番地

請 求 人 松 本 龜 太 郎
右 代 理 人 岡 田 謙 三 郎
被 請 求 人 大 西 泰 次 郎

右松本龜太郎ヨリ大西泰次郎ニ對シ第一五三三號登錄實用新案ノ登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造スル帽子ニ附着セル裏地ノ構造ハ被請求人所有ニ係ル第一五三三號帽子裏ノ請求範圍ニ撞着セサルモノナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ明治三十八年中ヨリ甲第一號證ノ帽子裏ヲ附着シタル帽子ヲ製造シ武德印ト稱シテ販賣セリ其ノ構造ハ帽子ノ裏地ニ「リボン」ヲ兩端及ヒ中央部ニ於テ糊着シ其ノ他ノ部分ハ之ヲ開閉セシメ該中央部ニハ「リボン」及裏地ニ掛ケテ武德ナル商標ヲ印刷シタル布片ヲ全部糊附トナシ尙其ノ周邊ヲ「ミシン」ニテ綴合シタルモノナリ又右武德印ハ甲第一號證ノ如ク明治三十九年十一月十二日附ヲ以テ商標ノ登錄ヲ受ケタルモノニシテ請求人ノ帽子裏ハ畢竟商標ヲ美麗ニスル趣味ノ裝飾物ニ止リ何等實用上ノ效果ヲ生シ得ヘキモノニアラス然ルニ被請求人ハ明治三十九年三月中第一五三三號ヲ以テ甲第三號證ノ帽子裏ニ對シ實用新案ノ登錄ヲ受ケ明治四十年三月八日附ヲ以テ請求人ニ對シ甲第四號證ノ照會狀ヲ郵送セルニ付止ヲ得ス權利確認ノ審判ヲ請求スル所以ナリ抑モ被請求人カ權利ヲ有スル帽子裏ノ登錄請求範圍ニハ圖面ニ示セル帽子裏ノ構造トアリ而テ圖面ノ說明ニ依レハ第一號圖ハ本品ヲ完成セル正面圖ニシテ第二號圖ハ之カ(イ)(ろ)點線ヨリ截切セル斷面ナリ第參圖以下ハ之ヲ箇々ニ詳示スルモノニシテ即チ第參圖(A)ハ普通ノ帽子裏地ヲ示シ第四圖ハ(A)面ニ斜メニ兩邊(E)ニ依リ縫着スヘキ一文字片(B)ヲ描キ第五圖ナルハ袋皮(C)ヲ寫ス但其ノ形狀ハ任意ニシテ一部ノ袋口(F)ヲ除キ周邊ヲ(E)ニ依リ一文字片(B)上中部ニ縫着スト記載シタリ即チ實用新案ノ主眼トスル所ハ一部ノ袋口(F)ヲ除キテ周邊ヲ(E)ナル縫目ニ依リテ一文字片(B)ノ上面中央ニ縫着シタル點ニ外ナラス且一文字(B)ナルモノハ被請求人ニ於テ如何ナル效用アリトスルカ推知シ難キモ請求人製造ノ甲第一號證帽子裏ニ於ケル「リボン」ハ何等實用的ノ作用アルモノニアラス而テ前者ハ

其兩邊ヲ(E)ニ依リ縫着シ後者ハ糊ヲ以テ其ノ兩端及ヒ中央部ヲ貼着セルカ故ニ構造ニ於テハ全然相違セルモノナリ又甲第一號證ニ於テハ「リボン」ノ中央ニ武德ナル商標ヲ印刷シタル布片ヲ糊ニテ定着シ尙其ノ周邊ヲ縫着シ甲第三號證帽子裏ノ袋皮ハ一部分ニ袋口(F)ヲ存シ其ノ他ノ周圍ヲ帽子裏ニ縫着シ袋口(F)ヨリ内部ニ向ヒ名刺其ノ他ノ物品ヲ押入收藏シ得ルノ構造トナセルカ故ニ二者其ノ構造上毫モ撞着スヘキ理由ヲ存セサルコト明白ナリト云フニ在リテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ請求人ハ自己カ製造シツ、アル帽子裏ノ構造ハ明治三十八年中ヨリ販賣セリト云フモ其ノ證據ヲ認メス依テ之ヲ否認ス而テ請求人カ武德印ナル商標ノ登錄ヲ得タルハ確知セルモ請求人ハ他ニ帽子一切ニ使用スヘク第一九一一號ノ登錄商標ヲ有シ帽子ノ外郭ニ垂下シテ一見認知シ易カラシメタリ而テ其ノ商標ニハ登錄商標ト標記セルヲ怠ラサルニ武德印ニ附テハ何等記スル所ナシ同一人ニシテ同一ノ物品ニ二箇ノ商標ヲ使用シ一ハ之ニ標記ヲ加ヘ一ハ之ヲ除クハ其ノ商標ニアラスシテ構造ナリト明示スルニ便セル手段ナリ何トナレハ凡ソ標記ハ其ノ全形ヲ一紙片又ハ一布帛面ニ印刷其ノ他ノ手段ニ依リ顯ハスヲ通例トシ帽子裏ニ要スル場合モ斯クスルカ又ハ直接ニ帽子裏ニ押捺スルヲ普通トス然ルニ請求人ハ斜線ト兩側文字ト一文字片ニ印刷シテ帽子裏ニ加ヘ更ニ其ノ中央ニ殘餘ノ商標ヲ附スルニ特ニ周邊ヲ縫綴シ刺サヘ其ノ上頭部ノ縫綴ハ少シク之ヲ餘シテ袋口ノ如ク或ハ袋口ニアラサルカ如クシ全部ノ構造ニ實用ヲ有セス單ニ裝飾的ナリト曲解セリ被請求人ノ帽子裏構造ト僅ニ異ル點ハ一文字片ノ兩端ヲ止メタルト兩側邊ヲ止メタルトノ差ノミニシテ盾形ノ一部ニ袋口トシテ縫綴ヲ省キタルト僅ニ縫綴ヲ餘セルトノ差ハ一見之ヲ識別シ得サル程度ノモノタルオヤ之ヲ要スル實用新案權ナリトテ商標權ヲ侵害スヘキ行爲アルヘカラサルト等シク商標權者モ亦

實用新案權ニ撞着スルノ行爲ヲ避クヘキハ當然ノ理ナリト云フニ在テ其ノ答辯ヲ確ムル爲メ乙第一號證乃至乙第五號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件請求人ノ製造販賣セル帽子裏ハ帽子上ニ稍斜メニ「リボン」ヲ其ノ兩端及中央ニ於テ糊着シ其ノ中央部ニハ「リボン」並裏地上ニ更ニ武德ナル商標ヲ印刷シタル布片ヲ全部糊着シ尙其ノ周邊ヲ「ミシ」ニテ綴合シタルモノナルコト請求人ノ申立並甲第一號證ニ依リ明ナリ然ルニ被請求人ノ所有ニ係ル登録實用新案第一五三三號ハ帽子ノ裏地上ニ斜メニ布帛又ハ皮革ノ帶狀一文字片ヲ其ノ兩邊ニ於テ縫着シ更ニ又布帛或ハ皮革ヲ以テ任意ノ形狀ニ作りタル袋皮ヲ該一文字片ノ中央部ニ置キ一部ノ袋口ヲ殘シテ其ノ周邊ニ於テ裏地ニ縫着シ名刺入等ノ用ヲナス袋ヲ形成セシメタル構造ノ帽子裏ニシテ請求人ノ製造販賣セルモノトハ一文字片ヲ其ノ兩邊ニ於テ縫着シタルト中央ノ布帛ヲ糊着セシメテ其ノ周邊ニ於テ縫着シ袋ヲ形成セシメタルノ差異アルヲ以テ兩者ハ其ノ構造ニ於テ異ルモノト云ハサルヲ得ヌ又請求人ノ製造販賣セル帽子裏ハ請求人主張ノ如ク何等實用上ノ效果ヲ有スルモノト認ムルヲ得サレハ兩者ハ互ニ撞着スルモノト云フヲ得ヌ其ノ他當事者双方ニ於テ論辯スル所アルモ本件審理ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ製造販賣セル甲第一號證ノ帽子裏ハ被請求人ノ所有ニ係ル登録實用新案第一五三三號帽子裏ノ請求範圍ニ屬セサルモノトス

明治四十年七月十八日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄

特許局技師 安 藤 格
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第千百十七號

岐阜縣土岐郡下石村八百七十六番地

請 求 人 林 浪 九 郎

東京市京橋區木挽町十丁目二番地特許代理業者

右 代 理 人 高 橋 淺 五 郎

岐阜縣土岐郡下石村八百三十六番地

被 請 求 人 林 萬 次 郎

右林浪九郎ヨリ林萬次郎ニ對シ登録實用新案第一號陶磁器成形器ノ登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第一號陶磁器成形器ノ登録ハ無効ナリト審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人カ明治三十八年七月一日ニ出願シ同年七月七日附ヲ以テ登録ヲ受ケタル實用新案第一號陶磁器成形器ハ審判番號第一〇一三號特許第九六七一號電氣用磁器製造器械無効審判事件ニ關シ被請求人ノ先代萬次郎カ其ノ審判請求書ニ於テ明治三十四年五月十七日工學博士高山甚太郎氏カ當地方巡回ノ節請求人林萬次郎工場ヘ立寄ラレ右機械ノ構造並ニ其ノ使用法等親シク實見セラレ中路以上ノ各證ニ依テ見ルモ特許第九六七一號ハ請求人等カ其ノ出願以前ニ於テ發明シ已ニ實用ニ供シツ、アリタルコトハ明白ナル事實ナリトスト言明シ又請求人等ハ發明ノ當時該機械ニ對シ特許ヲ出願セント思ヒシモ元來右機械タルヤ構造簡單ナルヲ以テ到底特許ヲ受クルノ價値ナシト信シ其ノ出願ヲ爲サ、リシカ明治三十八年七月一日ヨリ實用新案法實施セラル、ト聞キ同法ニ依リ出願シ其ノ第一號ヲ以テ登録セラレタリト陳述シ更ニ其ノ

辯駁書ニ於テ請求人ハ同證(甲第一號證)ニ依リ公知公用ノ事實ヲ立證シタルモノニシテ被請求人ノ云フ
 カ如ク單ニ公知ノミヲ證明シタルニ非ス蓋シ本件ノ爭ハ特許第九六七一號ト同一又ハ類似ノ構成ヲ有ス
 ル器械カ其ノ特許出願前公知ラレ又ハ公ニ用ヒラレタルヤ否ヤニアリ而シテ請求人ハ其ノ器械カ數
 年前ヨリ請求人ニ於テ公ニ使用シタルコトノ舉證トシテ公刊物タル解説書ヲ引用シタルナリ即チ其ノ
 公知カ當業者ニ於テ容易ニ應用サレ得ヘキ程度ニ解説セラレタルヤ否ハ毫モ本件ノ爭ニ關係ナキトコ
 ロニシテ苟モ發明者ト稱スル被請求人以外ノ請求人ニ於テ其ノ所謂發明ト同一又ハ類似ノモノヲ使用シ
 居タル事實アルトキハ其ノ特許發明品ハ當然特許法第二條第四號ニ該當スルモノナリ云々ト陳述シ以
 テ特許第九六七一號ノ無効ヲ主張スルト同時ニ登錄實用新案第一號陶磁器成形器モ亦數年前ヨリ公用
 ニ屬シタルモノナルコトヲ明白シ且自ラ之ヲ立證セルカ故ニ本件實用新案ハ實用新案法第一條第二項
 ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ其ノ主張ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セ
 リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人ハ被請求人カ疑ニ請求人ノ特
 許ヲ無効トスル爲メ立證シタル事實ヲ唯一ノ根據トシテ本件新案ノ登錄無効ヲ主張スルモ被請求人ハ該
 事件ニ於テハ唯請求人カ有セル特許第九六七一號ト同様ノ構成ヲ有スル器械カ已ニ其ノ出願前ニ於テ發
 明者ト稱スル請求人以外ニ於テ公知公用トナレルコトヲ主張シタルノミニシテ被請求人カ登錄ヲ受ケ
 タル本件第一號新案ト其ノ當時被請求人カ使用シツ、アリタルモノト全然同一ナリト斷定シタルコト
 ナシ被請求人カ先代林萬次郎ヨリ承繼シタル登錄實用新案第一號ハ其ノ登錄請求範圍ニ明記セル如ク
 (イ)ナル機臺ト(ロ)ナル螺旋桿ヲ有スル壓蓋(ハ)ト圓筒(ニ)、摺轉板(ホ)ト「クリート」成形器(ヘ)並ニ
 其ノ截斷器(ト)ト圓管成形器(チ)ト陶器箱成形器(リ)トノ組合セタルモノニシテ從前ノ器械ニ對シ多大
 ノ改良ヲ加ヘ益々其ノ效力ヲ增加セリ而シテ其ノ改良ヲ加ヘタル器械ノ組合ハ即チ新案トシテ登錄サレ
 タルモノニシテ改良前ノ器械カ公知トナリタリトスルモ其ノ事實ハ直ニ本件新案ノ無効ヲ請求スル
 理由トナラサルヤ明ナリ是レ甲第二號證ノ附屬圖面ト第一號實用新案解説書トヲ對比セハ明瞭ナリト云
 フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 請求人ハ本件登錄實用新案第一號陶磁器成形器カ其ノ登錄出願前公用ニ屬シタル事實ヲ確ムル爲メ審判
 番號第一〇一三號特許第九六七一號無効審判事件ニ於ケル請求人自身ノ申立ヲ援用シタルニ對シ被請求
 人ハ該事件ニ於テハ唯特許第九六七一號ト同様ノ構成ヲ有スル器械カ已ニ其ノ出願前公知公用トナレル
 事實ヲ主張シタルノミニシテ被請求人ノ登錄ヲ受ケタル本件實用新案第一號ト其ノ當時被請求人カ使用
 シツ、アリタルモノト同一ナリト斷定シタルコトナシ被請求人ハ從前ノ器械ニ多大ノ改良ヲ加ヘ其ノ
 改良ヲ加ヘタル器械ノ組合ハ則チ新案トシテ登錄セラレタルモノナリト陳辯スルモ甲第二號證ノ一審
 判番號第一〇一三號審判請求書ニ於テ被請求人ハ前略以上ノ各證ニ依テ見ルモ被請求人カ恣ニ特許ヲ受
 ケタル第九六七一號特許ハ請求人等カ其ノ出願以前ニ於テ發明シ已ニ實用ニ供シツ、アリタルコトハ
 明白ナル事實ナリトス而シテ請求人等ハ發明ノ當時該器械ニ對シ特許ヲ出願セント思ヒシモ元來右器械
 タルヤ構造簡單ナルヲ以テ到底特許ヲ受クル價值ナシト信シ其ノ出願ヲ爲サ、リシカ明治三十八年七
 月一日ヨリ實用新案法實施セラル、ト間キ同法ニ依リ出願シ第一號ヲ以テ登錄セラレタリト陳述
 シタルニ觀レハ本件登錄實用新案第一號ハ其ノ登錄出願前被請求人カ使用シツ、アリタルモノト同一
 若クハ均等ナルコトヲ認メ得ヘシ而シテ其ノ使用タルヤ被請求人カ明治三十四年以來該器械ノ解説書
 ヲ第五回東海農區五縣聯合共進會並ニ第五回內國勸業博覽會ニ提出シタルノ事實アルニ徴シ之ヲ公然ノ

使用ナリト推定シ得ヘシ故ニ本件登録實用新案第一號ハ其ノ登録出願前已ニ公用ニ屬シ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルモノトス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 本件登録實用新案第一號ノ登録ハ無効トス本件審判ニ關スル費用ハ被請求人ノ負擔トス
 明治四十年七月二十四日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪田 貞一
 特許局技師 鈴木千代吉
 特許局事務官 松田啓太郎

第一千二百二十三號

大阪市北區老松町一丁目九十七番屋敷 請求人 松岡捨治郎
 大阪市北區龍田町六十番屋敷 請求人 岡本由敬
 大阪市南區西新瓦屋町百三十八番屋敷 請求人 島田得二郎
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 淺村三郎
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 佐々木高吉
 東京市本所區綠町三丁目九番地 被請求人 今井芳太郎
 東京市京橋區桶町三十一番地特許代理業者 右代理人 高尾傳七
 右松岡捨治郎外二名ヨリ今井芳太郎ニ對シ第八九三號登録ニツ折蓋ボール箱(反物用)實用新案登録ヲ無

效トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ前記實用新案ハ其ノ登録出願以前ヨリ帝國內ニ於テ公用ヒラレタルモノニシテ實用新案法第一條ノ規定ニ違背スルヲ以テ其ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ事實ハ右實用新案公報ニ示サル、如ク「ボール」箱ノ蓋ヲ開キタル時ニツ折ニナリテ蓋カ底面ニ接着スル様筋(は)ヲ設ケタルモノニシテ之ヲ普通ニツ折函ト稱スルハ被請求人ノ發シタル御報告ナル印刷物甲第一號證ニ依リテ見ルモ明ナル處トス而テ此俗稱ニツ折函ナルモノハ十數年來最モ普通ニ裏地反物入函トシテ行ハル、所ニシテ各地開催ノ共進會博覽會等ニモ反物ヲ出品スルニ當リ其ノ容器トシテ出陳サレタルハ何人モ之ヲ認ムル所ナリ又甲第二號證タル太田喜三郎ヨリ新野久次ニ宛テタル反物「ボール」箱注文葉書ニ徴スルモノ之ヲ認ムヘキ所ナリト云フニ在リ而テ其ノ申立ニ付甲第一號第二號證ヲ提出シ且人證ノ申立ヲ爲セリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ第八九三號登録實用新案ハ多年苦心研究ノ末登録許可ヲ得タルモノニシテ出願前ニ帝國內ニ於テ公用ヒラレタリトノ事實ハ之ヲ認メスト云フニ在リ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 本件所争ノ要點ハ第八九三號登録實用新案ニツ折蓋「ボール」箱ト同一又ハ類似ノ物品カ右登録出願前ヨリ公用ヒラレタルモノナルヤ否ヤニ在リ而シテ右「ボール」箱ト同一物品カ其ノ登録出願前ヨリ公用ヒラレタルノ事實ハ證人太田喜三郎及福井彌助兩名ノ訊問調書ニ依リテモ之ヲ認知シ得ヘキ所ナルカ故ニ右實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ新規ノモノトシテ登録ヲ受クルヲ得サルモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第八九三號實用新案登錄ハ無効トス
明治四十年七月二十四日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局事務官 松 田 啓 太 郎
特許局技師 安 藤 格

第一千六百一號

大阪府北區空町二丁目二百四十八番地 請 求 人 奥 田 龜 太 郎
大阪府東區平野町二丁目六番地特許代理業者 右 代 理 人 奥 田 善 之 助
大阪府東區天神橋筋二丁目五十五番地 被 請 求 人 川 上 安 太 郎
大阪府東區高麗橋二丁目百二十六番地特許代理業者 右 代 理 人 岡 田 謙 三 郎
右奥田龜太郎ヨリ川上安太郎ニ對シ第一五號登錄實用新案權利確認ノ爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理
ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ被請求人ガ製造販賣セル莫大小製首卷(甲第二號證)ハ登錄第一五號實用新案首卷ト
撞着スト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ登錄第一五號實用新案即莫大小製首卷ニシテ内面皮膚ニ接觸セ
ル部分ヲ起毛シタル首卷ノ實用新案權ヲ有シ明治二十八年以來製造販賣セリ然ルニ被請求人ハ明治三十
九年十月以來松原勘吉ナル者ノ名義ヲ以テ騰リ卷ト稱スル首卷ヲ製造シ同月十日自己ノ名義ヲ以テ該首

卷ノ實用新案登錄ヲ出願シタル處特許局ニ於テハ登錄スヘキモノト査定シタルモ請求人所有ノ登錄第一
五號實用新案ヲ使用スルニアラサレハ實施スルコト能ハサルモノト認メラレ其ノ旨請求人ニ對シ通知
アリタリ然ルニ被請求人ハ請求人ニ對シ何等ノ交渉ナク該首卷ニ對シ第四三〇七號實用新案ノ登錄ヲ受
ケテ製造販賣セリ抑モ被請求人カ登錄ヲ受ケタル首卷ハ上部狹ク下部廣キ楯狀ノモノニシテ登錄第一
五號實用新案ノ如ク筒狀莫大小ノ内面ヲ起毛シタルニアラス然ルニ被請求人ノ現ニ製造販賣スル甲第二
號證ノ首卷ハ上部ト下部ト廣狹ノ差異ナク筒狀莫大小ノ内面ヲ起毛シタルモノニシテ其ノ一端ニ一條
ノ毛絲ヲ編ミ附ケタル外登錄第一五號實用新案ト異ル所ナシ被請求人ハ實用新案權侵害ノ告訴ニ對シ豫
審免訴ノ決定ヲ受ケタリ云々ト云フト雖其ノ決定ノ理由ハ被請求人ノ所爲罪トナラサルカ故ニアラスシ
テ犯罪ノ證據充分ナラスト認メラレタルニ依ルカ故ナレハ此決定ハ以テ被請求人ノ製造販賣セル際リ卷
カ請求人ノ有スル登錄第一五號實用新案ニ撞着セストノ憑據トナラスト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル
爲メ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ
被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ有スル登錄第四三〇七
號登錄實用新案際リ卷ハ莫大小ヲ以テ製シ上部狹ク下部ニ向テ漸次ニ廣ク開キタル楯狀ノ筒ノ下端ニ編
ミ口ヲ設ケ之ニ紐ヲ點綴セルモノニシテ請求人ノ登錄第一五號實用新案即莫大小輪ノ上部反曲シタル
首卷トハ全然別異ノモノナリ又裏面起毛シタル莫大小地ハ從來ヨリ存スル品ニシテ之ヲ以テ登錄第一
五號實用新案ト構造ヲ異ニスル際リ卷ノ資料ニ供スルコトアルモ差支ナシト信ス又實施許諾ニ附テハ
再三請求人ニ交渉シタルモ荏苒時日ヲ遷延シ確答ヲ爲サ、ルヲ以テ被請求人ハ登錄期間ノ經過ヲ恐レ登
錄請求ヲ爲シ置キ引續キ交渉ヲナシツ、アル内ニ請求人ハ突然被請求人ヲ告訴シタルモ種々ノ調査ノ結
果豫審免訴ノ決定ヲ受ケタリ尙請求人ノ製品ト被請求人ノ製品トノ異ルコトハ兩者ヲ證據トシテ取調ヘ

シ大阪地方裁判所豫審ノ記載ニ依リ明瞭ナリト云フニ在リテ其ノ主張ヲ確ムル爲メ乙第一號證及ヒ乙第二號證ヲ提出シ且ツ大阪地方裁判所ニ保存セル被告人川上安太郎ノ實用新案法違反事件豫審記録ノ取寄ヲ申請セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件甲第一號證ハ請求人ノ有スル登録第一五號實用新案首卷ト同一ノ物品ナルコト並被請求人カ甲第二號證首卷ヲ製造販賣セシコトニ付テハ當事者間ニ爭ナキ所ナリ依テ甲第二號證ヲ甲第一號證ト對比スルニ前者ハ箆狀部ノ下端ニ毛絲製ノ紐ヲ點綴セルノ點ニ於テ後者ト差異アリト雖其ノ箆狀ニシテ内面皮膚ニ接スル部分ヲ起毛シタルノ點ニ於テハ後者全部ノ形狀及構造ト同一ナルヲ以テ甲第二號證ハ甲第一號證ト撞着スルモノト認ム被請求人ハ甲第二號證ハ上部狹ク下部漸次ニ廣キ壻狀ノ筒ナリト云フト雖甲第二號證ハ上下同様ノモノニシテ被請求人主張ノ如キモノニアラス其ノ他双方ニ於テ主張スル所アルモ必要ナキカ故ニ説明ヲ加ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ製造販賣セル甲第二號證首卷ハ請求人ノ登録第一五號實用新案首卷ニ撞着スルモノトス

明治四十年七月三十日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
特許局技師 安藤格
特許局事務官 奥山萬次郎

第千百三十八號

大阪市北區空町二丁目二百四十八番屋敷

請求人 奥田龜太郎

大阪市東區平野町一丁目六番地特許代理業者

右代理人 奥戸善之助

大阪市東區内平野町九十九番屋敷

被請求人 岩井和吉

大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者

右代理人 戸田松次郎

右奥田龜太郎ヨリ岩井和吉ニ對シ第一五號登録實用新案權利確認ノ爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ製造販賣セル莫大小製箆狀ニシテ内面ヲ起毛シタル首卷(甲第二號證並甲第三號證)ハ實用新案登録第十五號首卷ト撞着スト審決相成度其理由ハ請求人ハ實用新案登録第十五號即莫大小製箆狀ニシテ内面皮膚ニ接スル部分ヲ起毛シタル首卷ノ實用新案權ヲ有スルモノニシテ明治三十八年以來盛ニ製造販賣セリ然ルニ被請求人ハ實用新案登録第一二六三號ノ有權者島喜久男ナル者ト共謀シ其ノ實用新案ヲ口實トシテ明治三十九年九月以降今日ニ至ル迄甲第二號證並甲第三號證ノ如キ莫大小製箆狀首卷ヲ製造販賣セリ而モ其ノ實用新案登録第一二六三號ハ其ノ登録請求範圍ニモ明記セル如ク箆狀ヲナセル莫大小又ハ其ノ他ノ編物ノ一端ニ縋紐ヲ貫通シ其ノ結締點ニ小環ヲ付シ適宜ニ締結シ得ヘクナシタル首卷ニシテ新案ノ要部ハ即チ其ノ縋紐又ハ小環ニアリ之ヲ施スヘキ箆狀ノ莫大小製首卷ニアラサル事ハ文中「箆狀ヲナセル莫大小又ハ其ノ他ノ編物」トアルニ依リ明ナレハ若シ其ノ實用新案ニシテ請求人ノ第一五號實用新案ヲ利用スルニアラサレハ實施スル能ハサルトキハ請求人ノ許諾ヲ受クヘキコト論ヲ埃タス即チ實用新案登録第一二六三號ハ同第一五號ト撞着シ登録第一二六三號ノ實用新案權ア

リト雖登錄第一五號範圍ニ屬スル莫大小製筒狀ヲナシ内面起毛セル首卷ヲ製造販賣スルノ權利ナキヤ明
ナリ然ルニ被請求人ハ請求人カ登錄第一五號ノ實用新案權ヨリ製出スル甲第一號證ト全ク同一ナル甲第
三號證ニ締紐又ハ小環ヲ施シ或ハ特ニ紐拔ト稱シ締紐ヲ貫通セス小環ヲモ附セサル甲第三號證首卷ヲ名
古屋市金森某ヲシテ販賣セシメタリ被請求人ハ又第一五號實用新案ヲ以テ公知公用ニ屬スル形狀ニ存ス
ト云フト雖是只被請求人ノ放言ニ止ルノミナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且ツ
證人喚問ヲ申請セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人製造ノ首卷即實用
新案登錄第一二六三號ノ物品ハ其登錄請求範圍ニ明記セル如ク「筒狀ヲナセル莫大小又ハ其ノ他ノ編物
(イ)ノ一端ニ締紐(ロ)ヲ貫通シ其ノ締紐ニ小環(ハ)ヲ附シ其ノ部分ヲ返回シ而テ該紐(ロ)ニテ適宜ニ
締結シ得ヘタナシタル首卷」トアリ而テ實用新案登錄第一五號首卷ハ其ノ登錄請求範圍ニ示ス如ク「圖
面ニ示セル首卷ノ形狀」トアリ其ノ世上公知公用タリシ形狀ヲ以テシテ特別ノ效果ヲ有スル構造ニ對シ
其ノ一部ノ類似ヲ以テ撞着ヲ云爲スルハ不當ナリ又被請求人製造ノ物品ハ前述ノ如ク筒狀ヲナセル莫大
小又ハ其ノ他ノ編物(イ)ヲ用フルモノニシテ莫大小ト稱スルモ裏毛アリ兩毛アリ皆共ニ請求範圍ノ圈内
ニ屬スルモノナリ請求人ハ又甲第三號證ハ之ヲ名古屋市金森某ヨリ買收セリト雖被請求人ハ敢テ斯ル物
品ヲ製造販賣セシコトナシ之ヲ要スルニ登錄實用新案第一五號ハ單ニ形狀ノ權利ニ止リ被請求人ノ製品
即登錄第一二六三號ノ實用新案權品ハ實用上特殊ノ效果ヲ奏スヘク構造セルモノニシテ兩者ノ間毫モ撞
着スル所ナシト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲乙第一號乃至乙第五號證ヲ提出セリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ且證人ノ訊問ヲ行ヒ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ハ被請求人カ甲第三號證首卷ヲ名古屋市金森某ヲシテ販賣セシメタル事實アリト云フト雖證人名

古屋市玉屋町二丁目十六番地金森太七ノ證言ニ徴シ之ヲ認ムルコトヲ得ス依テ被請求人ノ製造販賣スル
甲第二號證首卷ト請求人ノ實用新案登錄第一五號首卷ト對比スルニ前者ハ筒狀ノ上端ニ締紐ヲ貫通シ其
ノ締紐點ニ小環ヲ附シタル點ニ於テ後者ト異レリト雖莫大小製筒狀ニシテ其ノ一面ヲ起毛セシメタル點
ニ於テハ後者全部ト同一ノ形狀及構造ナルカ故ニ甲第二號證ノ首卷ハ實用新案登錄第一五號首卷ト此點
ニ於テ撞着スルモノト云ハサルヲ得ス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
被請求人ノ製造販賣スル甲第二號證首卷ハ請求人ノ實用新案登錄第一五號首卷ト撞着スルモノトス
明治四十年八月九日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局技師 安 藤 格
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第一千百五十二號

請求人 村 田 多 傳 十
代理人 竹 村 多 傳 十
被請求人 寺 西 ミ ト リ
東京市麻布區我善坊町一番地
東京市芝區西久保巴町四十番地
東京市芝區三田四國町二番地一號
右村田みつヨリ寺西ミトリニ對シ第一三八八號登錄實用新案絹絲編製造花ノ登錄ヲ無効トスル爲メ審判
ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一三八八號實用新案絹絲編製造花ノ登録ハ無効トストノ審決相成度其ノ理由ハ被請求人所有第一三八八號登録實用新案絹絲編製造花ハ明治三十八年十二月七日ノ出願ニ係リ明治三十九年三月二日登録ヲ受ケタルモノナレトモ其ノ登録出願前同一並類似ノ製品カ廣ク製造販賣使用セラレ現ニ販賣且使用シタルモノナリ而テ又被請求人ハ請求人ノ徒弟トシテ本品ノ製造ヲ習得シタルモノニシテ被請求人自己ノ考案ニ係リタルモノニアラスト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ未タ曾テ請求人ヨリ絲編製造花ノ教示ヲ受ケタルコトナク請求人提出ノ證據ハ信ヲ措クニ足ラスト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ當事者ノ口頭陳述及證人ノ證言ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人所有ノ第一三八八號登録實用新案絹絲編製造花ハ明治三十八年十二月七日ノ出願ニ係リ同三十九年三月二日登録ヲ受ケタルモノニシテ其ノ登録出願前同一若クハ類似ノ物品ニ關シ帝國内ニ於テ公用ヒラレタルモノナルコトハ證人田村糸子ノ證言並甲第一號證及甲第二號證ニ徴シテ明ナルヲ以テ本件第一三八八號登録實用新案ハ實用新案法第一條ノ規定ニ違ヒ同法第三十一條ニ依リ之ヲ無効トセサルヘカラス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第一三八八號絹絲編製造花實用新案登録ハ無効トス

明治四十年八月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 鈴木千代吉

特許局事務官 松田啓太郎
特許局事務官 永井亨

第千八十一號

東京市日本橋區馬喰町四丁目二十三番地

請求人 中村村司

東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者

右代理人 大野成之

東京市本所區柳島梅森町五十二番地

被請求人 吉野繁次郎

右中村村司ヨリ吉野繁次郎ニ對シ第六八號登録實用新案ノ登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第六八號登録實用新案杓子ハ請求人ノ製作スル杓子ト撞着セストノ審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ裏面ニ溝ヲ設ケタル杓子ヨリ彈性ノ缺管ヲ打出シ止釘ヲ用ヒス柄ヲ堅ク挿入スヘクナシタル杓子ニ付明治三十八年七月十日實用新案登録ヲ出願シ同年同月二十二日第六八號ヲ以テ登録セラレタリ然ルニ請求人ハ在來普通ノ杓子即杓子ヨリ柄ヲ挿入スヘク管狀ニ打出シ止釘ヲ以テ挿入シタル柄ヲ止ムヘクシタル杓子ヲ製造シツ、アリ然リ而テ右兩者ノ差異ハ前者ハ杓子ノ裏面ヲ溝トナシ之ニ柄ノ先端ヲ達セシメ以テ杓子ノ首ヨリ折損スルヲ避ケタルモ後者ハ溝ヲ設ケス只打出シタル柄欄ニ柄ヲ挿入スルノミ又前者ハ彈性ノ缺管トナシ止釘ヲ用ヒス柄ヲ支持スヘクナシタルモ後者ハ打出シタル欄ヲ管狀トナシ止釘ヲ以テ柄ヲ支持スヘクナシタルニ止マルト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ製造スル杓子ハ被請求人ノ第六八號登錄實用新案杓子ト撞着スト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ第六八號登錄實用新案杓子ハ金屬製ノ杓子ノ裏面ニ凹溝ヲ形成セシメテ柄ヲ挿嵌スヘキ缺管ヲ打出シ之ニ先頭ヲ此凹溝ニ進入セシメテ缺管ノ折損ヲ防クヘク木製ノ柄ヲ嵌着シタルモノナリ然ルニ請求人カ製作スル杓子モ亦金屬製ノ杓子ノ裏面ニ凹溝ヲ形成セシメテ柄ヲ挿嵌スヘキ缺管ヲ打出シ之ニ先頭ヲ此凹溝ニ進入セシメテ缺管ノ折損ヲ防クヘク木製ノ柄ヲ嵌着シタルモノナルコト請求人ヨリ提出セル甲第一號證ヲ一見セハ明白ナリ只請求人ノ製作スル杓子ハ缺管部ニ挿嵌セル木製ノ柄ヲ釘止ニナシタルノ差アレトモ若シ此釘ヲ抽脱スレハ該缺管ハ自ラ彈性ヲ帯ヒ柄ヲ抱持シ得ルニヨリ釘ヲ施サ、ルモ漫ニ脱出スルノ憂ナシ是亦甲第一號證ニ就テ試ムレハ明瞭ナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第六八號登錄實用新案杓子ハ明治四十年三月二日審判番號第一〇九一號請求人岩田勝次郎外九名對被請求人吉野繁次郎間ノ實用新案無効事件ノ審決ニ依リ無効トセラレ而テ該審決ハ同年五月四日確定セルヲ以テ本件ハ請求ノ目的物ヲ缺クモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十年十月一日於特許局

審判長

特許局事務官

中 松 盛 雄

特許局技師

安 藤 格

特許局事務官

奥 山 萬 次 郎

第一千二百七號

熊本縣飽託郡錢塘村千八百六十二番地

請 求 人

小 山

吾

右小山吾ヨリ願書番號第一〇八七五號實用新案登錄願ニ對スル特許局審査官ノ拒絕再査定ニ服セス審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ本件特許願ニ對スル明治四十年五月二十八日附ノ拒絕再査定ハ不當ナリト審決相成度其ノ理由ハ審査官ハ既ニ本願機械ト實用新案登錄第三四七五號ト構造ニ於テ差異アルコトヲ認メテカヲ大體ニ於テ相類似タルコトヲ免レサルモノト認メサルヲ得ストノ理由ヲ以テ本願ニ拒絕ノ査定ヲ與ヘラレタルハ不當ナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

實用新案法ニ於テハ拒絕再査定ニ對シ審判請求ヲ認メサルヲ以テ本件ノ如キ實用新案登錄願ニ對スル拒絕再査定ニ關シ審判ヲ請求シ得ヘキモノニアラス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

本件審判請求ハ之ヲ却下ス

明治四十年十月十四日於特許局

審判長

特許局事務官

中 松 盛 雄

特許局技師

鈴 木 千 代 吉

特許局事務官

人 見 次 郎

第一千六百號

*百二十六

長崎縣北佐久郡三岡村大字森山七百三番地
東京市麹町區內幸町一丁目五番地特許代理業者
長野縣北佐久郡三岡村大字森山村百六十番地

請求人 鹽川伊一郎
右代理人 平松市藏
被請求人 日本桃養株式會社

右法定代理人同社社長

鹽川貞五郎

右鹽川伊一郎ヨリ日本桃養株式會社ニ對シ第三二七三號罐詰用洋桃核取鉢ノ實用新案登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ請求人ハ明治三十八年八月八日「鉢ノ先頭ニ鐵製指爪狀ノ爪ヲ附着シ兩指ヲ締ムルトキハ爪ハ鉢ノ内ニアル果實ノ核ト肉トノ間ニ切り込ミ壓搾ノ爲メ核ト肉トカ分離スヘキ構造ヲ有スル果實核拔器械ノ實用新案登錄ヲ出願シ同年九月十五日第三五四號ヲ以テ其登錄ヲ受ケタリ然ルニ被請求人ハ明治三十九年九月二十一日共金ヲ以テ打出セル刃先ヲ有シ螺旋「バネ」ヲ頭部ノ股内ニ裝置シタル罐詰用洋桃核取鉢ノ實用新案ノ登錄ヲ出願シ同年十月四日第三二七三號ヲ以テ其ノ登錄ヲ受ケタリ今第三二七三號實用新案ヲ以テ第三五四號實用新案ニ比スルニ第三二七三號實用新案ハ螺旋「バネ」ヲ兩柄間ニ附セスシテ之ヲ頭部ノ股内ニ裝置シタルト別箇ノ指爪狀ノ爪ヲ結合セスシテ共金ヲ打出シタルトノ差アルモ構造作用ハ同一ニシテ異別ノ考案ト見ルヘカラス假ニ同一ニアラストスルモ又類似タルコト一見明瞭ナリ或ハ第三五四號登錄實用新案ノ登錄請求範圍ニ螺旋「バネ」ヲ裝置スルコトノ記載ナキヲ以テ同一又ハ類似ニ非ラスト主張セシモ其ノ願書中圖面ノ說明ノ部ニ於テ壓搾開放ノ爲ニ之ヲ附着セシムヘキコトハ之ヲ明瞭ニ指示シ且ツ請求範圍ニ於テモ壓搾開放ノ構造ハ其ノ主要部分トシテ記載シアルヲ以テ

其ノ請求範圍中ニ螺旋「バネ」ノ裝置モ包含セシメ登錄セラレタルモノト云ハサルヘカラス而シテ請求人ハ明治三十八年八月八日以來第三五四號鹽川式果實核拔器トシテ公然社會ニ於テ之ヲ使用シ來リ第三二七三號登錄出願ノ日タル明治三十九年九月二十一日ニ於テハ已ニ公知公用ノ物品トナリタルモノナリ從テ第三二七三號實用新案ノ登錄ハ實用新案法第一條第二項ノ一及同法第十八條ニ依リ無効ナリト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ書類及ヒ物件取寄ノ申請ヲ爲シタリ
被請求人申立ノ要領ハ請求人ハ明治三十九年十月四日登錄許可ヲ得タル實用新案第三二七三號罐詰用洋桃核取鉢カ請求人ノ明治三十八年八月八日登錄許可ヲ得タル實用新案第三五四號鹽川式果實核拔器械ト同一若ハ類似ノ構造及ヒ作用ヲ有スルモノナリト唱フルモ被請求人ノ罐詰用洋桃核取鉢ハ全然特別ナル構造ヲ有スルモノニシテ即チ請求人ノ鹽川式果實核拔器械ノ如ク特ニ別箇ノ指爪狀ノ爪ヲ頭部ニ結合シタルモノニ非スシテ共金ヲ打出シ圖面ニ示セル如キ一種ノ形狀ヲ有セル鉢頭ヲ作製セルモノナレハ核ノ拔ケ方正順ニシテ拔跡ノ形狀最モ宜シク又請求人ノ核拔器械ノ如ク特ニ別箇ノ指爪狀ノ爪ヲ結合スルノ煩累ナク且使用上該爪ノ脱落破損ヲ來ス憂ナシ尙又被請求人ノ核取鉢ハ螺旋「バネ」ヲ實驗上特ニ頭部ノ股内ニ裝置シタルヲ以テ請求人ノ兩柄股内ニ裝置シタルモノニ比シテハ該器使用上最モ多數ノ果實ヲ拔取ルモノナレハ勞力ヲ省クノ效果多大ナリ且被請求人ノ用器ヲ模造改良シタルニアラス被請求人カ明治三十九年十月登錄ヲ得タル核取鉢ハ明治三十八年八月請求人カ登錄許可ヲ得タル前年ヨリ使用シテ現今ニ至ルモノニシテ營業ノ利益上特ニ登錄ヲ受ケ新案權ヲ獲得シ置クノ必要ナキモ請求人カ被請求人ニ向テ新案權侵害ノ訴ヲ提起セントスル狀アルヲ以テ被請求人モ明治三十九年十月現在使用セル核取鉢ノ登錄許可ヲ得テ請求人ノ用器ト別物ナルコトヲ明ニセルモノト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

*百二十七

本件請求人ノ所有ニ係ル第三四號登録實用新案鹽川式果實核拔器械ハ鉄ノ先頭ニ別箇ノ鐵製ノ指爪狀ノ刃先ヲ螺着シ兩柄内ニ螺狀彈機ヲ設ケ兩柄ヲ縮ムルトキハ爪ハ鉄ノ内ニ有ル果實ノ核ト肉トノ間ニ切リ込ミ壓搾ノ爲核ト肉トカ分離スヘキ構造ヲ有シ明治三十八年八月八日登録ヲ出願シ同年九月十五日登録ヲ受ケ同年九月二十八日特許局ノ公刊ニ係ル實用新案公報第十號ニ容易ニ應用シ得ヘキ程度ニ其ノ圖面及説明ヲ掲載セラレタルモノニシテ其ノ新規ニシテ實用ナリト認ムヘキ點ハ指爪狀ノ刃先ヲ別ニ附着シ刃先ノ修繕及取替ヲ容易ニ爲シ得ヘクナシタル構造ヲ有スル點ニアリ然ルニ被請求人ノ所有ニ係ル第三二七三號實用新案ハ明治三十九年九月三十一日登録ヲ出願シ同年十月四日登録セラレタルモノニシテ其ノ登録請求範圍ハ共金ヲ以テ打チ出セル刃先ヲ有シ螺旋「パネ」ヲ頭部ノ股内ニ裝置シタル罐詰用洋桃核取缺ノ構造ニ在リ之ヲ前記實用新案第三五四號ニ對比スルニ前者ハ鉄ノ先頭ニ別ニ指爪狀ノ刃先ヲ附着セルト螺狀彈機ヲ缺ノ外股ニ設ケタルニ後者ハ刃先ヲ共金ニテ打出シタルト螺狀彈機ヲ缺ノ内股ニ設ケタルノ差異アリト雖モ斯ノ如キハ前者ノ效果以外何等ノ特效ナキモノニシテ兩者ハ之ヲ均等ナルモノト認ム故ニ本件登録實用新案第三二七三號罐詰用洋桃核取缺ハ實用新案法第一條第二項及第二號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ其ノ登録ハ無効ト爲スヘキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第三二七三號罐詰用洋桃核取缺ノ實用新案登録ハ無効トシ審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十年十月二十二日於特許局

審判長 特許局技師 鈴木千代吉
 特許局事務官 宿利英治
 特許局事務官 奥山萬次郎

第千八百八十四號

京都市下京區富小路五條上ル本神明町一番戸 請求人 平野久五郎
 京都市上京區東洞院竹屋町下ル三本木五丁目八番戸 右代理人 岩村茂
 特許代理業者 被請求人 稻垣政七
 大阪市東區南久寶寺町三丁目七十八番屋敷 右代理人 淺村三郎
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 佐々木高吉
 大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 佐々木高吉

右平野久五郎ヨリ稻垣政七ニ對シ第一〇九四號登録實用新案ト第三八二六號登録意匠トノ撞着審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第三八二六號登録花蝶扇全體ノ意匠ノ一部即チ扇面ニ開合花ノ附着ハ請求人所有ノ第一〇九四號登録實用新案造花扇ト撞着スルモノト審決相成度其ノ理由ハ被請求人所有ノ第三八二六號登録意匠花蝶扇全體ノ意匠ノ登録請求範圍ハ扇子ノ地紙ナル上端二間ニ上向セル蝶ヲ描キ且ツ其ノ紙片ヲ其ノ形狀ニ切截シ鬚ハ別ニ之ヲ附ス尙其ノ地紙二間ノ下端ニハ左右ニ上向シテ葉ヲ描キ且ツ其ノ紙片ハ其ノ葉形ニ切截ス此葉ト蝶トノ間ニ二間ニ涉リテ紙製ノ開合花ヲ附シタル以上各二間毎ニ並列シ其ノ蝶トノ下間ニ一疋宛ノ蝶ヲ描キ加フ又扇ノ親骨ノ表面上半ニハ櫻花形模様ヲ附シ間骨面ニモ澤潟唐草ヲ附シテ成ル花蝶扇全體ノ意匠トスト云フニ在リ而テ上記ノ請求範圍中葉ト蝶トノ間ニ紙製ノ開合花ヲ附スル點ハ請求人ノ明治三十八年十二月十七日出願ニ係リ明治三十九年一月二十二日登録ヲ得タル第一〇九四號登録實用新案造花扇ノ保護ヲ受クヘキ登録請求範圍即チ圖面ニ示ス如ク數

枚重ネタル紙片ノ一邊ニ多數ノ凹凸切缺部ヲ設ケテ該部ヲ交互參差ノ位置ニ於テ糊着シ而テ他邊ノ切缺ヲ有セサル部分ヲ地紙ニ貼着シ扇ヲ展開セルトキハ網狀ニ膨張セル花形ヲ顯ハシテ裝飾用ニ適當セル扇トナリ又之ヲ縮帖シテ攜帶收藏ニ便ナラシムヘク作リタル造花扇ノ構造但シ紙端ノ切缺及ヒ透孔ヲ種々ニ變更シ又種々ニ彩色ヲナシテ花形ヲ任意ノモノニ作ルモノトストアルニ撞着スルモノナリト云フニ在リ而テ其ノ申立ニ付キ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ被請求人登錄意匠ノ一部タル扇面ニ開合花ノ附着ハ請求人ノ登錄實用新案造花扇ト撞着セサルノミナラス第一〇九四號登錄實用新案ハ其ノ出願前帝國内ニ於テ公知公用ニ屬シタル意匠登錄第二五九七號扇子並ニ意匠登錄第二八五〇號物體活現書簡箋ト類似ノ構造ナルヲ以テ實用新案法第一條第一號及ヒ第二號ニ該當シ無効ナリト審決相成リタシ其理由ハ請求人所有登錄實用新案第一〇九四號造花扇ノ登錄請求範圍ハ圖面ニ示ス如ク數枚重ネタル紙片メ一片ニ多數ノ凹凸切缺部ヲ設ケテ該部ヲ交互參差ノ位置ニ於テ糊着シ而テ他邊ノ切缺ヲ有セサル部分ヲ他紙ニ貼着シ扇ヲ展開セルトキハ網狀ニ膨張セル花形ヲ顯ハシテ裝飾用ニ云々トアリテ紙片ノ一片ニ凹凸切缺部ヲ設ケテ該部ヲ交互參差ノ位置ニ於テ糊着シタルノ點ハ双方同一ナリト雖トモ登錄實用新案第一〇九四號ニ在テハ他邊ノ切缺ヲ有セサル部分ヲ他紙ニ貼着シトアルニ反シ登錄意匠第三八二六號ニ於テハ他邊ニアラスシテ數枚重ネタル紙片ノ兩邊ノ外面部分ヲ扇子地紙面ヘ貼着シタルモノニシテ之カ貼着部分ハ双方全然相違スルヲ以テ決シテ請求人主張ノ如ク登錄意匠第三八二六號カ登錄實用新案第一〇九四號ノ權利ト撞着スルモノニアラス元來實用新案登錄權利ナルモノハ其ノ登錄請求範圍ニ記載セラレタル構造ニ限ルモノニシテ範圍以外ニ權利ノ及フモノニアラス假ニ一步ヲ讓リ登錄實用新案第一〇九四號ト登錄意匠第三八二六號トカ相撞着スルモノトスルモ登錄實用新案第一〇九四號造花扇ノ出願前之ト類似ノ物品カ帝國内ニ於テ既ニ

公用セラレタル事實アルヲ以テ其ノ登錄ハ當然無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而テ其ノ申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證乃至乙第五號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件所爭ノ要點タル第一〇九四號登錄實用新案造花扇ト第三八二六號登錄意匠ニヨル花蝶扇扇面ニ開合花ヲ附着セル部分ト撞着スルヤ否ヤニ付之ヲ審案スルニ第一〇九四號登錄實用新案ハ其ノ請求範圍ニ依レハ數枚重ネタル紙片ノ一邊ニ多數ノ凹凸切缺部ヲ設ケテ該部ヲ交互參差ノ位置ニ於テ糊着シ而テ他邊ノ切缺ヲ有セサル部分ヲ地紙ニ貼着シ扇ヲ展開セルトキハ網狀ニ膨張セル花形ヲ顯ハシテ裝飾用ニ適當セル扇トナリ又之ヲ縮帖シテ攜帶收藏ニ便ナラシムヘク作リタル造花扇ノ構造トアリテ其ノ造花ヲ地紙ニ貼着セルノ部分ハ造花ノ下邊全面ニ在ルモノナリ然ルニ第三八二六號登錄意匠ニヨル扇面ニ開合花ヲ附着セルハ造花ノ下邊全面ニアラスシテ造花ノ兩邊外面部ニアルモノトス故ニ兩種扇子ハ其ノ造花附着ノ構造ニ於テ相異ルモノニシテ第三八二六號登錄意匠ニヨル花蝶扇ハ構造ノ登錄ニ係ル第一〇九四號登錄實用新案ニ撞着スルモノト云フヲ得ス次ニ被請求人ハ其ノ答辯書ニ於テ第一〇九四號登錄實用新案ハ其ノ出願前帝國内ニ於テ公知公用ニ屬シタルモノニ類似スルカ故ニ無効ノ審決ヲ求ムト云フト雖モ斯ノ如キハ別個ノ審判請求ヲ以テ主張スヘキモノニシテ答辯書ニ於テ之ヲ主張シ得ヘキモノニアラス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

被請求人ノ第一〇九四號登錄實用新案ヲ無効トストノ審決ヲ求ムル申立ハ之ヲ却下ス

明治四十年十一月十四日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄

特許局事務官 松田 啓太郎
特許局事務官 人見 次郎

第一千八百八十六號

請求人 林 治 祐
右代理人 出 浦 力 雄
被請求人 風 間 九 郎
右代理人 清 水 連 郎

東京市淺草區小島町五番地
橫濱市山下町百九十三番地特許代理業者
東京市淺草區小島町十六番地
東京市芝區神明町二十四番地特許代理業者
右林治祐ヨリ風間九郎ニ對シ實用新案撞着ノ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ第五〇二一號登錄實用新案ノ物品ハ第五八五四號登錄願實用新案ノ物品ト撞着スト
審決相成度其理由ハ請求人ハ明治三十九年八月二日自己新案南京火花形引出扇子ニ付實用新案登錄ヲ出
願シ其願書ニ第五八五四號ノ番號ヲ附セラレタリ然ルニ右ハ柄部ヲ「シガー」ニ擬シタル本願類似ト認メ
ラルヘキ構造ノ扇子カ本願出願以前ヨリ公ニ用ヒラレタリト故ヲ以テ登錄ヲ拒絕セラルル然ルニ豈ニ計
ラシヤ其後被請求人風間九郎カ明治四十年三月十六日出願シ同年四月一日登錄ヲ受ケタル實用新案第五
〇二一號ノ物品ハ其内外ノ構造等全ク曩ニ請求人カ登錄ヲ拒絕セラレタル物品ト同一ナルモノニシテ而
シテ他ノ一種モ亦相類似スルモノトス故ニ右登錄實用新案ノ物品ハ前記實用新案ノ登錄ヲ受ケサル物品
ト相撞着スルモノナリト云フニアリ
被請求人答辯ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ却下スト審決相成度其理由ハ實用新案法第三十二條撞着審判請求

ノ旨趣ハ一ノ登錄實用新案ノ存在ニヨリ利益アルモノハ其積極的權利確認ヲ請求シ又該登錄實用新案ノ
存在ニヨリ不利益ナルモノハ其消極的權利確認ヲ請求スルコトヲ得ト云フニアリテ實用新案ノ登錄ヲ
受ケサル物品ニ付キテ何等ノ權利ヲ認ムルコトヲ請求シ得ルモノニアラサルハ素ヨリ該登錄實用新案
ノ存在ニ依リ不利益ナルモノニシテ其積極的權利確認ヲ求メ該登錄實用新案ノ存在ニ依リ利益アルモ
ノニシテ其消極的權利確認ヲ求ムルカ如キコトヲ許サ、ルナリ而シテ請求人ハ第五〇二一號登錄實用
新案ノ存在ニヨリテ不利益ナルニ拘ラス其申立書ニ於テ既ニ自ラ該登錄實用新案ト實用新案ノ登錄ヲ受
ケサル自己ノ物品ト全然撞着スト承認シタルモノナレハ更ニ權利確認ヲ審判スル必要ナキモノナリ若
シ又請求人ノ目的ハ第五〇二一號登錄實用新案ニ對シ實用新案ノ登錄ヲ受ケサル自己ノ物品ニ付キ何事
カ權利ヲ主張セントスルモノナリトセハ實用新案法中之ニ適用スヘキ條文ナシ孰レニシテモ本件ハ審判
請求ヲナシ得ヘキモノニアラスト云フニアリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ハ登錄實用新案ノ存在ニ依リ利益アルモノハ其積極的權利確認ヲ請求シ登錄實用新案ノ存在
ニ依リ不利益ナルモノハ其消極的權利確認ヲ請求スルコトヲ得ルモ登錄實用新案ノ存在ニ依リ不利益ナ
ルモノニシテ其積極的權利確認ヲ求メ登錄實用新案ノ存在ニ依リ利益アルモノニシテ其消極的權利確
認ヲ求ムル如キハ實用新案法ノ許サ、ルトコロナリト云フト雖モ實用新案法第三十二條ハ登錄實用新案
カ互ニ撞着スルヤ否又ハ登錄實用新案ト實用新案ノ登錄ヲ受ケサル物品ト撞着スルヤ否ヤニ付キ云々ト
アリテ此ノ如キ區別ヲ設クルモノニアラス而シテ兩種ノ玩具團扇ノ構造ヲ比較スルニ拒絕査定ヲ受ケ
タル願書番號第五八五四號實用新案登錄願南京火花形引出扇子ハ願書ニ添附シタル圖面並ニ說明書ニヨ
レハ請求人ノ提出シタル第一號證物品ト其構造ヲ同ウシ其外形ヲ南京火花ノ形狀ニ擬シ平面的ニ展開ス

ル團扇ニシテ第五〇二一號登錄實用新案模擬花火ハ其圖面並ニ說明書ニ依レハ請求人カ第五〇二一號登錄實用新案品トシテ提出シタル物品ノ構造ト異ナリ外部ノ形狀ハ南京花火ニ擬シタルモ中ニ藏シタル團扇ハ三方又ハ四方ニ開展スル構造ニシテ兩者其構造ヲ異ニシ相撞着スルモノト認ムルヲ得ス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治四十年十一月二十日於特許局

審判長 特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 松田啓太郎
特許局事務官 人見次郎

第千七百七十五號
第千七百七十六號

東京府北豐島郡南千住町大字三ノ輪百五十三番地

請求人 矢崎好一

東京市京橋區本八丁堀五丁目一番地

被請求人 吉崎竹次郎

東京市京橋區采女町二十四番地特許代理業者

右代理人 松田源治

右矢崎好一ヨリ吉崎竹次郎ニ對シ實用新案第五三二九號登錄鐵道用油潤布及同第五二五〇號登錄鐵道用車軸油潤布ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ第五三二九號實用新案登錄鐵道用油潤布及第五二五〇號實用新案登錄鐵道用車軸油

潤布ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ明治四十年三月二十三日及同年同月十六日鐵道用油潤布及鐵道用車軸油潤布ニ付第五三二九號及第五二五〇號ノ實用新案登錄ヲ受ケタリ然ルニ請求人ハ被請求人ノ登錄出願以前既ニ明治三十七年以降同一構造ニ成レル「リユ」ブリーケーチング、パット」及「ウキツク付リユ」ブリーケーチング、パット」ノ製造販賣ヲ繼續シ宮坂平助ノ名義ヲ以テ明治四十年一月十八日及同年三月六日ノ兩度ニ於テ當時鐵道作業局經理部長國師氏嘉ト該物品賣買契約書ヲ交換シ同年三月二十日附内海上野出納事務所長ノ第一回拂込方指定書ニ基キ本物件八百七十箇ヲ納入シ尙ホ同年四月八日附鐵道應購物品注文券ニ基キ本物件二百箇ヲ同應ニ納入シ其
他明治三十九年十二月及同四十年一月十八日ノ兩度本品計千四百七十九箇ヲ鐵道應ニ納入セリ且請求人ハ明治三十九年七月協贊會ニ向テ東京勸業博覽會ニ該物品ノ出陳方ヲ出願シ許可ノ上同四十年二月同會第一會場内三號館ニ之ヲ出陳セリ以上ノ事實ナルヲ以テ第五三二九號實用新案登錄鐵道用油潤布及第五二五〇號實用新案登錄鐵道用車軸油潤布ハ其出願前既ニ帝國内ニ於テ公ニ用ヒラレ又公知ニ屬スルモノニ係リ實用新案法第一條第一號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ無効ナリト云フニアリテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第九號證ヲ提出セリ

被請求人ハ本件審判請求書副本ノ送付ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ノ第五二五〇號登錄實用新案鐵道用車軸油潤布ハ明治四十年三月十六日登錄ヲ出願シ同年四月二十六日登錄セラレタルモノニシテ其登錄請求範圍ニ依レハ織地(イ)ニ毛絲(ロ)ヲ織リ込ミ之ヲ織地ノ表面一體ニ織出シ其裏面正中部ニ橫長ノ吸收絲(ハ)ノ上頭部ヲ織込ミ下部ヲ長ク垂長セシメ而シテ織地ハ細(ホ)、太(ニ)ノ縱絲ヲ二條宛交互ニ織込ミ橫絲(ト)ノ兩端末ニ糊ヲ引ケル構造ヨリ成リタルモノナ

リ而シテ被請求人ノ第五三二九號登録實用新案鐵道用油潤布ハ明治四十年三月二十三日登録ヲ出願シ同年五月三日登録セラレタルモノニシテ其登録請求範圍ニ依レハ毛絲(ロ)ヲ織地(イ)ノ面上ニ長ク織出シ而シテ織地ノ各端末部ニ於テ之ヲ數條宛集合シ細絲(ニ)ニテ緊縛シ織地ヲ連續結合セシ構造ヨリ成ルモノナリ然ルニ右兩實用新案ト同一構造ノ物品カ其ノ登録出願以前ヨリ帝國内ニ於テ公ニ用ヒラレタルコトハ甲第七號證及甲第九號證ニ依リ認知スルコトヲ得從テ第五二五〇號及第五三二九號登録實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリ

第五二五〇號登録實用新案鐵道用車軸油潤布及第五三二九號登録實用新案鐵道用油潤布ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十年十一月二十五日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局技師 安 藤 格
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第一千九十五號

大阪市西區阿波船通三丁目二十四番屋敷
大阪市東區高麗橋二丁目百五番屋敷

請 求 人 福 井 仙 次 郎
請 求 人 竹 内 清 兵 衛

大阪市北區堂島北町八十八番屋敷
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者
大阪市東區淡路町三丁目十七番屋敷
大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許代理業者

請 求 人 樋 口 勇 吉
右 代 理 人 淺 村 三 郎
右 代 理 人 佐 々 木 高 吉
被 請 求 人 堀 内 竹 次 郎
右 代 理 人 小 池 宗 三 郎

右福井仙次郎外二名ヨリ堀内竹次郎ニ對シ第五〇四三號耳着帽子登録實用新案ノ權利確認ヲ求ムル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ請求人等方從來ヨリ製造スル第一號乃至第三號見本ノ耳着帽子ハ被請求人カ明治四十年四月二日實用新案ノ登録ヲ得タル耳着帽子ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔タルヘシト審決相成度其理由ハ被請求人カ實用新案ノ登録ヲ得タル第五〇四三號耳着帽子ハ實用新案公報ニ示ス如ク兩側ヨリ上率リノ耳着片(ろ)ヲ接着シテ上面ニ於テ釦鈕(は)ヲ以テ止メ又ハ紐(ど)ニテ結ヒ止メルモ自由トナシ其内面ニ匿囊(は)ヲ具ヘ其小口内部ニ舌(に)ヲ接着シ内面裏地(ち)ノ後部ニ別ニ上充テ(リ)ヲ施シタル構造ニシテ其權利範圍ハ其他ノ耳着帽子ニ及ハサルハ勿論ナリ然ルニ被請求人ハ明治四十年六月十九日請求人福井仙次郎竹内清兵衛ニ向テ請求人等ノミナラス全國各地ニ於テ古クヨリ製造販賣スル第一號乃至第三號見本ノ在來耳着帽子ヲモ登録實用新案權ノ範圍ニ屬スルヲ以テ製造販賣スヘカラスト威喝シ請求人等ノ商業ニ妨害ヲ與ヘントスルニ依リ不得止本件審判ノ請求ヲ爲スニ至レリ抑モ被請求人ノ實用新案ハ第一號乃至第三號見本ノ如キ在來品ニ新ニ加ヘタル構造即チ耳着ノ上面ニ釦鈕ヲ附シ内面ニ匿囊ヲ具ヘ其小口ニ舌ヲ接附セル點ニ存スルハ辯明ヲ俟タスシテ明ナリ故ニ此新工夫ノ構造ヲ具ヘサル第一號乃至第三號見本ノ如キ耳着帽子ニ其實用新案權ノ及ハサルハ勿論ナリトス而シテ被請求

人ハ本件審判ノ提起ニ及ンテ異議ナク請求人ノ主張ヲ認メシト雖モ抑モ本件ヲ提起スルニ至レルハ前記ノ如ク被請求人ノ不法ノ主張ニ起因セルモノナルヲ以テ審判費用ハ被請求人ノ負擔スヘキヲ當然トスト云フニアリテ第一號乃至第三號見本ヲ提出シ且證人ノ訊問ヲ申請セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人カ提供セル圖面ノ帽子ハ被請求人ニ於テ關涉スルモノニアラス請求人ハ故意ニ威喝等不穩當ノ申述ヲ以テ本審判ヲ提起シタルモノニ付キ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人等ハ明治四十年六月十九日頃被請求人ノ店頭ニ來リ被請求人カ登録ヲ得タル第五〇四三號實用新案ニ付種々ナル問題ヲ提出シ剩ヘ右登録證ヲ示シタルニ直ニ之ヲ謄寫セントスル等頗ル恬傲ナル態度ヲナシタルニ付キ被請求人ハ斷然之ヲ拒ミタルコトアルモ被請求人ニ於テハ單ニ登録請求範圍ニ明記シアル通りナル旨ヲ申聞シタルノミニシテ製造販賣スヘカラスト威喝セシコトナシ之ヲ要スルニ本件ハ請求人等カ徒ラニ捏造ノ事實ヲ構ヘ又被請求人ノ意思ヲ確ムルニ就テハ他ニ簡易ナル種々ノ方法アルニ係ラス徒ラニ本件審判ヲ提起スルハ自ラ好ンテ爭事ヲナスモノナレハ被請求人ノ關知セサルトコロナリ故ニ審判費用ハ請求人ノ負擔スヘキハ當然ナリト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件被請求人ノ第五〇四三號登録實用新案耳着帽子ハ其登録請求範圍ニ依レハ「帽子ノ兩側ヨリ上窄リノ耳着片(ろ)ヲ接着シテ上面ニ於テ釦鈕(ほ)ヲ以テ掛ケ止メ又ハ紐(と)ヲ以テ結ヒ止ムルモ自由トナシ其内面ニ匿囊(は)ヲ具ヘ其小口内部ニ舌(に)ヲ接着シ且内面裏地(ち)ノ後部ニハ別ニ上充(り)ヲ施シタルモノトアリテ請求人提出ノ第一號乃至第二號見本ノ耳着帽子トハ其構造ニ於テ全ク異ナルモノニシテ被請求人亦認ムルトコロナリ從テ第一號乃至第三號見本ノ耳着帽子ハ第五〇四三號登録實用新案耳着帽子ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス請求人ハ又本件ヲ提起スルニ至レルハ全ク被請求人不法ノ主張ニ

起因セルカ故ニ審判費用ハ被請求人ノ負擔タルヘキモノナリト云フト雖本件ハ被請求人ノ作為ニ因リ審判ヲ請求スルニ至ラシメタルモノト認ムルニ足ルモノナリ且被請求人ハ直ニ請求ノ請求人ヲ認諾シタルヲ以テ審判費用ハ請求人ニ於テ負擔スヘキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ提出ニ係ル第一號乃至第三號見本ノ耳着帽子ハ第五〇四三號登録實用新案耳着帽子ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十年十二月五日於特許局

- | | | |
|--------|-----------|------|
| 審判長 | 特許局技師工學博士 | 大竹多氣 |
| 特許局事務官 | 宿利英治 | |
| 特許局事務官 | 奥山萬次郎 | |

第一千二百三十一號

名古屋市新柳町二丁目三番地 請求人 志智昇

名古屋市神樂町三十八番戶特許代理業者 右代理人 大野直人

名古屋市福宜町五丁目二百七番戶 被請求人 荒井惣太郎

右志智昇ヨリ荒井惣太郎ニ對シ第三六五七號登録實用新案ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第三六五七號登錄實用新案ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ右實用新案ハ明治三十九年九月二十一日出願シ同年十一月十二日登録ヲ受ケタリト雖モ本件實用新案ト同一ノ蒸餾揚器ハ請求人カ明治三十四年五月ヨリ作製シ之ヲ販賣シ居ルモノナリ而シテ請求人カ明治三十四年五月之ヲ作製シタルハ東京市京橋區柳町佐山商店ニテ其ノ以前ヨリ販賣シ居リシ蒸餾揚器ヲ見本トシテ作製セシモノニシテ其形狀構造等ニ於テ類似ノ物品ナリ故ニ本件實用新案モ右佐山商店ヨリ從來販賣セルモノト類似ノモノナリ被請求人ハ本件蒸餾揚器ヲ明治三十五年春創作シ同年七月ヨリ販賣セリト稱スルモ其ノ當時ハ請求人カ既ニ販賣シ居ルトキニシテ新規ノ考案ニアラス況ンヤ被請求人ノ言フカ如クスルモ本件實用新案ノ創作ハ明治三十五年春ニシテ同年七月ヨリ之ヲ販賣シ而シテ本件登録願ハ明治三十九年九月ナルヲ以テ登録出願前公知公用ニ屬スルモノナルニ於テ之ヲ要スルニ本件蒸餾揚器ハ實用新案法第一條ノ規定ニ違フモノナルヲ以テ同法第三十一條ニ依リテ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付キ甲號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ本件蒸餾揚器ノ創作ハ遠ク明治三十三年ノ春ナリ其ノ後一二箇位ツ、數人ニ小賣シ又同年末即チ十二月三十日名古屋市西柳町倉地商店へ商品見本トシテ賣却シ其ノ後尙數人ニ小賣シタルコトアリ而シテ請求人ハ被請求人ノ發賣品ヲ見テ偽造模造セシメタルモノナリ右ノ如ク被請求人ハ明治三十三年春ヨリ該器ヲ創作販賣シタルモ當時實用新案法ナカリシカ故ニ之カ登録ヲ受クルコト能ハサリシモ之レ法律ノ不備ニシテ被請求人ノ責ニアラス其ノ後明治三十八年ニ至リ實用新案法ノ發布アリタルモ當時法律ノ發布ヲ知ラス經過シ明治三十九年九月始メテ之ヲ知リ出願登録ヲ得タルモノナリ即チ時日經過後ニ於テスト雖モ創作者タル被請求人カ登録ヲ受クニ於テハ何等ノ不可アルヘキニアラス又法律ニ所謂公用ナル意義ハ他動的ノ公用ヲ意味スル

モノニシテ創作者自動的ノ公用ヲ包ムモノニアラスト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付乙號證ヲ提出シ且人證ノ申出ヲ爲セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ハ其ノ答辯書ニ於テ被請求人カ本件蒸餾揚器ヲ創作シタルハ遠ク明治三十三年ノ春ナリ而シテ其ノ後數人ニ之ヲ賣却セリ而シテ又當時實用新案法ナク其ノ後實用新案法發布セラレテ被請求人カ之ヲ知リ本件蒸餾揚器ノ登録ヲ出願セルハ明治三十九年九月ナリ故ニ創作ヨリ登録出願ニ至ル迄年月ノ經過アリトスルモ右ノ理由ニ係ルヲ以テ創作者ノ責ニアラス又實用新案法第一條第二項第一號ニ所謂公用トハ他動的ニ依ル公用ヲ意味スルモノニシテ創作者ノ自動的ニ係ル公用ヲ包含セサルモノナリト主張スト雖モ被請求人自ラ主張スルカ如ク其ノ登録出願以前ニ於テ本件蒸餾揚器ヲ他ノ數人ニ賣却シ既ニ公用ニ屬セシメタルモノナル以上ハ假令被請求人カ該蒸餾揚器ノ考案者ニシテ自カラ他人ニ賣却シ之ヲ公用セシメタルモノトスルモ實用新案法ニ所謂公用ハ只タ考案其ノモノ、公用ヲ意味シ何人ノ手ニヨリテ公用ニ屬シタルヤヲ問フノ意ニアラサルヲ以テ本件蒸餾揚器ハ實用新案法第一條第二項第一號ノ規定ニ該當シ登録ヲ受クヘカラサルモノト云ハサルヘカラス其ノ他當事者双方ノ申立ニ付テハ審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第三六五七號登錄實用新案ハ之ヲ無効トス

明治四十年十二月十日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局事務官 松 田 啓 太郎

第一千二百二十一號

特許局事務官 人見次郎

*百四十二

東京市本所區太平町二丁目三十三番地 請求人 森三枝
 東京市京橋區築地三丁目十五番地特許代理業者 右代理人 西脇今太郎
 東京市淺草區七軒町四番地 被請求人 山本富藏

右森三枝ヨリ山本富藏ニ對シ第五六四四號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有ニ係ル第五六四四號實用新案ノ登錄ハ之ヲ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ第五六四四號登錄實用新案ハ明治四十年四月十五日ノ出願ニ係リ同年六月六日登錄セラレタルモノナリ而シテ其ノ登錄ノ請求範圍ハ通常ノ織物機ニ細キ經絲ヲ粗掛薄キ紙ヲ長ク繼キ七八厘乃至一分五厘位ノ幅ニ斷チ切り撚度ヲ與ヘスシテ扁平ナル儘之ヲ緯トナシテ織成シタル織物ニ糊ノ媒介ニ依リ紙ヲ以テ裏打ヲナシタル織物紙ノ構造ニ外ナラス然ルニ之ト同一ノ物品ハ本件登錄出願以前既ニ被請求人以外幾多ノ當業者ニ依リ製造販賣セラレ盛ニ海外ニ輸出セラレタリ請求人ハ又明治三十六年以來之ヲ製造販賣シ尙其ノ以前ニ於テ淺田某ノ之ヲ行ヒシハ一般當業者ノ知ル所ナリ而シテ被請求人亦明治三十七年ノ末頃ヨリ之ヲ製造販賣セルノミナラス請求人ノ注文ニ應シテ其ノ織成ヲ爲セルノ事實アリ斯ノ如ク本件ノ實用新案ハ其ノ登錄出願以前既ニ本件ノ當業者ハ勿論其ノ他幾多ノ當業者ニ依テ世ニ公知公用トナリタル物品ナレハ本件ノ登錄實用新案ハ明ニ實用新案法第一條ノ規定ニ違反シ其ノ登錄ハ無効

ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第九號證ヲ提出セリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人ハ被請求人ノ登錄出願前幾多ノ當業者カ第五六四四號登錄實用新案織物紙ト同一ノ物品ヲ織成構造シテ盛ニ海外輸出ヲナシタリト云フト雖斯ノ如キハ斷シテ聞カサル所ナリ又紙布ナル名稱ハ數百年以前ニ起リテ細長キ紙ニ撚度ヲ與ヘ緯絲トナシテ織成シタルモノニシテ扁平ナル紙緯織物ニ非ルナリ而シテ請求人ノ差出シタル甲第一號證ノ見本第一號ハ被請求人カ其ノ注文者ナル佐藤商店在勤中被請求人自ラ森三枝ニ注文ヲ爲シタルモノニシテ是即被請求人カ安價ナル織物紙ヲ容易ニ製造セント立案シタル發端ニシテ此等金紙織物ノ公知公用ナルコトハ被請求人ノ尤モ能ク知ルトコロニシテ數百年以前ヨリ京都西陣ノ製織ニ係ル人形衣裳用ノ平金織ハ尤モ年代ノ古キモノナリ被請求人ハ又吾目的タル織物紙ノ原料ヲ製造スルノ傍他ノ依頼ニ應シテ金紙布製織ノ注文ヲ受ケタルコトアルモ被請求人所有ノ登錄權ヲ無効トナス證左トナラスト云フニ在リ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 被請求人ノ第五六四四號登錄實用新案織物紙ハ明治四十年四月十五日登錄ヲ出願シ同年六月六日登錄セラレタルモノニシテ其ノ請求範圍ニ依レハ通常ノ織物機ニ細キ經絲ヲ粗掛薄キ紙ヲ長ク繼キ七八厘乃至一分五厘位ノ中ニ斷チ切り撚度ヲ與ヘスシテ扁平ナル儘之ヲ緯トナシテ織成シタル織物ニ糊ノ媒介ニ依リ紙ヲ以テ裏打ヲナシタルモノニシテ請求人ノ提出セル甲第一號證中見本第一號カ第五六四四號登錄實用新案出願以前ヨリ公ニ用ヒラレタルコトハ被請求人ノ認ムル處ナリ然ルニ右兩種ノ物品ハ其ノ構造全ク同一ナルヲ以テ第五六四四號登錄實用新案織物紙ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ無効トナスヘキモノナリ
 以上ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

*百四十三

第五六四號登錄實用新案織物紙ハ之ヲ無效トシ審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
明治四十年十二月十日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 大竹 多氣
特許局事務官 宿利 英治
特許局事務官 奥山 萬次郎

*百四十四

第一千二百三十六號

大阪市東區備後町四丁目五十八番屋敷

大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者

名古屋市本町二丁目十七番地

名古屋市上長者町五丁目六番地

名古屋市南久屋町四丁目六番地甲九十三番戸特許代理業者

請求人 梅谷外之作
右代理人 戸田松次郎
被請求人 清水荒次郎
被請求人 佐藤捨三郎
右代理人 木村竹次郎

右梅谷外之作ヨリ清水荒次郎外一人ニ對シ第四一〇五號實用新案登錄莫大小脚胖ノ權利確認ヲ求ムル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ請求人ノ登録第四一〇五號實用新案莫大小脚胖ハ被請求人ノ登録實用新案第八七九號「メリヤス」脚胖ト撞着セサルモノナリトノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人ハ明治三十九年十二月九日附ヲ以テ莫大小製筒(イ)ナル筒ノ下端ニ兩端ヲ取附ケタル紐(ロ)ヲ附シ上縁ニ掛金具(ニ)、(ニ)ヲ有スル護謨入紐(ハ)ヲ備ヘテ成ル莫大小脚胖ノ出願ヲ爲シ明治三十九年十二月二十五日實用新案第四一〇五號

ニ登録セラレタリ然ルニ被請求人等ハ明治三十八年十二月八日ヲ以テ「メリヤス」脚胖ナルモノヲ出願シ同年同月十八日實用新案第八七九號ヲ以テ登録セラル其物品ハ「メリヤス」筒(ロ)ノ上縁ニ「ゴム」(イ)ヲ編込ミ下縁ニ踏紐(ハ)ヲ附シテ成ルモノニシテ古クヨリ行ハレタル腕拔ニ踏紐ヲ附シタルモノナリ右兩者ヲ比較スルニ請求人ノ實用新案ハ被請求人ノ實用新案ト構造ヲ異ニセルノミナラス其掛止具附護謨紐ヲ別箇トセル特殊ノ效果ハ決シテ同一視スヘキモノニアラスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人ハ本件審判請求書副本ノ送附ヲ受ケタルモ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件兩實用新案ハ其圖面及説明書ニ依レハ共ニ莫大小製筒ノ下端ニ踏紐ヲ縫着シ其上縁ニ滑落ヲ防ク爲メ護謨紐ヲ取附タル脚胖ニシテ其考案ニ於テ全然同一ナルノミナラス上部護謨紐ノ取附方ヲ除クノ外其構造亦同一ナルモノト認メサルヲ得ス

從テ此點ニ於テ兩者互ニ撞着スルモノトス又請求人提出ノ證據物ニ就テ見ルニ一ハ脚胖ノ半ヨリ下部ヲ護謨織トナシ他ハ全部同一編方トナシアルヲ以テ其構造ニ於テ差異アルカ如シト雖兩者共ニ其請求範圍ニ於テ編方ニ制限ヲ附セサルカ故ニ任意之ヲ變更シ得ルモノト認ムルヲ以テ之レカ爲メ差異アルモノト認ムルヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十年十二月十一日於特許局

*百四十五

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局技師 安 藤 格
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第一千二百三十號

長野縣小縣郡上田町千九百二番地 請 求 人 中 村 淳
 長野縣小縣郡鹽尻村大字下鹽尻七百二十六番地 被 請 求 人 母 袋 忠 右 衛 門
 東京市日本橋區繩切町三丁目十一番地特許代理業者 右 代 理 人 三 上 七 十 郎

右中村淳ヨリ母袋忠右衛門ニ對シ實用新案登録第五四四八號梓製蠶種用梓盤ノ登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第五四四八號梓製蠶種用梓盤ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ實用新案ハ明治三十九年四月一日發行信濃蠶況第百八十二號ニ廣告セラレタル蛾袋兼用梓製保險器ノ第一項第二項及明治四十年三月一日同第一號ノ第四頁ニ廣告セル木板梓製器ノ第一項第二項及第三項ト同一ナルヲ以テ新規ニアラス從テ該實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ナリト云フニアリテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至同第五號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ本件實用新案ハ明治三十九年四月一日發行信濃蠶況第百八十二號ニ廣告セル蛾袋兼用梓製保險器中第一項及第二項ト同一ナルヲ以テ新規ノ考案ニアラサルカ如ク主張スト雖第一項ニハ「桂板ニ直徑一寸四分の丸穴二十八箇を穿た

る」トアルモ其ノ穴ハ垂直ナルヤ傾斜ナルヤ將タ圓錐形ナルヤヲ識別シ難ク又第二項ニハ「トタン梓を箱め」トアルモ意義分明ナラス假リニ之ヲ嵌合ト解釋スルモ其ノ梓ハ圓形ハ角形將タ環狀又ハ管狀ナルヤヲ知ルニ由ナク且第一項但書ニ依レハ豫メ梓ヲ具ヘス用ニ臨テ之ヲ嵌合スル如ク見エ又第二項ニ依レハ豫メ梓ヲ嵌合シ置クカ如ク見エ更ニ桂板トハ普通ノ木板ナルヤ將タ普通以外ノモノナルヤ又「トタン」梓トハ亞鉛ナル金屬製ナルヤ將タ他ノ非金屬製ナルヤ分明ナラス要スルニ説明不完全ニシテ本件實用新案ト同一ナルヤ否ヤ決定シ難シ又請求人ハ本件實用新案ハ明治四十年三月一日第三種郵便物認可信濃蠶況第一號ニ廣告セル木板梓製器ノ第一項第二項及第三項ト同一ナリト主張スト雖モ其ノ第一項ニハ「梓製臺紙」トアリテ紙製品ノ如ク又第六項ニハ「木製るれは」トアリテ木製品ノ如ク見エ又第二項ニハ「穴カ上一寸二分下一寸四分の傾斜あり」ト記スルモ其ノ傾斜ハ一方ヘノミ向フヤ將タ他方ヘモ向フヤ分明ナラス要スルニ説明不完全ニシテ本件實用新案ト同一ナルヤ否ヤ決定シ難シ更ニ信濃蠶況ニ就テハ其ノ第一號ハ請求人ノ主張ニ依レハ明治四十年三月一日第三種郵便物認可ヲ得タリト稱ス果シテ然ラハ同號ノ紙面ニ記載スル日附ハ發行ノ日ニアラサルヘシ即チ同號ニハ發行日附ナキヲ以テ本件實用新案出願前ノ發行ナルヤ否ヤ知リ難シ又同第一號ハ明治四十年三月一日後ノ發行ナルコトハ第三種郵便物認可ノ日附ヨリ推知シ得ヘシ而シテ同第百八十二號ハ其ノ號數ヨリ見レハ之ヨリ遅レタル後日ノ發行タルヘキニ其ノ紙面ニハ明治三十九年四月一日發行トアルハ甚タ怪ムヘシ一體信濃蠶況ハ請求人自身ノ發行ニ係ルモノナレハ本件實用新案ハ如此曖昧模糊ナル印刷物ノ爲メニ新規ノ考案タル資格ヲ失フヘキモノニアラスト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 本件登録實用新案第五四四八號梓製蠶種用梓盤ハ其ノ圖面及説明書ニ依レハ稍厚肉平坦ナル木板ニ二十

八箇ノ上部ハ狭ク下部ハ廣キ截頭圓錐形ノ透孔ヲ穿テ其ノ透孔ニ適合シテ金屬筒ヲ固定シタルモノニシテ明治四十年四月二十五日出願同年五月十七日附ヲ以テ登録セラレタルモノナリ然ルニ請求人援用ノ信濃蠶況第一號第四頁木板榨製器ノ説明中第二項及第三項ニ依レハ該木板榨製器ハ木板ニ上部口徑一寸二分下部口徑一寸四分ノ二十八箇ノ穴ヲ穿テ之ニ從來普通ニ使用セラル、亞鉛ノ筒ヲ膠着シタルモノタルヲ知り得ヘク從テ此木板ノ構造ハ本件實用新案榨製蠶種用榨盤ノ構造ト異ナル所ナシ而シテ前記信濃蠶況ハ公刊物ニシテ本件實用新案登録出願前則チ明治四十年三月一日ノ發行ニ係ルモノト認ムルカ故ニ本件實用新案ハ請求人主張ノ如ク實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ其ノ登録ハ無効ニ屬スルモノトス被請求人ハ前記信濃蠶況ノ上欄外ニ記シタル明治四十年三月一日ノ日附ハ第三種郵便物認可ノ日附ニシテ發行ノ日附ハ不明ナリト云フト雖第三種郵便物認可ノ文字ハ括弧内ニ入レ日附ヲ其ノ外ニ記シ其ノ他ニ發行期日ト見ルヘキモノナキヲ以テ該日附ハ發行ノ日ト認ムルヲ至當トス其ノ他當事者双方ニ於テ論辯スルトコロアリト雖本件審理ニ必要ナキヲ以テ其ノ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

實附新案第五四八號榨製蠶種用榨盤ノ登録ハ無効トス

明治四十年十二月十二日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局技師 安藤格
 特許局事務官 人見次郎

第千八百八十五號

東京市下谷區練堀町四十一番地 請求人 星直藏
 東京市神田區五軒町五番地特許代理業者 右代理人 日山豊次郎
 若松市大町字野町三番地 被請求人 岸萬平

右星直藏ヨリ岸萬平ニ對シ第五五三一號登録實用新案ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録第五五三一號實用新案棒打拔機ハ無効ナリト審決相成度其理由ハ本件實用新案ト同一ノ構造ヨリ成ル棒打拔機ハ本件實用新案ノ出願前即チ明治三十三年ヨリ近頃ニ至ル迄請求人ニ於テ公用シ輸出向羽二重張團扇ノ塗柄ノ棒等ヲ打抜キ來リタルノミナラス福島縣若松地方ニ於ケル團扇柄製造業者ニ於テモ七八年前ヨリ公用シ現ニ使用シツ、アル者モ少カラス毫モ新規トスヘキモノニアラス被請求人ハ殆ント十年前ヨリ田中廣吉外七名ニ於テ本件實用新案ト同一ノ機械ヲ造リ使用シ來リシモ深ク秘シタルヲ以テ公用セラレタルモノニアラスト云フト雖被請求人岸萬平ノ外ニ八名ノ使用者アリトセハ其ノ秘スルト秘セサルトニ拘ラス公用ニ屬スルモノト云ハサルヘカラス又甲第一號證ハ請求人カ使用シタル事實ナキニ依リ恐ラク關係者ヨリ借受提出セルモノナルヘシト主張スルモ請求人ノ使用シタル事實ナキコトヲ確ムル證據ヲ提出セサルノミナラス關係者ヨリ借受ケタルモノナリト云フニ至テハ本件出願前ヨリ同一ナル古器械ノ存在スルコトヲ自白スルモノナリト云フニアリテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ本件實用新案棒打拔機ハ今ヲ去ルコ

ト殆ント十年前ヨリ田中廣吉ノ發案ニ依リ外七名ト互ニ意見ヲ交換シテ研究工夫ヲ凝ラシ來リタルモノニシテ協議ノ末被請求人ニ於テ代表的ニ出願登録ヲ受クルコト、ナレルモノナリ而シテ新案工夫中各其ノ機械ニ依リ團扇柄ノ椽等ヲ打抜キ之ヲ販賣シタルシモ機器ノ組立使用ノ方法等ニ至リテハ深ク之ヲ祕シタルヲ以テ隨テ他ニ之ヲ使用シタルモノナシ請求人ハ明治三十三年ヨリ自己モ之ヲ使用シ且公用セラレタリト主張スルモ如斯事實ハ毫モ存在セスト云フニアリテ答辯ノ要旨ヲ確ムル爲メ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
實用新案法第一條ニハ實用新案ノ登録ヲ受クル者ハ考案者又ハ其ノ承繼人ニ限レリ然ルニ被請求人ハ本件登録實用新案第五三三號ハ田中廣吉外七名ノ共同考案ニ係ルモノヲ被請求人ニ於テ代表的ニ出願シタルモノナリト主張スルニ拘ラス同願書ニハ考案者岸萬平出願人岸萬平ト記載シ考案者ニアラス又本考案ヲ承繼シタル事實ヲ證明セスシテ登録ヲ出願シタルモノニシテ本件實用新案ハ實用新案法第一條ニ違背シ登録ヲ受クル能ハサルモノト云ハサルヘカラス以上ノ理由ニ依リ本件實用新案ノ登録無効タル以上ハ當事者互ニ爭フトコロアリト雖説明ノ要ヲ認メス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
登録實用新案第五三三號様打抜機ノ登録ハ無効トス

明治四十年十二月十六日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局技師 安 藤 格
特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百五十號

新潟縣北蒲原郡新發田町大字新發田町字指物町六百三十三番地
東京市京橋區木挽町十丁目八番地

新發田北蒲原郡新發田町大字新發田町字萬町十七番戶

請 求 人 武 田 孝 太 郎
右 代 理 人 乙 部 俊 次
被 請 求 人 富 永 脩 吉
審 理 ヲ 遂 ク ル 處

請求人申立ノ要領ハ第六五五號登録實用新案ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ明治四十年四月二十九日出願シ同年九月十五日附ヲ以テ登録ヲ得タル前記登録實用新案ハ被請求人ノ考案シタルモノニアラスシテ明治十一年ノ頃新發田在住ノ川田藤助ナルモノカ新發田屯營ノ陸軍ヨリ廢服ヲ拂下ケテ之ヲ「マント」及外套ナトニ改造シテ販賣シタル以來同業者ノ多數カ皆一様ニ製作シタルモノニシテ被請求人ノ出願以前ニ於テ已ニ公知ニ屬シタルモノナレハ實用新案法第一條第一號ニ該當スヘキモノナリト信スト云フニ在リ而テ其ノ申立ニ付キ甲各號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ甲第四號證古「マント」ヲ提供シテ富永式改造「マント」ト全ク同一構造物ト見做スハ慎重ニ兩者ヲ比較對照セサルニ基因スルモノナリ故ニ右提供セシ古「マント」ヲ被請求人カ先ニ提出セシ富永式改造「マント」ノ圖面ニ對照セハ大ニ其ノ差別アルコトヲ知り得ヘシ且「マント」製出ト同時ニ同一材料ニ依リテ帽子ヲモ製出シ得ルハ是富永式改造「マント」ノ特點ニシテ利用ノ道ヲ盡セル處ナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 被請求人ハ請求人カ從來公用ノモノトシテ提出セル甲第四號證古「マント」ト被請求人ノ登録實用新案改造「マント」ト相異ルモノナリト云フト雖今兩者ヲ比較對照スルニ被請求人ノ登録實用新案ハ原料タル古服ノ截チ方ニ付特得ノ點アリト云フニ過キスシテ其ノ製品タル「マント」ノ形狀構造ニ於テ何等ノ差別アルモノニアラス被請求人ハ又被請求人カ古服ヨリ「マント」及帽子ヲ製出スルヲ以テ其ノ特點トナスト云フト雖實用新案法ニ於テ保護スル所ハ物品ノ形狀構造又ハ其ノ組合セニ係ルヘキモノニシテ其ノ製出物品ノ形狀構造等ニ於テ特種ノ考案ナキ上ハ之ニ依テ其ノ權利ヲ主張スルヲ得ス之ヲ要スルニ被請求人ノ第六五五號登録實用新案改造「マント」ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルモノニシテ無効タルヘキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 第六五五號登録實用新案ハ之ヲ無効トス

明治四十年十二月二十四日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局事務官 松 田 啓 太郎
 特許局事務官 人 見 次 郎

廣島市研屋町三十七番地 請 求 人 青 木 繩 吉

第一千二百十六號

廣島市播磨屋町一番邸

被 請 求 人 熊 野 秀 吉

右青木繩吉ヨリ熊野秀吉ニ對シ第一三六二號登録實用新案ノ登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ實用新案第一三六二號登録肩章安全止金具ハ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ明治三十九年二月七日ヲ以テ登録ヲ出願シ同年二月二十八日實用新案第一三六二號肩章安全止金具ノ登録ヲ得タリ然ルニ請求人ハ明治三十七年前ヨリ弐力細工ヲ營業ト爲シ明治三十八年式陸軍服制ノ襟章、肩章、腕章等ニ用フル金具ヲ自ラ製造シ之ヲ陸軍被服廠ノ御用達タル市内二三ノ洋服屋ニ供給販賣シツ、アル者ニシテ實用新案登録第一三六二號肩章安全止金具ハ明治三十八年式陸軍服制ノ肩章ニ用ヒタル止金具ニ係リ右服制改定以前ニ於テ陸軍衛生部員及陸軍衛生隊ノ腕章ヲ左腕ニ緊着セシムル爲ニ用ヒタル眞鍮製ノ止金具ト全然同一構造ナリ斯ク前記實用新案肩章安全止金具ハ被請求人ノ登録出願以前既ニ陸軍ニ於テ用ヒ來リ明治三十八年式服制實施ト同時ニ復ヒ陸軍ニ襲用セラレタルモノニシテ被請求人ノ考案ニ非サルコトハ一點ノ疑ヲ容レヌ假ニ被請求人ノ考案シタルモノトスルモ其ノ登録出願以前既ニ陸軍ニ用ヒラレタルモノナレハ實用新案法第一條ニ該當セサルハ瞭カナリ或ハ謂ハシ明治三十八年式陸軍服制ノ肩章止金具及舊服制ノ腕章止金具ハ其ノ裏面下方ノ中央部ニ穴ヲ穿チ此ニ他ノ弐力若クハ眞鍮片ヲ挿着シテ中空ヲ作り眞鍮線ヲ貫通セシムルノ構造ナルモ被請求人ノ實用新案ハ眞鍮板ノ同上ノ部ヲ凸起シ此ニ眞鍮線ヲ貫通スルヲ以テ陸軍ニ於テ用ヒラレタル品ト同一ニアラスト然レトモ如此ハ眞ニ瑣々タル異點ニシテ寧ロ職工ノ手心即チ細工鹽梅ニ屬シ被請求人特得ノ工夫ニアラス從テ被請求人ノ登録出願以前ニ前記登録實用新案ト全然同一ノ品モ世間ニ流布シタルハ推想スルニ餘リアリ要之實用新案第一三六二號ハ新奇ノ構造形狀組合セニアラスト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第八號證ヲ提出セ

被請求人答辯ノ要領ハ本件ハ明治四十年七月二十六日附被請求人ヨリ請求人ニ對スル權利確認事件ト併合シ請求人ノ主張ハ不法ニ付該請求ヲ否認シ第一三六二號實用新案登録ノ權利確認スト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ自己製造ノ止金具ヲ陸軍被服廠ノ御用達タル市内二三ノ洋服屋ニ供給販賣シツ、アリト云フモ被服廠ハ斯ノ如キ點ヲ買入ルヘキ役所ニ非ス又實用新案第一三六二號安全止金具ハ從來腕章ノ止金具トシテ公用セラレツ、アリト云フモ自分出願前ノ腕章止金具ハ何レノ部分モ鐵附トナシタルモノニシテ必要ノ部分ニ於テ其ノ形狀相似タレトモ實用上效果上大差アリ又明治三十八年式服制實施ニ付舊式ニ用ヒタル金具再ヒ製用セラレタリト云フモ陸軍トシテ斯ル金具ヲ用ヒタルコトナシト云フニ在リテ乙第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ハ本件ヲ被請求人ヨリ請求人ニ對スル權利確認請求事件ト併合シ審決センコトヲ請求スルモ本件ハ之ヲ併合スルノ必要ヲ認メス依テ審案スルニ第一三六二號登録實用新案肩章安全止金具ハ明治三十九年二月七日登録ヲ出願セシモノニシテ其圖面及説明ニ依レハ眞鍮板(イ)ノ一端ニ近ク裏面ヨリ細溝(ロ)ヲ打出シ眞鍮線(ハ)ヲ貫通シ又他ノ一端ニ近ク二箇ノ穴ヲ穿チ之ニ眞鍮線ヲ貫通シ表面ニ於テ左右對向シテ折リ曲ケ之ニ眞鍮線(ハ)ヲ嵌入スル構造ヨリ成リタルモノナリ然ルニ其ノ登録出願以前ヨリ陸軍ニ於テ用ヒラレタル肩章止金具ハ請求人ノ主張ニ依ルモ板金ノ一端ニ近ク穴ヲ穿チ之ニ他ノ鍍力若クハ眞鍮片ヲ挿着シテ管狀ノモノヲ作り之ニ眞鍮線ヲ貫通セシモノニシテ明ニ第一三六二號登録實用新案ト構造ヲ異ニスルヲ以テ假令該實用新案登録出願以前ヨリ公ニ用ヒラル、モ第一三六二號登録實用新案ハ無効タルヘキモノニアラス又證人牛木留吉ノ陳述及請求人提出ノ證據ニ依ルモ前記實用新案ト同一構

第一千二百十二號

造ノ物品カ其ノ登録出願以前ヨリ公ニ用ヒラレタルコトヲ認ムルヲ得ス
以上ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十年十二月二十四日於特許局

審判長 特許局事務官 宿 利 英 治
特許局技師 安 藤 格
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

廣島市播磨屋町六番地 請 求 人 熊 野 秀 吉
廣島市研屋町五十五番地 被 請 求 人 青 木 繩 吉

右熊野秀吉ヨリ青木繩吉ニ對シ第一三六二號登録實用新案權利確認ノ爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製作販賣セル肩章裏止金具ハ請求人ノ登録第一三六二號實用新案明治三十八年式肩章安全止金具ト撞着スルモノト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ明治三十九年五月頃ヨリ請求人専用ノ肩章安全止金具ニ模倣セル肩章裏止金具ヲ製作シ之ヲ洋服附屬品販賣業北村常助ニ販賣シ請求人ニ對シ有形無形ノ損害ヲ與ヘタリ元來被請求人ハ充分情ヲ知リテ着手セルモノニシテ請求人カ提

出セル第三號證圖面ノ(ロ)部ハ請求人ノモノハ臺板金ヨリ打出セルヲ被請求人ハ殊更ニ別箇ノ板金ヲ管
 狀トシタル兩端ヲ後面ニ貫キキ之ヲ臺板金ニ曲ケ附ケ「ハンダ」鐵ヲ以テ附着シ以テ堅牢ノ度ニ於テ請求人
 ノモノト相違ナキヲ以テ期シ又(ニ)ノ部ニ於テ被請求人ハ請求人ノモノト相違ナキ工作ヲナシ又(ハ)ノ
 部「パネ」ハ頗ル彈力弱ク爲メニ運動ニ際シ時々脱落スルヲ以テ請求人專用ノ安全止金具ノ聲價ヲ下落セ
 シメタリ尙請求人ハ請求人、被請求人間ノ第一三六二號登錄實用新案登錄無効審判請求事件ノ全部ヲ援
 用スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ不法ニ付明治四十年七月二十九日附被請求人ヨリ請求人ニ對スル
 無効審判請求事件ト併合シ第一三六二號實用新案ハ無効トスト審決相成度其理由ハ前記無効審判事件ノ
 全部ヲ援用スト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 被請求人ハ本件ヲ被請求人ヨリ請求人ニ對スル第一三六二號無効審判請求事件ト併合シ審決セシコトヲ
 請求スルモ本件ハ之ヲ合併スルノ必要ヲ認メス依テ審案スルニ被請求人ノ製造販賣セル肩章裏止金具ハ
 之ヲ請求人ノ第一三六二號登錄實用新案肩章安全止金具ニ比較スルニ請求人ノ實用新案ニ在リテハ眞鍮
 板ノ一方ニ於テ臺金ヲ裏面ヨリ打ち出シ細溝ヲ形成セシメタルニ反シ被請求人製造ノ物品ハ同上ノ部ヲ
 裏面ヨリ打ち貫キ而テ之ニ中央ヨリ折り曲ケ管形ヲ形成セル別箇ノ鐵葉小片ヲ挿入シ裏面ニ於テ上下ニ
 折り曲ケ「ハンダ」鐵ヲ以テ附着セシメタルモノナルカ故ニ假令其ノ他ノ點ニ於テ同一ナル所アルモ此點
 ニ於テ其ノ構造ヲ異ニスル以上ハ兩者ハ其構造上差異アルモノト言フヘシ故ニ被請求人ノ製造販賣セル
 肩章裏止金具ハ請求人ノ第一三六二號登錄實用新案ト撞着スルモノニアラス
 以上ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十年十二月二十五日於特許局

審判長

特許局事務官

宿

利

英

治

特許局技師

安

藤

格

特許局事務官

奥

山

萬

次

郎

實用新案審決錄終

意匠審決錄

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第九七六號	第二七九八號意匠登錄無効事件		(請) 今井 六兵衛 (被) 若林 平三	三十九年 三月二十四日	△五
第一二三四號	第二五八八號意匠登錄無効事件		(請) 守山 治作 (被) 玉置 岸松	十四年 四月十一日	△六
第一一九四號	第三六九六號登錄意匠權利確認事件	一、無登錄ニテ使用スル意匠カ 登錄意匠ニ撞クシテ權利 確認ノ審判ヲ請求シタル者被 請求人カ其ノ無登錄意匠ヲ使 用スル事ヲ證明セサル場合 ニ於テハ審判請求人ハ利害關 係人ト認ムルコトヲ得ス	(請) 川原 儀六 (被) 合資會社三宅商店	十四年 十一月二日	△〇

意匠審決錄

第八百三十四號

大阪市南區大寶寺町仲ノ町一丁目十一番屋敷 請求人 中井梅三郎
 大阪市西區阿波座下通二丁目三十三番屋敷 請求人 辻田富造
 大阪市東區備後町二丁目十八番屋敷特許代理業者 右代理人 堀部 他 彦
 大阪市東區糸屋町一丁目二十三番屋敷 被請求人 堀部 朔 良

右中井梅三郎辻田富造ヨリ堀部朔良ニ對シ第一三七七號鎖形意匠登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第一三七七號意匠登錄ハ無効ナリト審決セラレ度其理由ハ右登錄意匠ハ片面丸味ヲ帶ヘル金屬線ヲ以テ上下端ヲ撫角ニナシタル縱長キ環ヲ製シ此環ヲ二箇ツ、相嵌合シタル間ニ螺旋ヲ挿嵌シタルモノヲ三箇ツ、ノ圓環ニテ數多順次ニ連繫シ而シテ其兩端ニ鈎ト茄子環トヲ附シタル時計鎖形狀ニシテ明治三十五年九月十日ノ登錄出願ニ係ルト雖モ右ト同一様ノ鎖ハ右登錄出願以前ヨリ既ニ一般同業者間ニ於テ甲第三號證乃至第五號證ノ如ク「ゴム」鎖ト稱シテ製造販賣セラレタルトコロノモノナリ被請求人モ本件鎖ヲ護謨鎖ト稱シ販賣セルノミナラス其意匠登錄願ニ際シテモ其意匠名稱ヲ明ラカニ護謨鎖ト記載セルニ依ルモ本件鎖カ其以前同業者ニ依リ製造販賣サレタルモノト同一様ノ物品ナルコトヲ知ルニ足ル然シテ又本件鎖ト類似ノ鎖カ登錄出願前公知ナルコトヲ被請求人ニ於テモ亦

之ヲ認ムルモノナルコトハ被請求人ヨリ明治三十六年十一月七日請求人外七名ニ對シ本件登録意匠權ヲ侵害セルモノナリトシテ大阪府警察部ニ告訴狀ヲ提起シタルニ當リ告訴代理人辯護士永岡清治ヨリ同年十一月十四日同警察部ニ於テ陳述セルトコロニ依ルモ之レヲ知ルヲ得ヘキカ故ニ畢竟本件登録意匠ハ登録出願前公知ノモノニシテ意匠法第二條第三項ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ然シテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至第七號證ヲ提出シ更ニ人證ノ申出ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決セラレ度其理由ハ請求人カ提出セル證據物中甲第二號乃至第五號證郵便葉書ニ關シテハ後日ニ至リ加筆増補セシモノナルヤ否ヤ又作成物ナルヤ否ヤヲ知ルヘカラサルヲ以テ之ニ依テ公知ノ證明トナスニ足ラス又本件登録意匠鎖ヲ「ゴム」鎖ト稱セシハ畢竟本品ノ伸縮スルヲ以テ命シタル迄ノ略語ニシテ確乎不動ノ名稱ニアラサレハ之ヲ以テ同一物ト見做スヘキニアラス又請求人カ被請求人ノ告訴代理人タル辯護士永岡清治ノ大阪府警察部ニ於ケル陳述ナリト稱スルモノ、如キ被請求人ニ於テ代理ヲ依頼セサルノ言ナレハ畢竟請求人ノ主張ニ關シ證據トシテ見ルヘキモノナシト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件登録意匠タル時計鎖形狀カ其登録出願以前ニ於テ公知ノモノナルヤ否ヤニ付キ審按スルニ請求人提出ニ係ル甲第三號證乃至第五號證郵便端書ニ依レハ甲第三號證ハ其消印ニ於テ不明ナルモ同第四號證第五號證ハ明治二十四年ノ消印ニ係リ吳港和庄町内山喜代松並ニ石川縣小松町辻作太郎ヨリ請求人中井梅三郎ニ對スル注文書ナリ其品目中明カニ「ゴム」ト記載シアリテ被請求人カ主張スルカ如ク後日ノ加筆又ハ作成ニ係ルモノト認ムルヲ得ス然シテ被請求人ハ本件護謄鎖意匠ノ登録ヲ出願シタルハ明治三十五年九月十日ナルカ故ニ其登録出願以前ヨリ「ゴム」ト記載シタルモノ、存在セシ事實ハ明白ニシテ其

同一若クハ相類似セルモノナルコトハ略々認知シ得ヘキノミナラス本件審理ニ關スル證人大阪市東區北久寶寺町水落楠三郎ノ陳述ニ依ルモ本件鎖形ハ同南區順慶町三丁目岸田喜一郎ヨリ買求メ十三年程前ヨリ販賣セリト云ヒ又證人前田茂七モ明治二十七年頃ヨリ自カラ職工ヲシテ製造セシメ販賣セリト云ヒ何レモ本件意匠ノ登録出願前ヨリ同一鎖形ヲ販賣セルモノト認ムルニ足ルヲ以テ本件登録意匠ハ其登録出願前既ニ公知公用ニ屬シタルモノト云フヘク隨テ意匠法第二條第三項ニ該當シ同第十一條ニ依リテ其登録ハ無効タルヘキモノナリ其他雙方ノ陳辯ニ關シテハ審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

本件第一三七七鎖形狀意匠登録ハ無効トス

明治三十八年九月二十二日於特許局

審判長 特許局長 磯部正春
 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局技師 安藤格

第九百七十七號

東京市日本橋區橋町三丁目十八番地
 東京市京橋區木挽町十丁目八番地特許代理業者
 大阪市東區北久寶寺町二丁目三十七番地
 大阪市東區平野町一丁目二十番屋敷特許代理業者

請求人 小林 凍一
 右代理人 乙部 俊次
 被請求人 祐田 末治郎
 右代理人 奥戸 善之助

右小林凍一ヨリ祐田末治郎ニ對シ第二八六八號登錄意匠ノ權利確認ヲ求ムル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第六七二號登錄實用新案トシテ被請求人ノ製作販賣タル袋物ノ形體ハ第二八六八號登錄意匠ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト審決相成度其理由ハ被請求人ノ製作販賣スル甲第一號證袋物ハ郵便葉書ノ形體ニシテ之ニ郵便「はかき」ナル文字ヲ記シ全然繪葉書ノ形體ヲ具シタルモノナリ然ルニ甲第二號證ノ如ク繪葉書ノ形體ヲナス袋物ハ請求人所有ニ係ル第二八六八號登錄意匠ニ屬スルモノナレハ金具ノ有無ハ論外トシテ其袋物ノ形體ハ全ク第二八六八號登錄意匠ノ權利範圍内ナリト云フニアリテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證同第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ登錄ヲ受ケタル第六七二號實用新案ハ其登錄請求範圍ニ示セル如ク郵便「はかき」又ハ「Post Card」ノ文字ヲ顯ハサ、ルモ裏面ヘ繪畫印刷ヲ施シ繪葉書トシテ應用スルコトヲ得ヘキモノニシテ其之ヲ繪葉書トシテ用ヒ又ハ繪葉書ニアラサル普通ノ錢入トシテ用フルトハ第六七二號登錄實用新案ノ範圍ニ關スル所ナシ故ニ該實用新案ハ請求人ノ登錄ヲ受ケタル第二八六八號繪葉書形體ノ意匠範圍ヲ侵犯シタルモノト云フヘカラサルハ勿論甲第一號證袋物カ假令繪葉書ノ形體ヲ具セリトスルモ登錄シタル實用新案ノ權利ト之ニ依リテ製作セラレタル物件トハ混同スヘカラサルヲ以テ被請求人ノ有スル第六七二號登錄實用新案ニハ何等影響スル所ナシ且請求人カ登錄ヲ受ケタル袋物ヲ繪葉書ノ體裁ニ象リタル意匠ハ請求人カ新規ニ案出シタルモノニアラスンテ其出願前被請求人ハ乙第一號證ノ如キ實用新案ノ登錄ヲ出願セシコトアリ假令其結果ハ他人ノ特許ヲ受ケタル「ミシン」縫封筒ニ類似スル故ヲ以テ拒絕査定ヲ受ケタリトハ云ヘ請求人ノ意匠登錄出願前ニ被請求人カ既ニ同一ノ意匠ヲ出願セシコトヲ證スルニ餘リアルモノニシテ請求人ノ有スル登錄意匠

ハ既ニ公知公用ニ屬シ無効タルヘキモノナルニ拘ハラヌ被請求人カ自己ノ案出ニ基キ第六七二號實用新案權ヲ有スル繪葉書應用紀念錢入ニ郵便「はかき」ナル文字ヲ印刷シタル故ヲ以テ請求人ノ權利ヲ侵害シタルモノト主張スルハ不當ナリト云フニアリテ其申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證ヲ提出セリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類並ニ證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ノ製造販賣スル甲第一號證袋物ハ金具ハ論外トシテ請求人所有ノ第二八六八號登錄意匠ノ權利範圍ニ屬スト云フ請求人ノ主張ニ對シ被請求人ハ其登錄ヲ受ケタル第六七二號實用新案權ハ第二八六八號登錄意匠ノ權利ヲ侵犯スルモノニアラスト云ヒ又第二八六八號登錄意匠ハ公知公用ノ理由ヲ以テ無効ナリト主張スレトモ元來意匠法ニ認メタル權利確認ノ審判ハ二箇以上ノ登錄意匠相互間又ハ登錄意匠ト意匠ノ登錄ヲ受ケサル物品トノ撞着ヲ判定スルモノニシテ意匠權ト實用新案權トノ間ニ權利確認ノ審判ハ法ノ認ムル所ニアラス(意匠法第二十二條特許法第二十九條)請求人モ亦此ノ如キ請求ヲ爲シタルニアラス又權利確認ノ審判ハ係争權利ノ存立ヲ前提シテ其間ニ撞着アリヤ否ヤヲ判定スルニ過キス權利ノ有無ナルヤ無効ナルヤハ無効審判ニヨリテ決スヘキモノナルヲ以テ假令第二八六八號登錄意匠ハ無効タルヘキモノナリトスルモ未タ無効ノ審判請求ナキ今日ニ於テ之ヲ以テ右登錄意匠ト甲第一號證袋物ハ撞着セサルモノト云フヲ得ス然シテ今被請求人所有ノ第二八六八號登錄意匠ト被請求人ノ製造販賣スル甲第一號證袋物トヲ比較對照スルニ第二八六八號登錄意匠ノ請求範圍ハ其願書ニ「別紙圖面ニ示セル如ク全體ノ形狀ヲ長方形トナシ表面ニ郵便「はかき」及ヒ歐文ニテ「Carte Postale」ト書シテ私製葉書ノ表面ノ模様ニ象リ裏面上部ニ貨幣入口ヲ設ケタル袋物全體ノ意匠」ト記載シ別紙表裏ノ圖面之ト合致セリ請求範圍稍漠タルカ如シト雖要スルニ意匠ノ存スル所ハ袋物ヲ郵便葉書ノ體裁ニ擬スルノ考案ニアリ然ルニ被請求人ノ製造販賣スル甲第一號證袋物ハ形ヲ郵便葉書大ノ長方形トナシ不規則ナル數條ノ曲線ニ所々草

花ヲ配シタルモノヲ以テ輪郭トナシ上端ニ郵便「はかき」右側ニ「Post Card」ト記シタル形狀模様ヲ具シタルモノニシテ全ク私製「はかき」ノ體裁ヲ具ヘタリ而シテ第二八六八號登錄意匠ニハ指定シタル輪郭模様ナキモ甲第一號證袋物ニハ上述ノ如キ輪郭ヲ有スルト前者ニハ「Carte Postale」ト記スルモ後者ニハ「Post Card」ト記載シタルノ差異アレトモ元來第二八六八號登錄意匠ハ袋物ヲ郵便葉書ノ體裁ニ擬スルノ點ニ於テ權利ヲ得タルモノナルカ故ニ輪郭模様ノ有無表面記載文字ノ相異ニ關セス郵便「はかき」ニ擬スルノ點ニ於テ甲第一號證袋物ノ體裁ハ第二八六八號登錄意匠ノ範圍内ナリト云ハサルヘカラヌ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
被請求人ノ製造販賣スル甲第一號證ノ袋物ハ郵便葉書ノ體裁ヲ擬スルノ點ニ於テ第二八六八號登錄意匠ノ範圍内ナリトス

明治三十九年六月四日於特許局

審判長 特許局長 織田 一
特許局事務官 肥田 平次郎
特許局事務官 人見 次郎

第九百七十六號

京都市下京區松原通東洞院西入一番戸
東京市京橋區木挽町十丁目五番地特許代理業者
東京市本郷區本郷三丁目十七番地特許代理業者

請求人 今井 六兵衛
代理人 中川 津平
代理人 飯田 夙次

京都市下京區室町通松原下ル元兩換町二百五十二番戸
京都市上京區高倉通二條上ル天守町十五番戸特許代理業者

被請求人 若林 平三
代理人 淺村 三郎

右今井六兵衛ヨリ若林平三ニ對シ第二七九八號肩掛編模様意匠登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第二七九八號肩掛編模様意匠登錄ハ無効ナリト審決セラレ度其ノ理由ハ被請求人ノ所有ニ係ル本件第二七九八號肩掛編模様意匠ノ登錄ハ明治三十八年三月八日附ヲ以テ出願シ同年九月十日附ヲ以テ登錄セラレタルモノナリ然ルニ本件登錄意匠ト同一ノ肩掛ハ明治三十六年春季以來東京府在原郡大井村島田毛織物製造所ニ於テ盛ニ製造セラレ百號「レース」ト稱ヘ當業者間ニ頻リニ取引セラレタルモノニシテ本件登錄意匠カ其ノ登錄出願前既ニ公知公用ニ屬シタルモノナルコト疑ヲ容ルヘカラス即チ意匠法第二條第三號ニ該當シ本件登錄ハ當然無効タルヘキモノトスト謂フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲シタリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人主張ノ事實ハ一切之ヲ否認スト謂フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ且證人ノ陳述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件第二七九八號肩掛編模様意匠登錄ハ明治三十年三月八日附ノ出願ニ係リ同年九月十四日附ヲ以テ登錄セラレタルモノトス然ルニ本件第二七九八號登錄肩掛編模様意匠ト同一ナル製品(百號「レース」ト稱スル肩掛)カ東京府在原郡大井村島田毛織物製造所ニ於テ製造セラレ之ヲ明治三十七年四月二十七日ヨリ東京「レース」組合員ニ販賣シ爾來久保田宗三郎其ノ他ノ商人ニ賣渡シタルノ事實ハ甲第一號證及證人後藤忍作ノ供述ニ徴シテ疑ヲ容レヌ且又證人久保田宗三郎ハ前掲百號「レース」ト稱スル肩掛ヲ島田毛織

物製造所ヨリ明治三十八年三月八日以前買受及販賣セル事實アリト陳述シタリ斯ノ如ク本件登録意匠ハ其登録出願前公用ニ屬シタルモノナルヲ以テ意匠法第二條第三號ニ該當シ同法第十一條ニ依リ其ノ登録ヲ無効トセサルヘカラス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第二七九八號肩掛編模樣意匠登録ハ無効トス

明治三十九年十二月二十四日於特許局

審判長

特許局事務官

松田啓太郎

特許局事務官

奥山萬次郎

特許局事務官

永井亨

第一千二百二十四號

島根縣瀨原郡溫泉津町

請求人 玉山治作

島根縣瀨原郡溫泉津町

被請求人 玉置岸松

右守山治作ヨリ玉置岸松ニ對シ菓子春ノ海ノ意匠ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ前記菓子春ノ海ノ第一一五八八號意匠登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ本年五月東宮殿下ノ山陰道行啓アルヲ耳ニシ紀念ノ菓子ヲ製造セント欲シ漸クニシテ海産物中ノ和布ヲ以テ砂糖漬トナスコトヲ考案シ名ツクルニ春ノ海ト稱シ發賣ニ先タチ東宮殿下御旅館内物産陳列ナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ハ商業上被請求人ノ競争者タルニ過キサレモノニシテ申立ニ關シ何等適法ノ理由ナキモノナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ハ菓子春ノ海第一一五八八號意匠登録ノ無効ヲ求ムト云フト雖菓子春ノ海ノ名稱ナル意匠ニ關シテハ被請求人ヨリ本年六月三十日其ノ登録ヲ出願シ其ノ後登録拒絶ノ査定ヲ受ケタルモノアルニ止マリ第一一五八八號春ノ海意匠登録ナルモノアルコトナシ從テ本件ハ審判請求ノ目的物ナキモノトス右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十年十月一日於特許局

審判長

特許局事務官

中松盛雄

特許局事務官

松田啓太郎

特許局事務官

人見次郎

第千九百九十四號

大阪市北區中島三丁目三十六番屋敷

大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷許代理業者

大阪市北區信保町一丁目二十五番屋敷

請求人 川原儀六

右代理人 小池宗三郎

被請求人 合資會社三宅商店

右代表社員法定代理人

三宅房次郎

右代理人 廣井代藏

右川原儀六ヨリ合資會社三宅商店ニ對シ第三六九六號登錄意匠權利確認ノ爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人合資會社三宅商店カ製造販賣スル甲第二號證ノ莫大小縞ハ請求人ノ所有ニ係ル第三六九六號ノ登錄意匠ノ範圍内ニ屬スルモノト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ甲第一號證ノ莫大小地ニ對シ莫大小縞模樣ナル名稱ノ下ニ明治三十九年七月二十三日意匠登錄ヲ出願シ同四十年一月十一日附第三六九六號ヲ以テ登錄ヲ得タリ然ルニ被請求人ノ製造販賣スル甲第二號證ノ莫大小縞地ハ請求人ノ登錄意匠ニ僅ニ細小ノ並行線ヲ横置スルニ止リ一見同一ノ縞柄ト云フヲ得ヘク第三六九六號登錄意匠ノ範圍内ニ屬スルモノト信ス被請求人ハ嘗テ第二號證ノ如キ物品ヲ製造販賣シタルコトナシト主張スレトモ請求人ハ事ヲ圓滿ニ解決スルカ爲メ再三工業所有權保護協會大阪支部ヲ介シテ被請求人ニ交渉シタルモ被請求人ノ排斥シタルカ爲メ止ムナク審判ヲ請求スルニ至レルモノニシテ今更之ヲ製造販賣セスト云フカ如キ被請求人ノ主張ハ全然之ヲ認ムル能ハス又被請求人ハ意匠專用權ハ確定的ノモノニシテ類

推シテ其ノ權利範圍ヲ擴張スルヲ得サルモノナリト云フト雖之ヲ換言スレハ類似意匠ノ制度ヲ設ケタルカ故ニ些少ノ増補ヲ加フレハ權利ヲ侵害セスト云フニ均シキ論理ニシテ斯ノ如クンハ意匠法ハ無用ノ長物ニシテ工業上ノ獎勵タルノ資格ナシ意匠法ノ精神ハ同一若クハ類似ノ意匠ヲ含ムハ論ナシ又各段ニ二條ノ併行線アルヲ以テ兩意匠ニ顯著ノ差アリト云フト雖此ノ如キハ只申譯的ノモノニシテ微細ノ差ニ過キスト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第二號證ヲ提出セリ被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ甲第二號證ノ莫大小地ヲ決シテ製造販賣シタルコトナク且如斯計畫ヲナシタルコトナシ假ニ此等ノ事實アリトスルモ甲第二號證ノ物品ハ第三六九六號登錄意匠ノ專用權ニ屬スルモノニアラス蓋意匠法上意匠ノ專用權ハ殆ント確定的ノモノニシテ類推シテ其ノ權利ヲ擴張スルコトヲ得サルハ類似意匠登錄ノ制度ヲ設ケタルヨリ見ルモ明ナリ從テ第三六九六號登錄意匠ノ專用權ハ朽木形ノ色彩ヲ異ニシタルモノヲ同等ノ幅ニ交互ニ顯シ全面ヲ横縞狀ニナシタル莫大小地ニ限ルモノニシテ其ノ他ノモノニ及ハス請求人ハ甲第一號證ト甲第二號證ノ物品ト一見同一ノ縞柄ナリト云フモ甲第二號證ノ物品ニハ明ニ各段ニ二條ノ併行線ヲ有シ之ヲ有セサル甲第一號證ノ物品トハ顯著ナル差違アリト云フニ在リ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ請求人ハ被請求人カ甲第二號證ノ物品ヲ製造販賣スト主張スト雖其ノ製造販賣ノ事實ヲ證明セス被請求人又之ヲ否認セルヲ以テ請求人ハ意匠法第二十二條ニヨリテ準用シタル特許法第二十九條ニ所謂利害關係人ト認ムル能ハサルヲ以テ被請求人ニ對シ本件審判ヲ請求シ能ハサルモノトス右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十年十一月二日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 大竹多氣
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 人見次郎

△十二

意匠審決錄終

明治四十年十一月二十日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 大 菅 多 氣
特許局事務官 宿 利 英 治
特許局事務官 人 見 次 郎

意匠審決錄 終

商標審決錄

商標審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
自第八三七號至第八五〇號	第一六七八二號乃至第一六七九〇號及第一七二六六號乃至第一七二七〇號商標登錄無效事件 (明治三十八年十二月二十五日大審院判決六一頁參照)	一、凡ソ商標登錄ヲ無効トスルニシテモ直接ノ利害關係アルヲ要セス 二、凡ソ商標ノ圖形力意匠ナルニハ必ズ商標ヲ使用スル者ノ意思ヲ以テ列スルニシテモノニ非ス 三、商標ノ意匠モ取引上商品區別ノ目的トナルコトアルヲ以テ商品區別ノ目印タリシ事實ヲ以テ商標ナリト斷スルコトヲ得ス	(請) 平栗 種吉 (被) 中野 外三人 外二人	三月二十八日 五月二十七日	二
第八九九號	第一三〇八一號登錄商標專用權確認事件	一、他人ノ專用スル商標ノ主要部分ニ類似スルトキハ假令該部分ノ他附屬ノ部分ニ於テ異ナル所アルモ商標ノ攪着アルモノトス	(請) 西脇 金三郎 (被) 池田 澄	三月二十八日 七月二十九日	四
第九〇〇號	第三二八八一號商標登錄願拒絕査定不服事件	一、再審査ハ同一事件ニ付テ新ニ審査ヲ送ケルノ登錄スヘキニ否ヤヲ決スルモノニシテモ初査定ノ當否ノミヲ審究スルモノニアラス	(請) 鷲尾 長三	三月十八日 八月十九日	六
第九一五號	第三五〇二九號商標登錄願拒絕再査定不服事件	一、商標法第二條第四號ニ所謂類似トハ單ニ外觀上ノ類似ノミヲ指稱スルモノニアラス商標上生スヘキ自然ノ稱呼ニシ	(請) ハルトウイヒ、ベ イテル	三月十八日 五月五日	九

商標審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第八八三號	第一六六九號商標登錄無効事件	テ同一若クハ類似ナルモノモ包含スルモノトス 一、養老酒ナル文字ハ酒ノ普通名稱ニシテ特定人ノ專有ニ委スヘキニ非ス 二、審判請求ノ效力ハ請求人ヨリ審判請求書ヲ特許局ニ提出シタル時ニ於テ發生スルモノトス 三、營業者爲シタル事實ノ認ムヘキモノアレハ反對ノ證據ナキ以上ハ以後其ノ營業者ヲ繼續シタルモノト認定スルヲ至當トス	(請) 土屋八十郎 (被) 山田良造 (請) 金子屋國次郎 (被) 爲次郎	十月十八日 十月十七日 十月十八日	二 二 四
第八二五號	第一五七六七號商標登錄無効事件	一、商品ノ品位、品質、會社名等ヲ表ハス文字トシテ、配置結合ヲ商標ト爲シタル場合ニハ商標法第二條第六號及ヒ第七號ニ該當スルモノト云フヲ得ス 二、一事不再理ノ原則ヲ適用スルニハ事件當事者及ヒ其ノ目的タル事同一ナル後同一商標拒絶	(請) 佐川延治 (被) 稻田市太郎 (請) 江藤岩彦 (被) ゼントランコムパニー	十月十八日 十月十八日 十月十八日	六 九 三
第九二二號	第二〇六八九號商標登錄無効事件	一、商標法第二十條特許法第二十九條ニ依リ登錄商標權利確立ノ審判請求ヲ爲シ得ヘキ場合ハ二箇以上ノ登錄商標互ニ撞着シ又ハ登錄商標トシテ撞ケサル商標トシテ登錄ノ權ニ限ルノ法意ニ撞着スル場合ニ限リ審判請求ハ右兩條ノ規定以外ナリ			
第九二〇號	第二〇三五八號商標登錄無効事件				
第八八九號	第二一六四六號商標登錄無効事件				

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第八九五號	第一六七八九號商標登錄權利確立事件 (明治三十九年六月八日 大審院判六八頁參照)	一、商標法第二十條特許法第二十九條ニ依リ登錄商標權利確立ノ審判請求ヲ爲シ得ヘキ場合ハ二箇以上ノ登錄商標互ニ撞着シ又ハ登錄商標トシテ撞ケサル商標トシテ登錄ノ權ニ限ルノ法意ニ撞着スル場合ニ限リ審判請求ハ右兩條ノ規定以外ナリ	(請) 中野友道 (被) 三平株式會社	十月十八日 十月十八日	五 六
第九〇七號	第一七三三六號商標登錄無効事件	一、彩色如何ハ法律上何等ノ規定ナク何人モ其ノ商標トシテ任意ニ彩色ヲ使用スルコトヲ得ルモノナルヲ以テ商標ノ主要部分同ナル以上ハ色彩トシテ自然ノ稱呼上ニ區別アリト云フヲ得ス 二、商標法第二條第四號ノ規定ハ類似商標ノ登錄ヲ出願スル商品ニ對シテ一定ノ商標カ同一ニ現在シ又ハ登錄後一年ヲ經過セサル時期内ニ屬スル以上ハ後ノ商標ハ其ノ登錄ヲ受クルヲ得サルノ趣旨ナリ	(請) 前田竹造 (被) 吉井熊造	十月十八日 十月十八日	六 六
第九二三號	第一七八四六號及第一七八四七號商標登錄無効事件		(請) フランシス、シ、 (被) プラオン、又兵衛	十月十八日 十月十八日	三 三
第九二七號	第二三四七〇號商標登錄無効事件		(請) ハルトサイヒ、ペー (被) テル、渡邊源兵衛	十月十八日 十月十八日	三 三

商標審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第九五四號	第三五二〇九號商標登錄願拒絕再査定不服事件	サ、ルノ趣旨ナリト解セサルヘカラス 二、一定ノ名稱カ一定ノ商品ニ付キ廣ク使用セラレ需要者カ其ノ名稱ヲ以テ其ノ商品取引ヲ爲シタル事實アレハ其ノ名稱ハ其ノ商品ニ對シテハ普通名稱ナリ 三、審判請求書ニ於テ單ニ商標法第十條ニ該當スルモノナリト記載シタル後ニ商標法第二條第六號ニ依リ無効ナリト云フモ請求ノ原因ヲ變更シタルモノニ非ス	(請) 井上市兵衛	二月十九日	〇七
第九四七號	第一九四三二號商標登錄無効事件	一、登錄商標ノ登錄ノ無効ハ商標法第二十條特許法第三十條ニ依リ無効審判ノ請求ヲ俟テ之ヲ確定スヘキモノナルヲ以テ其ノ以前ニ於テ其ノ登錄商標ノ無効ナルコトヲ理由トシテ之ニ類似セル商標ノ適法ニ登錄セラルヘキモノナルコトヲ主張スルヲ得ス	(請) 中澤寅吉 (被) アリシヤ、エス、ホワイ、ト、ア、リ、シ、ヤ、コ、ム、バ、ニ、	二月十九日	〇七
第九七四號	第三七三〇六號商標登錄願拒絕再査定不服事件		(請) 立野安太郎	三月十九日	〇七
第九七二號	第三五五二〇號商標登錄願拒絕再査定不服事件		(請) ジョセフ、クロス、ワイルド、ア、ン、ド、サ、ン、ス、リ、ミ、ナ、ワ、ド、	三月十九日	〇七

第九六三號	第一八三四〇號商標登錄中ノ鑑ニ對スル無効事件	一、商標法第二條第五號ニ此ノ商標ト同一若クハ類似ノモノハ登録ヲ受クルヲ得スハトノ法施行以前ヨリ登録ヲ受クルノ時ニ至ルヲ意味スルモノト解釋スヘキナリ	(請) 吉多助五郎 (被) 小西榮次郎	三月十九日	〇八
第九四一號	第二三四一號及第二三六七五號商標登錄無効事件		(請) 江藤岩彦 (被) イニ、ア、ン、グ、コ、ム、バ、ニ、	三月十九日	〇八
第九七五號	第一九五六四號商標登錄無効事件		(請) 山本爲次郎 (被) 谷新助	三月十九日	〇八
第九六〇號	第二一八八三號商標登錄無効事件		(請) 相馬久吉 (被) 稻葉久吉	三月十九日	〇八
第九九六號	第二二一三五號商標登錄無効事件		(請) 藤田久造 (被) 山下千代吉	三月十九日	〇九
第九三八號	第二二二二七號商標登錄無効事件		(請) 相磯源吾 (被) 渡邊三吾	三月十九日	〇九
第九八四號	第三六六五三號商標登錄願拒絕再査定不服事件		(請) 東京モスリン紡績株式會社	三月十八日	〇九
第九九四號	第三七二四五號商標登錄願拒絕再査定不服事件	一、從來A B C等ノ「アルハベント」文字ヲ用ヒ一箇或ハ數箇ニ列記シ以テ商品「モスリン」ノ品位ヲ表示スルノ慣行アリ	(請) ウイギンズ、チープ、ア、ン、ド、コ、ム、バ、ニ、リ、ミ、ナ、ワ、ド、	三月十八日	〇九

商標審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一〇五〇號	第三九〇三六號商標登 錄願拒絕再查定不服事 件	一、商標法第八條ハ二人以上ヨ リ同一又ハ相類似スル商標ヲ 同商品ニ使用セシムルハ商標法 ヲ出願シタル場合ニ於テ其ノ 各出願ニ對シテ其ノ出願前既ニ 規定ニシテ其ノ出願トノ關係ヲ 分ノ結了セシタルモノニ非ス モ規定シタルモノニ非ス	(請) 中村市治郎 (被) 關口四郎吉 桑原喜藤治	三十九年 三月二十七日	〇三 〇三九
第一〇六二號	第二四八五一號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 合名會社中井商店 (被) 三浦常次郎	四十年 二月二十日	〇四 〇四二
第九九九號	第二四七五一號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 伊藤八代三 (被) 宇野八代三	四十年 四月二十日	〇四 〇四三
第一〇七五號	第二五六八號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 伊藤八代三 (被) 宇野八代三	四十年 四月二十日	〇四 〇四三
第一一一〇號	第二五九一號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 森喜太郎 (被) 吉田藤九郎	四十年 三月二十日	〇四 〇四六
第八三七號乃 至第八五〇號	第一六七八二號乃至第 一六七九〇號及第一七 二六六號乃至第一七 七〇號商標登錄無效事 件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 平栗種吉 (被) 中野友道人 外二人	四十年 三月二十日	〇四 〇四九
第一〇九號	第二四九七六號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 伊藤章三 (被) 宇野八代三	四十年 三月二十日	〇五 〇五三

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一〇八七號	第二二一三六號商標登 錄無效事件 (明治四十年六月二十六日 大審院判決八頁參照)	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 春元 檜次 (被) カルロイフツウシンド	四十年 三月二十九日	〇五 〇五五
第一〇二號	第二一五二三號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 伊藤章三 (被) 竹中德三郎	四十年 四月五日	〇五 〇五七
第一〇一八號	第一二四二六號商標登 錄中黃揚楯ニ對シ無効 事件 (明治四十年七月十八日 大審院判決九〇頁參照)	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 山本長兵衛 (被) 高橋重太郎 外三人	四十年 四月十七日	〇五 〇五九
第一〇二五號	第二一〇一八號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 今村武四郎 (被) 三田幸藏	四十年 四月二十六日	〇六 〇六一
第一一四五號	第一七四八六號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 桃谷政次郎 (被) 高木捨次郎	四十年 五月二十七日	〇六 〇六三
第一一四六號	第二八一四九號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 桃谷政次郎 (被) 高木捨次郎	四十年 五月二十七日	〇六 〇六五
第一一四七號	第二八一五〇號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 桃谷政次郎 (被) 高木捨次郎	四十年 五月二十七日	〇六 〇六七
第一一四八號	第二八四八八號商標登 錄無效事件	一、商標法第二十條ニ準用セラ レタル特許法第三十條ハ商標 登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請 求シ得ル者ハ必シモ利害關係 人ニ限ラサルノ法意ナリ	(請) 桃谷政次郎 (被) 高木捨次郎	四十年 五月二十七日	〇六 〇六九

商標審決錄目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一二二七號	第一三三三九號登錄商標權利確認事件	一、凡ノ商品ヲ指示スル言語ハ其ノ起源ノ新舊如何ニ拘ラスハ世人ヨリ其ノ物ノ名稱トシテ認知セラル、ニ至ルトキハ即チ商品ノ普通名稱タルモノト云フヘシ	(請) 山邑太左衛門 (被) 三好虎之助	四月十五日	〇七
第一〇八三號	第二七〇五五號商標登錄無効事件		(請) 福島金馬 (被) 淺田美之助	六月十五日	〇七
第一一四一號	第二六九六八號商標登錄無効事件		(請) シー、モルトン 外一人 (被) 株式會社テトラ クーパー商會	七月十日	〇七
第一一五〇號	第二五一八〇號商標登錄無効事件		(請) 松澤常吉 (被) 野村外吉	七月十八日	〇七
第一一七一號	第二五六五七號商標登錄無効事件		(請) 伊藤章三 (被) 宇野八代三	七月二十三日	〇八
第一一八七號	第二三六七九號商標登錄無効事件		(請) 太田信義 (被) 太田繁次郎	七月二十三日	〇八
第一一六六號	第二八九三二號商標登錄無効事件		(請) 井村政勝 (被) 山田篤三	七月二十四日	〇八
第一二二八號	第二七三二五號商標登錄無効事件		(請) 伊東榮 (被) 宇野八代三	八月十七日	〇八

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一一三九號	第八〇九〇號商標登錄無効事件		(請) 前榮合資會社 (被) 合名會社綿茂商會	九月二十三日	〇九
第一一八〇號	第四二五七八號商標登錄願拒絕再査定不服事件		(請) ゴットリ、ブ、タ ウシツヒ	十月十四日	〇九
第一一九一號	第四三七五一號商標登錄願拒絕再査定不服事件		(請) 佐藤清助	十月十四日	〇九
第一一一四號	第二六〇二六號商標登錄無効事件		(請) ジョーティンマゼン、エ ン、コルバニ	十月十五日	〇九
第一一九八號	第二五三九五號商標登錄無効事件		(請) 岡本勝四郎 (被) 井上又次	十月二十二日	〇九
第一二二一號	第二三〇六二號商標登錄無効事件		(請) 合名會社ヨット、 エス、ステットレル	十月二十二日	〇九
第一一五八號	第一四九七七號商標登錄無効事件		(請) 合名會社ヨット、 エス、ステットレル	十月三十日	〇九
第一一五七號	第二二三五四號商標登錄無効事件	一、商標法第二條第三號ニハ第二條第四號ノ適用アル場合チ包含セサルモノナリ 二、商標法第二條第三號ニハ世人ヲ欺瞞スルノ虞アル商標トシテ其ノ使用ヲ指示シタルモノニシテ其ノ使用ヲ指示シタルニシテ其ノ意ヲ問フノ趣意ニアラス	(請) 合名會社ヨット、 エス、ステットレル (被) 上條長次郎	十一月十八日	〇九

商標審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一一八八號	第二四六六〇號登錄商標權利確認事件	一、權利確認ノ審判請求後未登錄商標ノ使用ヲ廢止スルモ商標專用權確認ノ審決ヲ爲ス必キニ至リタルモノト云フヲ得ス	(請) 太田 信義 (被) 太田 繁次郎	四月十八日	〇〇八
第一一九〇號	第二二三七六號登錄商標權利確認事件 (明治四十一年二月二十九日大審院判決一〇九頁參照)		(請) 毛利 元三郎 (被) 篠田 治七	四月二十五日	〇二二
第一二二〇號	第二九八三一號商標登錄無效事件		(請) 油利 吉兵衛 (被) 田中 惣太郎	四月二十六日	〇三三
第一二三七號	第二九一三一號商標登錄無效事件		(請) 安井 敬七郎 (被) 安井 敬七郎	四月二十七日	〇三五
第一二五六號	第三〇五一六號登錄商標權利確認事件		(請) 吳二川町魚市場株式會社 (被) 合資會社吳魚市場	四月二十八日	〇三八
第一一五五號	第二三〇〇七號商標登錄無效事件		(請) 渡邊 久八 (被) 平嶋 源三郎	四月十日	〇三〇
第八九五號	第一六七八九號登錄商標權利確認事件		(請) 中野 友道 (被) 三平株式會社	四月十一日	〇三二
第一二七一號	第四六四五二號商標登錄願拒絕再査定不服事件		(請) 島醬油製造株式會社	四月十六日	〇三四

第一二四六號	第二七五六一號商標登錄無效事件	(請) 伊豆ス、エンドコルツア リミテツト (被) エ、カノロン、エンドコム パニ、リリミテツト	四月二十四日	〇三七
第一二七三號	第一六五八一號登錄商標權利確認事件	(請) 正野 立三 (被) 奧田 利作	四月二十五日	〇三九

商標審決錄

自第八百二十七號至第八百五十號

大阪市西區九條町五十二番地ノ三三平株式會社取締役	請求人	平栗種吉
大阪市北區東梅田町二百八十番地三平株式會社取締役	請求人	岡本清忠
大阪市東區北久寶寺町一丁目六十一番屋敷三平株式會社取締役	請求人	香村文之助
大阪市北區堂島中二丁目百三十番屋敷三平株式會社取締役	請求人	津田寅次郎
東京市京橋區山城町十五番地特許代理業者辯護士	右代理人	太田資時
大阪市東區橫堀二丁目百三十三番屋敷特許代理業者	右代理人	宮原末太郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者	右代理人	淺村三郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者	右代理人	佐々木高吉
大阪市北區小松原町三百九十三番屋敷	被請求人	中野友道
大阪市西區江戶堀北通二丁目三十二番屋敷	被請求人	川瀬松之助
大阪市東區五町四丁目四十番屋敷	被請求人	松尾豐松
東京市神田區錦町一丁目二番地特許代理業者辯護士	右代理人	花井卓藏
大阪市東區今橋五丁目甲十番地特許代理業者	右代理人	竹內國敏
大阪市東區備後町二丁目十八番邸特許代理業者	右代理人	堤他彦

右平栗種吉、岡本清忠、香村文之助、津田寅次郎ヨリ中野友道、川瀬松之助、松尾豊松ニ對シ第一六七八二號乃至第一六七九〇號及第一七二六六號乃至第一七二七〇號商標登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂ケル處

請求人代理人申立ノ要旨ハ第一六七八二號乃至第一六七九〇號及第一七二六六號乃至第一七二七〇號登録商標ハ無効ナリト審決相成度其理由ハ第一六七八二號乃至第一六七九〇號登録商標ハ明治三十四年十一月十九日各種金屬製鈕釦ニ使用スル目的ヲ以テ登録ノ出願ヲナシ同三十五年一月三十一日登録ヲ受ケ又第一七二六六號乃至第一七二七〇號登録商標ハ同様ノ目的ヲ以テ明治三十五年二月十九日登録ヲ出願シ同年五月七日登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ右登録商標ト同一ナル商標ハ請求人等カ重役タル三平株式會社ニ於テ明治二十二年九月以降引續キ同一商品ニ使用シタルモノナルヲ以テ本件登録商標ハ商標法第二條第五號ニ該當スルモノナリ又被請求人ハ凡ソ審判ヲ請求シ得ル者ハ利害關係ヲ有スル直接ノ當事者タルコトヲ要スト主張スルモ商標ノ無効審判ハ利害關係者タルト否トヲ問ハス何人ト雖トモ之ヲ請求スルコトヲ得ルモノナリト云フニ在リテ其主張ヲ確ムルタメ甲第一號乃至第十三號證ヲ提出シ又證人周慶鐘喬捷卿北村安之助松宮ノブ筒井新兵衛等ノ證言ヲ援用セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ第一、請求人等ノ申立ニ依レハ本件登録商標ト同一ナル商標ヲ使用シタル者ハ三平株式會社ニシテ請求人自身ニ非ス從テ請求人等ハ本件請求ニ關シテハ直接ノ利害關係者ニ非サルヲ以テ訴權ヲ有セス第二、三平株式會社ハ曾テ本件登録商標ト同一ナル圖形ヲ意匠トシテ金屬製鈕釦ニ使用シタルコト有ルモ之ヲ商標トシテ使用シタル事實及ヒ本件商標登録以前ヨリ使用シタル事實ヲ認メサルヲ以テ本件登録商標ハ商標法第二條第五號ニ該當スルモノニ非スト云フニ在リテ其主張ヲ確ムルタメ乙第一號證乃至第六號證ヲ提出シ又證人川瀬與三郎朱永嘉張秀

岩ノ證言ヲ援用セリ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ハ請求人等ハ本件係争商標ニ何等ノ關係ヲ有セス關係ナクシテ無効ヲ主張シ得ヘキモノニアラサルカ故ニ審判ヲ請求スル權利ナシト主張スルモ凡ソ商標登録ヲ無効トスルタメ審判ヲ請求シ得ル者ハ必スシモ直接ノ利害關係アル者ニ限ラサル法意ナルコトハ商標法第二十條ニ依リ商標ニ關シテ準用セラレタル特許法第二十九條ニ於テ權利確認ノ審判請求者ヲ利害關係人ニ限リタルニ拘ラス同シク準用セラレタル同法第三十條ニ於テハ「特許ヲ受ケタル發明第二十條ニ該當スルコトヲ發見シタル者ハ其特許ヲ無効トスルタメ特許局ニ審判ヲ請求スルコトヲ得」ト規定シ請求人ノ資格ニ何等ノ制限ヲ加ヘサルヲ以テ見ルモ明カナリ故ニ此點ニ關スル被請求人ノ主張ハ理由ナキモノトス依テ本案ニ就テ審理スルニ請求人ノ提出セル甲第十一號證ノ鈕釦カ三平株式會社ノ製造ニ係ルコト及ヒ該鈕釦ノ表面ニ押刻セル圖形カ本件登録商標ノ圖形ト同一ナルコトニ付テハ當事者間ニ争ナキ所ナリ而シテ争點ハ第一、該鈕釦ノ表面ニ押刻セル圖形ハ鈕釦ノ意匠ナルヤ將タ商標ナルヤ第二、該鈕釦ト同様ナル鈕釦ヲ三平株式會社ニ於テ商標法施行前ヨリ引續キ製造シタルヤ否ヤニ在リ争點ノ第一ニ關シテ被請求人ノ商品ノ圖形ノ商標ナルヤ意匠ナルヤヲ判斷スルニハ主觀的ニ觀察セサルヘカラスト主張セリ然レトモ凡ソ商品ノ圖形カ意匠ナルヤ商標ナルヤヲ判斷スルニハ必スシモ使用者ノ意思ヲ以テ判斷スヘキモノニ非ス蓋シ假令ヒ使用者ハ之ヲ商標トシテ使用スルモ世人ノ見テ以テ商標ト爲サルニ於テハ他人ノ商標ト撞着スルモノニ非ス又使用者カ意匠トシテ之ヲ使用スルモ世人カ見テ以テ意匠ト爲サスシテ却テ以テ商標ト爲スニ於テハ他人ノ商標ト撞着スルニ至ルヘシ故ニ使用者ノ意思ノミヲ以テ之ヲ決スルコトヲ得ス而シテ甲第十一號證ノ鈕釦ノ表面ニ押刻セル圖形ヲ虚心平氣ニ觀察スルトキハ何人モ之ヲ鈕釦ノ裝飾的意匠ト見ルヘク之ヲ

商標トシテ觀察スル者ハ殆ト之レ有ラサルヘシ請求人ノ援用セル證人喬捷卿ノ證言ニ「右五箇ハ日本ノ所謂模様ニアラスシテ記號ナリ」トアルモ所謂記號カ我商標ノ義ナルヤ否ヤ明カナラス請求人ハ又證人周慶鐘喬捷卿北村安之助松宮ノブ筒井新兵衛等ノ證言ヲ援用シテ「證人等ハ該圖形ヲ以テ商品ヲ區別スル目印トシテ取引シタル旨供述シ居ルヲ以テ(中略)三平株式會社カ本件所爭ノ商標ヲ使用シタルコト爭フヘカラス」ト主張セルモ商品ノ意匠モ亦取引上往々商品區別ノ目印トナルコトアルヲ以テ商品ヲ區別スル目印タリシ事實ヲ以テ商標ナリト斷スルコトヲ得ス之ヲ要スルニ甲第十一號證鈕ノ表面ニ押刻セル圖形ハ商標トシテ使用シタルモノト見ルコトヲ得サルヲ以テ他ノ爭點ノ説明ヲ待タスシテ本件請求ノ理由ナキコト明カ也

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ申立相立タス

明治三十八年五月二十七日於特許局

審判長 特許局長 磯部正春
 特許局事務官 中松盛雄
 特許局事務官 杉本貞治郎

第八百九十九號

長崎市築町四十四番戶
 東京市京橋區銀座二丁目十四番地特許代理業者

請求人 西脇金三郎
 右代理人 岩田宙造

長崎市萬屋町四十六番戶
 大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番屋敷特許代理業者

被請求人 池田澄
 右代理人 廣井代藏

右西脇金三郎ヨリ池田澄ニ對シ第一三〇八一號登錄商標專用權確認ノ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ六神丸ト稱スル賣藥ニ附シテ使用スル壺板ニ度脩六神丸ナル文字ヲ記載セル模様ノ左右兩側ニ騰龍各一箇及ヒ其上部ニ蝙蝠一箇ノ模様ヲ附シタル圖様ハ請求人カ有スル登錄第一三〇八一號商標ト類似シ互ニ撞着スルヲ以テ被請求人ハ右ノ圖様ヲ使用ス可ラスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ使用スル圖様ト請求人ノ登錄商標トハ悉ク相一致セル圖様ニ非スト雖モ被請求人カ使用スル圖様中ノ主要ナル部分ハ中央ノ度脩六神丸ナル文字ヲ記載セル壺形ニシテ何人ト雖モ一見シテ着目スヘキトコロニ係リ其他ノ部分ハ附屬的ノモノニシテ何人モ注意スヘキ部分ニアラス即チ被請求人ノ圖様ノ主ナル部分ハ請求人ノ商標ト殆ト全然一致スルトコロニシテ此兩者カ互ニ相類似シ撞着スルモノナリト云フニ在リ然シテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證及ヒ甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人ハ審判請求書副本ノ送附ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

仍テ一切ノ書類及ヒ證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ガ六神丸ナル賣藥ニ對シテ第一三〇八一號登錄商標ヲ使用シ其登錄商標ハ壺形ニ度脩六神丸ト記載シタルモノナルコトハ甲第一號證ニ依リテ知ルニ足ル又被請求人カ同一商品ニ對シテ使用スル商標ハ二頭ノ龍カ相對向シ臺上ノ壺ヲ擁シテ立チ上リタル圖ヲ描キ其壺ニ度脩六神丸ト書シタルモノナルコトハ被請求人以外ニ於テ作成シタルモノト認ムヘカラス甲第二號證ニ依リテ知ルヲ得ヘシ然ルニ今此兩商標ヲ比較スルニ被請求人ノ使用スル商標ハ壺形ニ度脩六神丸ト書シタル部分ノ外二頭ノ龍カ相對向シ

臺上ノ壺ヲ擁シテ立チ上リタルカ如キ部分アルヲ以テ請求人ノ登録商標ト相異ナルノ觀アリト雖モ右商標モ畢竟壺形ニ度脩六神丸ト記載シタル部分ヲ以テ商標ノ主要部ト見ルヘキモノニシテ二頭ノ龍カ對向スルノ狀ハ全ク右ニ附屬スル裝飾的部分ト認ムルヲ以テ至當ナリトス故ニ被請求人カ使用スル商標ニ請求人ノ登録商標第一三〇八一號ト其主ナル部分ヲ同ウシ之ト撞着スルヲ免レサルモノトス右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ使用スル甲第二號證ニ示ス商標ハ第二三〇八一號登録商標ノ專用權ニ撞着スルモノトス
明治三十八年七月二十九日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局事務官 松 田 啓 太郎
特許局事務官 宮 内 國 太 郎

第九百號

兵庫縣明石郡明石町ノ内東本町七十二番邸

請 求 人 鷲 尾 長 三

右鷲尾長三ヨリ願書番號第三二 八八一號商標登録願ニ對スル特許局審査官平山英三、同松岡壽ノ拒絕査定ニ服セス審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ審査官ハ第一八六二二號商標登録ハ審判ノ結果無効ナリト審決セラレタルヲ以テ該商標ニ依リ本願ヲ拒絕スヘキモノニ非スト審定シタルニ拘ラス更ニ論旨ヲ變更シ増本藤次郎所有第一四四三二號登録商標ニ三箇ノ鍵ヲ交叉シタル圓形ニ欄裝飾圓形及ヒ文字ヲ加ヘテ成ルモノアリテ本願商標

ハ鍵ノ二箇ナルト三箇ナルト他附帶圓形及ヒ文字ニ幾分ノ差點アリト雖主要部分ニ於テハ著シク交叉セル鍵ヲ畫ケルノミナラス周圍圓形全體同様ナルカ爲一見酷似セルカ故ニ類似商標ナリト論結セルモ本願商標ハ請求人所有第九七一二號二鍵印商標ニ僅少ノ變更ヲ加ヘテ成ルモノニシテ主要部分ハ二鍵印ナルヲ以テ敢テ他人ノ登録商標ト衝突スヘキ理由ナシ殊ニ第一四四三二號商標ハ三鍵印ナレハ圓形ヨリ生スル自然ノ稱呼ハ甲ハ二鍵印ニシテ乙ハ三鍵印ナルヲ以テ市場ニ於テ混同誤認スルノ憂ナキノミナラス請求人所有第九七一二號商標アルニ拘ハラス後ニ増本藤次郎ニ第一四四三二號商標ノ登録ヲ許シタル審查先例ニ依リテモ請求人ノ論旨ハ正確ナルヲ證スルニ足ル假ニ再審査官ノ論旨ニ服從スルモ商標法第二十條及ヒ特許法第二十一條第二十三條ノ審査官ノ拒絕ノ査定ニ不服ナルモノハ之ニ對シ再査定ヲ請求シ得ルコトヲ規定シタルモノナルカ故ニ法ノ精神ヨリ見レハ再審査ハ初審査ノ當否如何ヲ審究スヘキモノニシテ此範圍ヲ脱出シテ初審査官カ査定セシ以外ノ新事實ニ論及シ得ヘキ理由ナク初審査官カ本願商標ヲ登録第一八六二二號ニ類似セルモノト認メタル以上ハ再審査官ハ單ニ其當否如何ヲ査定スレハ足ルモノナルニ拘ラス更ニ初審ニ於テ毫モ認メサリシ第一四四三二號商標ニ類似セリトノ論旨ヲ主張セントスルハ請求人カ不服ヲ唱ヘサル點ニ對シ審究シタルモノニシテ不當ナリト云フニ在リ

審査官答辯ノ要領ハ本件商標ト増本藤次郎所有第一四四三二號登録商標トハ之ヲ對比シテ仔細ニ觀察ヲ遂クルトキハ其鍵ノ圖ノ二箇ナルト三箇ナルトノ如キ差點ナキニ非スト雖モ既ニ再査定書ニ於テ説明シタル如ク兩商標共ニ等シク交叉セル鍵ヲ畫ケルモノナルノミナラス其周圍ニ屬スル圓形ハ全然同様ノモノナルカ故ニ商標全體上ニ於テ一見酷似相紛ハシキ觀ヲ呈スルモノトス從テ前述ノ如キ對比的細差アルニ拘ラス時ト處トヲ異ニセル離隔的觀察ニ於テハ互ニ混同誤認セラル、虞アルモノト云ハサルヲ得ス而シテ又稱呼モ殊更ニ之ヲ區別セントスレハ請求人ノ主張セル如ク二鍵印又ハ三鍵印ト稱スルヲ得ヘ

シト雖商標上ヨリ生スル自然ノ稱呼トシテ孰レモ單ニ鍵印ト稱スヘキハ至當ナルヲ以テ稱呼上ニ於テモ亦判然タル區別アルモノト認ムルヲ得ス故ニ右兩商標ハ何レノ點ヨリ見ルモ彼此類似商標タルヲ免レサルモノトス又請求人ハ再審査ハ初審査ノ當否ヲ審究スヘキモノニシテ初審査以外ノ新事實ニ論及スルヲ得スト主張スト雖再審査ハ初査定ニ不服ニシテ再審査ヲ請求スル者アルトキ其事件ニ付テ更ニ審査スルモノニシテ單ニ初査定ノ當否ノミヲ判定スルモノニ非サルハ特許法第二十三條ノ規定ニ依テ明白ナリトス故ニ本件商標ヲ以テ初査定ノ認メサリシ所ノ第一四四三二號登錄商標ニ類似セリト査定シタルハ不當ニ非スト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第三二八八一號登錄出願商標ハ二箇ノ鍵ヲ交叉シ其三面ヲ波狀ノ布形ニテ圍ミ上部ニ王冠ヲ置キタル圖ヲ畫キ之ニ欄及文字ヲ加ヘテ成ルモノナリ請求人ハ再審査ハ初審査ノ當否如何ヲ審究スヘキモノニシテ初審査官カ査定セシ以外ノ新事實ニ論及シ得ヘキ理由ナシトシ從テ初審査ニ於テ毫モ認メサリシ第一四四三二號登錄商標ニ類似ストノ再審査査定ハ不當ナリト主張スト雖再審査ハ同一事件ニ付テ新ニ審査ヲ遂ケ其登錄スヘキヤ否ヤヲ決シ單ニ初査定ノ當否ノミヲ審究スルモノニ非サルカ故ニ本件再審査ニ於テ更ニ第一四四三二號登錄商標ヲ援用シタルハ不當ニ非ス今本願商標ト増本藤次郎ノ有スル第一四四三二號登錄商標トヲ對比スルニ鍵ノ數、附帶圖形及文字ニ差異アリト雖兩商標共ニ交叉セル鍵ヲ畫キ其周欄ニ屬スル圖形モ亦全ク同一ニシテ商標全體ノ觀察上彼此相類似スルモノナリト謂ハサルヘカラス殊ニ兩商標ノ稱呼ニ付テ見ルモ共ニ鍵印ト稱スヘキハ寧ロ自然ニシテ強テ二鍵印若ハ三鍵印ト稱スルカ如キ區別アルモノト認ムルコトヲ得ス其他請求人ハ自己ノ有スル第九七一號ニ付テ主張スル所アリト雖本件ニ屬スルヲ以テ説明スルノ要ナシ要之本願商標ハ増本藤次郎ノ有スル第一四四三二號登錄商標ト類

似ニシテ同シク摺附木ニ使用スルモノナルヲ以テ商標法第二條第四號ニ該當シ登錄ヲ受クルコトヲ得サルモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治三十八年八月十九日於特許局

審判長 特許局長 磯部正春
特許局事務官 中松盛雄
特許局事務官 宮内國太郎

第九百十五號

神戸市京町七十五番地支那輸出入銀行株式會社代表者

請求人

ハルトウイヒ、ペー

東京市京橋區明石町四十八番地特許代理業者

代理人

ヘルマン、ケスレル

右ハルトウイヒ、ペーテルヨリ願書番號第三五〇二九號商標登錄願ニ對スル特許局審査官平山英三ノ拒絶再査定ニ服セス審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ右登錄願ニ對スル審査官ノ登錄拒絶再査定ハ不當ナリト審決セラレ度其理由ハ本願商標ハ第二二六三一號登錄商標ト外觀上判然タル差異アルニ拘ハラヌ審査官ハ單ニ獅子ナル稱呼ノ點ニ於テ類似商標ト認メ商標法第二條第四號ニ該當スルモノトシテ本願ノ登錄ヲ拒絶シタルハ違法ナリ又本願商標上日本人ノ注意ヲ惹クヘキ重要ノ部分ハ光線ヲ發射スル太陽ニシテ獅子ハ複章ナリ然ルニ審査官

ハ獅子ノミヲ重要ト認メ重要ノ一部タル光線ヲ發射スル太陽ヲ除別シタルハ要部ニ關スル法則ヲ不當ニ適用シタルモノナリト云フニ在リ

審査官答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決セラレ度其理由ハ凡ソ商標ノ類否ハ單ニ外觀ニ於テノミナラス其稱呼ニ於テモ之ヲ判斷セサルヘカラス而シテ本件商標ト第二二六三二號登錄商標トハ一ハ圓形ニシテ一ハ文字ナレハ固ヨリ外觀上差異アリト雖モ何レモ「ライオン」即チ獅子ヲ表ハシタルモノナルヲ以テ二者同一稱呼ヲ生スヘキハ當然ナリトス又請求人ハ本件商標上重要ノ部分ハ光線ヲ發射スル太陽ナリト主張スレトモ商標見本ニ就テ觀察スルニ其最モ顯著ニシテ世人ノ注目ヲ惹クヘキ主要部分ハ獅子ノ圖ニ外ナラスシテ太陽ハ唯其附帶ノ圖形ニ屬シ比較的顯著ノ觀ニ乏シキモノトス從テ商品取引上稱呼ニ上ルヘキモノモ亦獅子ノ圖ナルカ故ニ即チ其稱呼ノ點ニ於テ第二二六三二號登錄商標ト類似タルヲ免レス依テ本件商標ヲ商標法第二條第四號ニ該當スルモノト査定シタルハ不當ニアラスト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ハ本願商標ト第二二六三二號登錄商標ト外觀上判然タル差異アルニ拘ハラス審査官カ單ニ稱呼ノ點ヨリ類似商標ト認メ商標法第二條第四號ニ該當スルモノナリトシテ本願ノ登錄ヲ拒絕シタルハ違法ナリト云フト雖モ「商標法第二條第四號ニ所謂類似トハ單ニ外觀上ノ類似ノミヲ指稱スルモノニアラス商標上生スヘキ自然ノ稱呼ニシテ同一若クハ類似ナルモノモ亦類似商標ナリ」ト云フヲ得ヘシ今本願商標ニ就キ之ヲ案スルニ其圖形タルヤ光線ヲ發射スル太陽ノ上ニ獅子ヲ畫ケルモノニ係リ而シテ此圖形中ニ於テ請求人ハ日本人ノ注意ヲ惹クヘキ重要ノ部分ハ光線ヲ發射スル太陽ナリト云フト雖モ審査官ノ稱スルカ如ク本願商標中比較的顯著ニシテ最モ世人ノ注目ヲ惹クヘキ重要部分ハ獅子ノ圖形ニ外ナラス而シ

テ獅子ヲ指シテ「ライオン」ト稱スルハ極メテ普通ナルカ故ニ「ライオン」ナル歐文字ヨリ成ル第二二六三二號登錄商標ト其稱呼同一ニ歸シ結局本願商標ト前記第二二六三二號登錄商標トハ類似商標タルヲ免カレス隨テ審査官カ商標法第二條第四號ニ依リ登錄ヲ與フヘカラサルモノト査定シタルハ不當ニアラス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人ノ申立相立タス

明治三十八年十月五日於特許局

審判長 特許局長 磯部正春
特許局事務官 松田啓太郎
特許局事務官 宮内國太郎

第八百八十三號

岐阜縣養老郡高田町大字高田百十八番戶 請求人 土屋八十郎
東京市本郷區号町二丁目八番地 右代理人 鈴木昌平
岐阜縣養老郡高田町大字高田百四十二番戶 被請求人 山田良造
右土屋八十郎ヨリ山田良造ニ對シ第一六六九號登錄商標ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ請求人ノ有スル登錄第七二六號商標ハ第六十七類味淋ニ使用スルモノニシテ明治十

八年十月九日登録ヲ受ケ同三十三年十月十一日更ニ續用登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ被請求人カ明治三十四年十二月二十六日登録ヲ受ケ同一味淋ニ使用セル第一六六九號商標ハ請求人ノ登録ヲ受ケタル商標ニ類似セルノミナラス恰モ同一ノ商標ニシテ請求人ノ主點トスル瀧ノ圖中ニ養老酒ノ文字ヲ顯シ其要部ヲ其儘模造セリ被請求人ハ豎橢圓形ヲ橫橢圓形トシ養老酒ノ金文字ヲ黑色トシ瀑布ノ黑色ヲ青色トシ孝子ヲ勅使トシテ類似ニ非スト云フト雖モ請求人カ商標ノ要部タル瀑布ノ圖ニ養老酒ノ文字ヲ僅々着色ヲ變シテ類似ニ非スト云フト得ンヤ其他ニ附隨シタル古歌一首又ハ皇國名産ノ文字等ハ商標ノ主眼ニ非サレハ之ヲ論スルノ要ナシト云フニ在リ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ハ商標ト被請求人ノ商標トハ酷似スト云フモ請求人ノ商標ハ豎橢圓形ニシテ被請求人ノ分ハ橫橢圓形ナリ請求人ノ分ハ全面黑色ヲ帶ヒ瀑布中皆豎線ニシテ其中ニ養老酒ノ金細文字ヲ以テ最大主眼トシ一人ノ孝子岩上ニ柴ヲ敷キ座セリ被請求人ノ分ハ全面白地ニテ瀑布ノ側ニ養老酒ト大字ヲ墨ニテ書シ瀑布モ青色ノ豎線ニシテ其中ニ青色雲母形點々アリテ勅使ハ立チ從者ハ座シ二人ノ束帶シアルモノアリ加之瀑布ノ内ニ古歌一首アリ且ツ赤字ニテ皇國名産ノ字アリテ別商標タルコトハ何人モ一見シテ判別スルヲ得ルモノニシテ只養老酒ノ三字ノミ同一ナルモ其文字モ大小ノ區別アルノミナラス養老酒ノ文字ハ請求人ノ専有スヘキモノニアラスシテ往昔ヨリ稱シ來リタルモノナレハ清酒ニ櫻正宗菊正宗等ノ商標アルト同一ナリ商標ノ同一ナルヤ否ヲ識別スルニハ商標ノ全體ニ就テ熟視セサルヲ得ス請求人ハ瀑布ノ圖ニ養老酒ノ文字カ自己ノ商標ノ要部ニシテ被請求人ノ商標ハ之ニ類似セリト云フモ被請求人ノ商標ハ養老酒ノ大文字ト二人ノ官人トカ其要部ニシテ瀑布ノ如キハ其要部ニ非ス又養老酒ノ文字ハ前述ノ如ク往昔ヨリ一般ニ用ヒラレ請求人カ獨專スヘキモノニアラサルヲ以テ決シテ請求人ノ商標ヲ摸擬シタルモノニ非スト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第一六六九號登録商標ハ中央ニ養老酒ト書下シ瀑布ノ下ニ束帶ノ人物カ一人ノ從者ヲ伴ヒテ立チタル圖ヲ描キ尙之ニ欄及文字ヲ加ヘテ成ルモノニシテ明治三十四年七月十二日ノ出願ニ係リ同年十二月二十六日登録ヲ受ケ味淋ニ使用スルモノナリ之ヲ請求人ノ登録商標第七二六號ト對比スルニ養老酒ノ文字ハ兩者共ニ之アリト雖被請求人ノ主張スルカ如ク遠キ以前ヨリ使用セラレ請求人カ出願ノ當時ニ於テハ既ニ普通名稱トシテ行ハレタリト認ムルヲ以テ至當トスヘキヲ以テ請求人ノ専有ニ委スヘキ限ニ在ラズ請求人ハ又瀑布ノ圖形ヲ取リテ兩者ノ類似ヲ論スト雖養老酒ニ添フルニ瀑布ノ圖形ヲ以テスルハ配合上普通ノコトニ屬シ之ヲ以テ類似ナリト斷定スヘキニ非ス更ニ兩商標全體ニ亘リテ觀察スルニ細差ナル點ハ之ヲ措キ比較的著明ノ觀ヲ呈スルモノハ第一六六九號登録商標ニ於テハ束帶ノ勅使ト瀑布トニシテ第七二六號登録商標ニ於テハ樵夫ト瀑布トナリト謂ハサルヘカラス要スルニ兩商標ハ對比の觀察ハ勿論離隔的觀察ニ於テモ標識上ノ差別存在シ混同誤認スルノ虞アルモノト認メ難ク從テ本件第一六六九號登録商標ヲ以テ商標法第二條第四號ニ該當スルモノトシ無効トナスコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治三十八年十月七日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局事務官 秋 山 清
 特許局事務官 宮 内 國 太 郎

第八百二十五號

名古屋市宮町九十九番戶化粧品製造販賣業
 東京市京橋區山城町十四番地特許代理業者
 東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者
 大阪市東區備後町二丁目三十五番屋敷小間物及化粧品商
 大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番屋敷特許代理業者

請求人 土屋國次郎
 右代理人 太田資時
 右代理人 稻木繁太郎
 被請求人 金子爲次郎
 右代理人 廣井代藏

右土屋國次郎ヨリ金子爲次郎ニ對シ第一五七六七號商標登録ヲ其指定商品中洗液ニ對シ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ有スル第一五七六七號商標ノ登録ハ其指定商品中洗液ニ對シ無効ナリト審決セラレ度其理由ハ被請求人ハ商標法施行細則第十五條第六十一類ノ洗液外六商品ニ對シ明治三十三年十二月二十日商標登録ノ出願ヲ爲シ同三十四年五月十日第一五七六七號ノ商標登録ヲ受ケタルモノナリト雖モ請求人ハ右ト全然同一ノ文字及圖形ヨリ成ル商標ヲ同一商品タル洗液ニ對シ明治二十九年ヨリ既ニ使用シ居リタルモノニシテ右登録商標ハ商標法第二條第五號ノ規定ニ該當スルモノナルカ故ニ同第十條ニ依リ其登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出シ且書類取寄ノ申立ヲ爲セリ

被請求人陳述ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決セラレ度其理由ハ明治二十九年以來洗液ヲ販賣シ之ニ本件被請求人ノ登録商標ト同一ノ商標ヲ附シタリト云フト雖モ果シテ洗液ヲ販賣シタルヤ否

ヤ又本件登録商標ト同一商標ヲ附シタルヤ否ヤニ付テハ之カ事實ヲ確ムルニ足ルモノナシ請求人ハ其商品及被請求人ノ商品並ニ請求人カ愛知縣應ニ提出シタル賣藥部外藥劑營業ノ免許ニ關シ差出シタル處方ノ記載ト一致セシメント試ミツ、アリト雖モ之ニ關スル甲第二號證ニハ單ニ「キメチンキ」ト記シアルノミニシテ洗液ノ文字ヲ見ス又甲第二號證乃至第六號證ノ如キハ異點ヲ掩ヒ同點ノミヲ舉示シテ強テ請求人ノ商品ト被請求人ノ商品トノ一致ヲ計レルモノニ外ナラス殊ニ之等各證記載ノ商品ハ請求人カ商標法施行前ヨリ販賣セル商品ト同一ナルヤ否ヤ及愛知縣應ニ差出シタル處方ノ記載ト同一ノ商品ヲ爾後引續キ販賣シタルヤ否ヤヲ證シ得ルノ力ナキノミナラス免許出願人石井國三郎ト本件請求人トハ同一人ト認ムル能ハス虛疑カ然ラスンハ事實ノ聯絡ヲ缺クモノニシテ到底商標法施行以前ヨリ同一ノ商標ヲ同一商品ニ對シ引續キ使用シタリト云フヲ得ス一步ヲ讓リテ請求人カ明治二十九年ヨリ「キメチンキ」ナル商標ヲ洗液ニ對シ使用シタリトスルモ單ニ「キメチンキ」ナル文字ノミノ使用ハ本件登録商標ト同一ナル商標ヲ使用シタリト認ムル能ハス依テ以テ本件登録商標ヲ無効トスルヲ得ス次ニ又請求人ハ明治三十七年五月九日附ヲ以テ本件審判請求書ヲ提出シタルモノニシテ其請求書ハ同年五月十二日附ヲ以テ特許局ヨリ被請求人ニ送附セラレ其翌日到達セルモノナリ又被請求人ノ第一五七六七號登録商標ハ明治三十四年五月十日附ヲ以テ登録セラレタルモノニシテ商標法第十條第二十條特許法第三十條ニ依ル登録無効ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘキ期間ハ明治三十七年五月九日迄ナルハ明ナリ而シテ登録無効ノ請求ノ效力ハ相手方タル被請求人ニ請求ノ到達シタルトキヨリ發生スヘキモノナルコトハ訴訟法理上爭ナキ處ニ係ルカ故ニ前記登録無効請求ヲナスコトヲ得ヘキ豫定期間ヲ經過シタル以後ニ於テ被請求人ニ送達セラレタル本件請求ハ商標法第十條第二十條特許法第三十條ノ要件ヲ完備セサルモノニシテ形式上不適法ニ屬シ從テ請求ノ效力ナキモノナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人カ明治二十九年即チ商標法施行前ヨリ被請求人ノ本件登録商標ト同一若クハ類似ナル商標ヲ同一商品タル洗液ニ對シ使用シタルヤ否ヤニ付キ審案スルニ請求人提出ノ甲第二號證及請求人ノ申請ニ基キ愛知縣廳ヨリ送附ヲ受ケタル營業出願一件書類ニ依レハ請求人ハ明治二十九年九月二十一日化粧品製造販賣願ヲ愛知縣廳ニ提出シ同年九月二十四日第七二號賣藥規則外藥劑免許證ヲ以テ免許ヲ受ケタルモノニシテ又其願書面ニ記スル商品ノ名稱配合品及分量製方用方功用ノ各項及附屬トシテ添附セル能書ノ記載スルトコロニ依レハ其製造販賣スルコロノ商品ハ洗液ナルコト又其商品ニハ中央ニ片假名ニテ「キメチンキ」其右側ニいろをしろくし左側ニつやをだすと各平假名ニテ記載シ櫻ノ花葉ヲ以テ裝飾セル縦長方形ノ欄ト其上方ニ羅馬字ヲ以テ「キメチンキ」ト記入シタル小形布片欄及下方ニ發賣元土屋商店ト記入セル横長小長方形欄トヨリ成ル圖形ヲ以テ商標トナセルモノヲ使用スルモノニ係ルコトヲ認メ得ヘク而シテ尙前記一件書類ニ依リ請求人カ其後明治二十九年十月二十八日改姓ヲ届出テ明治三十一年十二月五日轉居ヲ届出テ、同シク免許證ノ訂正ヲ得タル事實ヲモ認知シ得ヘシ依テ請求人ハ明治二十九年ヨリ洗液ノ製造販賣ヲ爲シ又之ニ對シテ右ニ記セルカ如キ被請求人ノ有スル本件登録商標ト類似スル商標ヲ使用シ而シテ又反對ノ證據ナキ以上ハ以後其營業ヲ繼續シタルモノナルヘキヲ認定スルヲ以テ至當ナリトス被請求人ハ本件請求人ト免許出願人石井國三郎トハ同一人ナルヲ認ムル能ハスト主張スルモ右ハ既ニ說明セルカ如ク免許出願人ハ其後土屋ト改姓届出ヲナシ更ニ又其後ニ至リテ土屋國次郎ノ名義ヲ以テ請求人ノ現住地タル名古屋市宮町九拾九番戸ヘ轉住ノ届出ヲナシタル點ヨリ見レハ請求人土屋國次郎ハ右營業出願人ト同一人ナリト認ムヘキモノトス被請求人ハ又請求人カ單ニ「キメチンキ」ノ文字ノミノ使用ニ係ルモノトセハ本件登録商標ト同一ナル商標ヲ使用シタルト認ムル能ハスト云フモ此點ニ關シテモ亦

右ニ説明セルカ如ク請求人カ營業出願ノ當初ニ於テ愛知縣廳ニ提出セル書類中ノ能書ニ依リ其ノ商標ハ單ニ「キメチンキ」ナル文字ノミニアラスシテ「キメチンキ」ナル文字及其他ヨリ成ル一種ノ圖形タルニ係リ被請求人ノ有スル第一五七六七號登録商標ト相類似セルモノナルコトヲ知ルニ足ルヘシ被請求人ハ更ニ又登録無効ノ請求ノ效力ハ相手方タル被請求人ニ請求ノ到達シタル時ヨリ發生スヘキモノナルカ故ニ本件審判請求書ノ被請求人ニ到達シタル日明治三十七年五月十三日ハ本件商標登録ノ日タル明治三十四年五月十日ヨリ滿三年ノ期間經過後ニ屬シ審判請求ノ效力ナキモノナリト云フト雖モ審判請求ノ效力ハ請求人ヨリ審判請求書ヲ特許局ニ提出シタル時ニ於テ既ニ發生スルモノナルカ故ニ本件ニ在テハ請求人カ審判請求書ヲ特許局ニ提出シタル明治二十七年五月九日ヲ以テ審判請求ノ效力ヲ發生シ而シテ此時期タルヤ前記商標登録ノ日ヨリ尙未タ滿三年以內ニ屬シ本件登録商標モ亦此時ニ於テ商標法第十條但書ノ規定ニ該當セサルモノトス之ヲ要スルニ本件登録商標ハ其指定商品中洗液ニ對シテハ請求人カ商標法施行前ヨリ同一商品ニ對シ使用シタル商標ト相類似シ從テ商標法第二條第五號ノ規定ニ該當シテ登録ヲ受クルヲ得サルモノニ屬シ而シテ又請求人ノ審判請求カ其登録後三年ヲ經サルノ時期內ニ屬スルカ故ニ同第十條ニ依リ無効タルヘキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第一五七六七號商標登録ハ其指定商品中洗液ニ對シ無効トス

明治三十八年十月十一日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局事務官 松 田 啓 太郎
 特許局事務官 宮 内 國 太 郎

第九百二十一號

山口縣玖珂郡柳井町大字柳井津町四百番屋敷
山口縣玖珂郡柳井町大字柳井津町第二百八十八番地

請求人 佐川 延治
高田 傳兵衛

右未成年者ニ付親權ヲ行フ母

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者
山口縣玖珂郡古閑作村第九十八番屋敷

右代理人 淺村 三郎
右代理人 佐々木 高吉
被請求人 稻田市 太郎

右佐川延治、高田傳兵衛親權者高田ミチヨリ稻田市太郎ニ對シ第二〇六八九號登錄商標ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタル處

請求後該登錄商標ハ被請求人稻田市太郎ヨリ其專用權拋棄ノ届出ヲ爲シタルヲ以テ審判請求ノ目的物ハ既ニ消滅セシモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
本件請求ハ之ヲ却下ス

明治三十八年十一月八日於特許局

審判長 特許局長 磯部 正春
特許局事務官 松田 啓太郎

特許局事務官 秋山 清

第九百二十號

北米合衆國ペンシルヴァニア州フアラアルフヤ郡フアラアルフヤ市チニスナット街十二番機械業同國法人

請求人

ゼ、エス、エス、ホワイト、
デンタル、マニユフアクチ
ユリソグ、コンパニー

右會社々長

右代表者

ヘンリー、エム、リュ
ウイス

右代理人

岸 清

東京市京橋區宗十郎一番地特許代理業者
東京市京橋區明石町四十八番地獨逸國臣民特許代理業者

被請求人

ヘルマン、ケスレル

右ゼ、エス、エス、ホワイト、デンタル、マニユフアクチユリソグ、コンパニー代表者ヘンリー、エム、リュウイスヨリヘルマン、ケスレル、ニ對シ第二〇三五八號商標登錄ノ中醫術用器械ニ付キ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ第二〇三五八號商標ノ登錄ハ醫術用器械ニ對シテハ無効トストノ審決相成度其理由ハ請求會社ハ醫療器械一切ノ製造販賣ヲ目的トスル法人ニシテ其販賣商品ニ對シテハ自己會社ノ製出ニ係ルコトヲ表示スル爲メ社名ノ頭文字タル S. S. ニ WHELAN ノ頭文字ナル Wヲ結合シタル商標ヲ附シテ廣ク世界各地ニ輸出發賣シ日本ニ向ヒテモ明治二十六年以來引續キ各商人及齒科醫等ノ注文ニ基キ各種ノ醫療器械ヲ輸出發賣シ此等商品ハ何レモ前記商標ヲ附シタル儘廣ク日本内地ニ於テ販賣頒布セラレタルヲ以テ爾來該商標ハ苟クモ同業者及專門醫家間ニ於テハ之ヲ熟知セサルモノナキノ盛況ヲ維持シ

來リタルモノニシテ即チ商標法施行以前ヨリ使用シ來リタルノ事實ナリトス然ルニ被請求人ハ明治三十六年十月二日醫術用器械外ニ商品ニ使用スル爲メ亦S字二箇トWトノ結合ニ成ル商標ノ登録ヲ出願シ其登録ヲ受ケタリ依テ右登録商標ヲ請求人ノ使用商標ニ對比スルニ其唱呼ノ同一ナルハ勿論形狀亦同一ノ字形ヲ同様ニ結合シタルモノニ屬シ兩者全然同一ノ商標タリ已ニ其商標同一ニシテ加フルニ請求人ノ使用商標ハ商標法施行以前ヨリ使用シ來リタルノ事實前述スル所ノ如クナレハ被請求人ノ登録商標ノ内其醫術用器械ニ關スル部分ニ在リテハ商標法第二條第五號ニ依リ之カ登録ヲ受クルコトヲ得サルモノニシテ同法第十條ニ依リ無効ナリ且又被請求人ハ請求人ノ社名ハ六字ヨリ成ル即チゼ、エス、エス、ホワイトデンタル、マニユファクチュリング、コンパニ被請求人ノ社名ハ三字ヨリ成ル即チシーメンス、シユッケルト、ヴェルケニシテ請求人ノ社名頭文字ト全ク何等ノ關係ヲ有セス決シテ類似商標ニアラスト辯明スルモ元來被請求人ハ個人ニシテ會社ニアラサルヲ以テ被請求人カ會社ナリトシテノ抗辯ハ全然其理由ナシト云フニ在リテ以上ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ請求ハ却下相成度其理由ハ被請求人ノ登録ノ商標ハ請求人ノ社名頭文字トハ何等ノ關係ヲ有セサルヲ以テ答辯スルノ必要ヲ認メス 請求人ノ社名ハ六字ヨリ成ル即チゼ、エス、エス、ホワイトデンタル、マニユファクチュリング、コンパニ被請求人ノ社名ハ三字ヨリ成ル即チシーメンス、シユッケルト、ヴェルケニシテ類似商標ニアラサルコト明白ナリ請求人カ提出セル書類及證據ニ依リ請求人カ商標法施行以前ヨリ齒科醫術器械ニ對シテWナル文字ヲ商標トシテ使用シ來リタルノ事實ハ之ヲ確認スルモ本件ニ關スル商標ヲ比較スルニ文字ハ類似ニシテ其結合ハ差異アリ稱呼上一ハエス、エス、ホ、一ハシ、シ、ウニシテ且又其指定商品ニモ差異アリ請求人ハ齒科醫術器械ニ對シテ專ラ使用シ來リ被請求人ハ電氣會社主ニシテ其製品電氣作用醫術器械ニ重キヲ置キ使用シ來リタルモノナレハ決

シテ類似商標ト見做スコト能ハス仍テ請求人カ商標法第二條第五號及第十條ニ依リテ無効ヲ請求スルハ毫モ其理由ナキモノナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件登録商標ト請求人使用ノ商標トハ共ニS.S.Wナル三字ノ結合ヨリ成リ其字形及結合ノ點ニ於テ些少ノ差異アリト雖モ緻密ナル注意ヲ以テ對比觀察スルニアラサルヨリハ覺知シ得ヘカラサル迄ニ酷似セルヲ以テ兩者類似ノ商標ナリト認定ス而シテ請求人使用ノ商標ハ商標法施行以前即チ明治二十六年以後引續キ請求人ニ於テ其製作販賣セル齒科醫術器械ニ對シテ使用シ且其製品ハ前記商標ヲ附シタル儘廣ク日本内地ニ於テ販賣頒布セラレ來リタルノ事實ハ被請求人ニ於テモ確認スル所ナレハ本件登録商標ノ中齒科醫術器械ニ關スル部分ノ登録ハ商標法第二條第五號及同法第十條ニ依リ無効タルヘキモノトス請求人ハ醫療器械全部ニ對シ其登録無効ナリト主張スト雖モ請求人カ商標法施行以前ヨリ日本内地ニ於テ其商標ヲ使用シ來リタルノ事實ハ齒科醫術器械ニ付キテハ認ムヘキモ其他ノ醫術器械ニ付キテハ其事實ノ認ムヘキモノナシ從テ右齒科以外ノ醫術器械ニ關スル請求人ノ主張ハ理由ナキモノトス其他双方ニ於テ論争スル所アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第二〇三五八號商標ノ登録ハ齒科醫術器械ニ限り無効トス

明治三十八年十一月十日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局事務官 松 田 啓 太郎
 特許局事務官 秋 山 清

第八百八十九號

大阪市北區西堀川町百三十七番屋敷石油商
 大阪市東區島町一丁目五十五番屋敷特許代理業者
 亞米利加合衆國ペンシルバニア州ヒラデルフピア
 フ市米國法人石油業
 橫濱市山下町八番地米國人民
 東京市京橋區采女町十五番地特許代理業者

請 求 人 江 藤 岩 彦
 右 代 理 人 川 口 秀 臣
 被 請 求 人 セ、アトランチック、レフアイニング、コムパニー
 右 代 理 人 ジュリアス、ウヰリア
 ム、コブマン
 右 代 理 人 秋 山 源 藏

右江藤岩彦ヨリゼ、アトランチック、レフアイニング、コムパニーニ對シ第二一六四四號商標登録ヲ無効ト
 スル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第二一六四六號商標登録ハ無効ナリト審決セラレ度其理由ハ右第二一六四六號登録
 商標ハ疊ニ明治三十年三月十三日附ヲ以テ被請求人ヨリ登録出願ヲ爲シ審査官ヨリ右ハ圓形欄及會社名
 地名代理店商品ノ品質效能並ニ容器ノ特許年月日ヲ指示スルニ止マル普通ノ文字ヨリ成ルモノニシテ其
 配置結合毫モ特別著明ノ外觀ヲ呈セス商標タルヘキ資格ナキモノナリトシテ拒絕査定ヲ受ケ再審査ヲ請
 求シタルモ同一理由ニ依リ再ヒ拒絕セラレ更ニ審判ヲ請求シタルモ之亦特別著明ノ外觀ヲ有セサルモノ
 ニシテ審査官カ登録ヲ拒絕スヘキモノト査定シタルハ不當ニアラスト審決セラレ終ニ登録ヲ受クル能ハ
 サリシトコロノモノト毫モ差異ナキモノニシテ本件登録商標ハ其一語一句ニ就テハ商品ノ產地ヲ表彰シ
 又ハ品位品質ヲ商業上慣用ノ文字ニ依リ表彰シ及會社名等ヲ普通ノ書體ニ依リ記載スルモノナルヲ以テ
 商標法第二條第六號ニ該當シ又其全體ノ結合ヨリ見ルトキハ商業上普通ニ行ハル、廣告等ノ意匠ニ過キ

スシテ毫モ特別著明ノ外觀ナキモノナルヲ以テ商標法第二條第七號ニ該當シ同第十條ニ依リ其登録ハ無
 效タルヘキモノナリ況ンヤ同一文字及同一配置ヨリ成ル全然同一ノ商標カ右ノ如ク疊ニ登録ヲ受クヘキ
 資格ナキモノトシテ一旦確定セラレタル事實アルニ拘ハラス其後再ヒ之レカ審査ヲ爲シタルカ如キハ一
 事不再理ノ原則ニ背反シタルモノナルニ於テオヤト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決セラレ度其ノ理由ハ本件登録商標ハ商標法第
 二條第六號第七號ニ該當シ無効タルヘキモノナリト主張スルモ右ハ其配置結合ノ全體ニ於テ自ラ一種ノ
 圓形ヲ表現スルモノナルヲ以テ特別著明ノ外觀ナキモノト謂フヲ得サルハ勿論商業上慣用ノ文字ヲ以テ
 單ニ會社名若クハ產地品質品位等ヲ表彰シタルモノニアラサルヲ以テ適法ニシテ有效ナルモノナリ請求
 人ハ又一事不再理ノ原則ヲ援用シテ先キノ審査ヲ違法ナルカ如ク主張スルモ該原則ハ同一事件ニ適用ス
 ヘキモノニシテ似テ非ナル事件ニ適用スヘキモノニアラスト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 請求人ハ第二一六四六號登録商標ハ其商標中ノ一語一句ニ就テハ商品ノ產地ヲ表彰シ又ハ品位品質ヲ商
 業上慣用ノ文字ニ依リ表彰シ及會社名等ヲ普通ノ書體ニ依リ記載セルモノニシテ又其全體ノ結合ヨリ見
 レハ商業上普通ニ行ハル、廣告等ノ意匠ニ過キスシテ毫モ特別著明ノ外觀ナキモノナリト主張スト雖モ
 今該登録商標ニ就キ之ヲ審案スルニ右ハ中央ニ羅馬字ヲ以テ水平ニ「レフアイニング、コムパニー」ト記
 シ其上下ニ稍弧狀ニ相對セシメテ「アトランチック」フイラデルフイア」ト分記シ又其各間ニ水平ニ「ト
 ー」及「マーク」ト記入シ其下部ニ各左下方ヨリ右上方ニ向ヒ「ワージェン」フリユー」エンドコー」ト三
 箇ニ分記シタルモノヲ駢置シ更ニ其下部ニ稍離隔シテ水平ニ「エゼンツ」ト記シ又其下部ニ羅馬字及亞刺
 比亞數字ニテ水平ニ「パット、シヤン二四一八八二」メソウドマヌフアクチュアルカン」ト二段ニ記載

シ更ニ前記一體ノ中央部分ノ兩側ニ小圓形各一箇ヲ書キ左方ノ圓形内ニハ羅馬字ヲ以テ中央ニ「フアイヤ」ト比較的太キ花文字ヲ記シ其上下ニハ圓ノ内面ニ沿ヒテ恰モ其字ヲ包含セルカ如ク上ニ「ハイ」下ニ「テスト」ト記入シ又右方ニ圓形内ニハ左方圓形内ノ文字ト同様ノ排列及字體ニテ中央ニ「エンド」其上ニ「セーフ」其下ニ「レライアブル」ト記入シタルモノニシテ要スルニ羅馬字體ニテ記セル數行ノ文字ヲ不規律ニ配置シ其左右ニ二箇ノ圓形欄ヲ設ケ其欄内ニ均シク羅馬字ニテ記セル文字ヲ記入セル全體ノ結合ヲ以テ一ノ商標ト爲スモノナリ故ニ其一字一句ニ就キ之ヲ視ル時ハ商品ノ品位品質會社名等ノ記載ニ屬スルモノ多キニ居ルモ斯ク其各部ヲ分別シテ之ヲ觀察シ商標法第二條第六號ニ該當スルモノナリト云フヲ得ス又本件商標ハ前述ノ如ク數行ノ文字ノ記入アルニ箇ノ圓形欄トヨリ成ルカ故ニ之ヲ欄地紋等ト同一視シ商標法第二條第七號ニ所謂特別著明ノ外觀ナキモノト謂フヲ得サルナリ請求人ハ本件登錄商標ト同一ノ商標カ曇ニ明治三十年三月十三日附ヲ以テ請求人ヨリ登錄出願セラレ査定再査定及審判ヲ經テ終ニ登錄ヲ受クヘキ資格ナキモノト確定セラレタルニ拘ラス其後審査官カ再ヒ之ヲ受理シ審査ヲ爲シタルハ一事不再理ノ原則ニ背反スルモノナリト云フト雖モ一事不再理ノ原則ヲ主張センニハ後ニ提起セラレタル事件ト前ニ裁判確定シタル事件ト當事者双方ノ同一ナルヘキハ勿論其目的ノ事物モ亦全ク同一ナルコトヲ要ス然ルニ曇ニ審決セラレタルモノハ商標登錄出願人タリシ本件被請求人ヨリ審査官ノ登錄拒絕査定ニ服セス其審査ノ當ヲ得タルヤ否ヤニ就キ之カ審判ヲ受ケタルモノニ係リ其後本件登錄商標ノ登錄出願ニ當リ審査官ノ之ヲ受理シ審査シタルトハ全ク別箇ノ事件ニ屬シ此ヲ以テ一事不再理ノ原則ニ背反スルモノナリト云フヲ得サルナリ其他當事者双方ニ於テ陳辯スルトコロアリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ說明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治三十八年十一月十一日於特許局

審判長 特許局長 磯部正春
 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局事務官 宮内國太郎

第八百九十五號

大阪市東區淡路町四丁目二十四番屋敷	請求人	中野友道
大阪市東區瓦町四丁目四十番屋敷	請求人	松尾豊松
大阪市西區江戸堀北通二丁目三十二番屋敷	請求人	川瀬松之助
大阪市東區備後町二丁目十八番屋敷特許代理業者	右代理人	堤他彦
大阪市東區今橋五丁目甲第十番屋敷特許代理業者	右代理人	竹内國敏
東京市神田區錦町一丁目二番地辯護士	右代理人	花井卓藏
大阪市北區梅田町二千九百十番屋敷	被請求人	三平株式會社
東京市京橋區山城町十五番地特許代理業者	右代理人	津田寅次郎
東京市北區老松町三丁目十五番地特許代理業者	右代理人	太田資時
	右代理人	宮原末太郎

右代表者取締役

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 淺村 三郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 佐々木 高吉

右中野友道、松尾豊松、川瀬松之助ヨリ三平株式會社ニ對シ第一六七八九號登錄商標權利確認ノ爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ被請求人カ製造ノ金屬製鈕ニ現ハセル圖形及稱呼ハ請求人等カ所有セル第一六七八九號登錄商標ト撞着ストノ審決相成度其理由ハ第一六七八九號登錄商標ハ貴金屬色鈕他三種ニ使用スル目的ヲ以テ明治三十五年一月三十一日登錄ヲ受ケタルモノニ係リ爾後請求人等ニ於テ其ノ專用權ヲ讓受ケ之ヲ鈕ニ印刷シ又ハ包裝、容器ニ使用シ來レリ然ルニ被請求人三平株式會社ハ右登錄商標ト同一ナル圖形ヲ同一商品ニ使用シ販賣セルヲ以テ之レカ使用ノ廢止ヲ請求スルモ被請求人ハ答フルニ本會社ハ商標トシテ使用スルニアラス本社ノ製品ニハ別ニ其ノ裏面ニ於テ自己ノ商標ヲ印刷シアリテ表面ノ圖形ハ鈕ノ意匠ノ模樣トシテ使用スルモノナレハ毫モ請求人ヲ侵害スル所ナシト主張シテ請求人ノ求ニ應セス然リト雖モ本件登錄商標ト被請求人使用ノ圖形トハ單リ圖形自體ニ於テ同一ナルノミナラス圖形ヨリ生スル稱呼及其ノ使用ノ方法亦同一ニシテ客觀的觀察ニ於テハ一見何人モ商標ナリト認識ス可ク主觀的觀察ニ於テモ既ニ被請求人自ラ之ヲ商標ナリト認識スルトコロナルハ先キニ第八三七號乃至第八五〇號商標登錄無效審判事件ニ於ケル被請求人ノ主張ニ徴シテ明ナレハ則兩箇ノ商標撞着スルモノナリト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證並甲第二號證ヲ提出シ且援用事項申立書ヲ提出シ第八三〇號乃至第八五〇號審判事件記録ノ一部ヲ摘示シテ證據ニ援用セリ
被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其理由ハ被請求人カ從來金屬製鈕ニ印刷シテ使用セル圖形ト本件登錄商標ト同一圖形タルコトハ爭ヒナキモ之ヲ商標ナリトシ商標權ノ侵害ヲ來ス

モノナリトスル請求人ノ主張ハ之ヲ認メヌ被請求人ハ遠ク明治二十二年以來今日迄引續キ本件圖形ヲ金屬製鈕ニ印刷シ使用販賣シ來リタルモノニシテ而モ其ノ圖形ハ既ニ第八三七號乃至第八五〇號商標登錄無效審判事件ニ於テ商標ニアラスト審決セラレ居ルモノナルニ請求人ニ於テ之ヲ商標ナリトシ從テ相互商標ノ撞着ヲ來スモノナリト主張スルハ理由ナキノミナラス前記審判事件ニ於テ請求人ハ本件係爭圖形ヲ以テ意匠ナリトシ商標ニアラスト自認主張シ居ルニ今ニ於テ商標權ノ確認ヲ請求スルハ其ノ意ヲ得スト云フニ在リテ其申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證乃至乙第七號證ヲ提出セリ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件被請求人カ製造スル鈕ノ模樣ト請求人ノ所有スル第一六七八九號登錄商標ト相一致スルコトハ爭ヒナキ所ナリ然ルニ被請求人ノ鈕ノ模樣ハ從來普通ニ行ハル、意匠ヲ製品ニ應用シタルモノニシテ偶々請求人カ其ノ登錄ヲ受ケタル商標ヲ商品自體ニ現ハシテ使用シタルニヨリ之ト外觀ヲ同シクスルニ至リタルニ過キス故ニ被請求人ノ鈕ノ模樣ハ意匠ノ應用ニシテ商標法第二十條特許法第二十九條ニ依リ登錄商標權利確認ノ審判ヲ請求シ得ヘキ場合ハ二箇以上ノ登錄商標互ニ撞着シ又ハ登錄商標ト登錄ヲ受ケサル商標ト撞着スル場合ニ限ルノ法意ナレハ既ニ被請求人ノ鈕ノ模樣ヲ商標ノ使用ニアラスト認定スル以上ハ本件商標ハ前兩條ノ規定以外ニ屬スルモノト云ハサルヲ得ス其ノ他双方論爭スル所ハ審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ與ヘス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人ノ申立相立タス

明治三十八年十一月十一日於特許局

審判長 特許局長 磯部 正春

特許局事務官 中松盛雄
特許局事務官 秋山清

第九百七號

兵庫縣神戸市相生町四丁目九十一番邸ノ一
大阪市東區北濱五丁目六十四番邸特許代理業者
兵庫縣神戸市多聞通二丁目三十四番屋敷

請求人 前田竹松
代理人 淺村三郎
被請求人 吉井熊造

右前田竹造ヨリ吉井熊造ニ對シ第一七三三六號商標登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一七三三六號商標登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人所有ノ前記登録商標ハ一頭ノ熊カ左向シ右方ヲ顧ミ歩行セル圖形ニシテ明治三十五年四月十八日ノ出願ニ係リ同年五月十九日化粧石鹼洗濯石鹼ニ對シテ其ノ登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ請求人カ本年三月十六日布引石鹼合資會社ヨリ讓受ケタル石鹼ニ專用スル第一七〇一二號登録商標ハ二線ノ橢圓形欄内ニ右向シテ左方ヲ顧ミ歩行セル一頭ノ熊ヲ現ハシ其ノ腹部ニNSノ文字ヲ重記セル圖形ニシテ之ヲ被請求人ノ商標ト對照スルトキハ些少ノ差異アリト雖モ其ノ主張點ハ熊ノ圖ニ外ナラスシテ從テ其稱呼モ同一ナレハ之ヲ類似商標ト云ハサルヘカラス然ルニ前記請求人ノ讓受登録商標ハ其ノ初メ明治三十五年三月二十六日附ヲ以テ登録セラレタルモノナルカ故ニ被請求人所有ノ第一七三三六號登録商標ハ商標法第二條第四號ニ該當シ其登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其理由ハ(一)請求人ノ第一七〇一二號登録商標ト被請求人ノ第一七三三六號登録商標トヲ比較對照スルニ其ノ圖形タル熊ノ行進ノ方向ニ於テ異ナリ次ニ其ノ腹部ニ羅馬字ヲ存スル點ニ於テ異ナリ更ニ二線圓形欄ノ有無ニ付キ異ナルカ故ニ決シテ市場ニ於ケル混同誤認ヲ生スルモノニアラスシテ兩商標ハ其ノ圖形上相類似スルモノト云フヲ得ス(二)請求人ノ登録商標ノ自然ニ生スル稱呼ハ其商標ニ表示セルカ如キ布引石鹼タルハ疑ヲ容レサル所ニシテ又被請求人ノ商標ハ其登録受權ノ當時ヨリ發賣セル商標ノ彩色ヲ金色トナセルカ爲メ金熊印トシテ稱呼セラレツ、アルモノナルカ故ニ兩商標ハ稱呼ニ於テ一致セサルモノナリ(三)請求人ハ布引石鹼合資會社ヨリ明治三十八年二月二日其ノ登録商標ヲ讓受ケタリトシ同年三月十六日其ノ登録ヲ得タルモノナリト雖其讓渡契約ハ單ニ商標ノミニ係リ營業ハ毫モ之ヲ讓渡セルコトナシ蓋シ會社カ營業ヲ讓渡ス時ハ當然其ノ目的ヲ失フカ故ニ解散セサルヘカラサルモ右會社ハ同年二月二十五日ニ至リ總社員ノ同意ニヨリ解散ノ決議ヲナセシ點ヨリ觀察スルモ其ノ契約ハ商標法第六條ニ違反セル虛偽ノ契約ナルコト明ニシテ當然無効ノモノナリ此無効ノ契約ニ基ク讓受登録ハ其ノ效力ヲ生スルコトナク專用權ハ依然布引石鹼合資會社ニ留存シタリシモノナリ然ルニ同會社ハ明治三十八年二月二十五日解散セルカ故ニ其ノ解散ニ依リテ右登録商標ノ專用權ハ喪失ニ歸セルモノニシテ結局前記商標ノ專用權ハ喪失セルカ少クモ請求人ノ專用權ヲ有スルモノニアラサルカ故ニ請求人ノ本件請求ハ理由ナキモノナリト云フニ在リ
依テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ハ請求人ノ有スル第一七〇一二號登録商標ト被請求人ノ有スル第一七三三六號登録商標ト其ノ圖形相類似スルモノニアラスト云フト雖モ第一七〇一二號登録商標ハ一頭ノ熊カ右向シテ左方ヲ顧ミ歩行スルモノヲ畫キ其ノ腹部ニ羅馬字ヲ以テNSノ文字ヲ重記シ熊ノ周圍ニハ二線ノ橢圓形欄ヲ畫シ其二

線ノ間ニ上ニ登録商標下ニ布引石鹼ト記シタルモノニ係リ又第一七三三六號登録商標ハ同シク一頭ノ熊カ左向シテ右方ヲ顧ミ歩行スルノ圖形ニ係ルモノニシテ其ノ著明ナル部分ハ共ニ熊ノ圖形ニ外ナラサルヲ以テ兩商標ハ外觀上混同誤認ノ虞アルヲ免レス次ニ稱呼上ニ於テモ被請求人ノ登録商標ハ布引石鹼ト稱スヘク被請求人ノ商標ハ其ノ彩色ノ金色ナルカ故ニ金熊印ト呼フヘキモノニシテ其稱呼相一致セスト云フト雖モ兩商標ハ右ニ説明セル如ク既ニ熊ノ圖形ヲ以テ其ノ主要部分トナセル上ハ商標上自然ニ生スヘキ稱呼モ亦何レモ熊印ト云フヘキモノニシテ同一稱呼ヲ有スルモノトス其ノ彩色如何ノ如キハ法律上何等ノ規定ナク何人モ其ノ商標ニ任意ノ色彩ヲ使用スルコトヲ得ルモノニ屬スルカ故ニ之ニ依リテ其ノ稱呼上ニ區別アリト云フヲ得サルナリ乃チ兩商標ハ其ノ圖形稱呼共ニ相類似シ類似商標タルヲ免カレサルモノト云フヘシ被請求人ハ又本件審判請求ノ當時ニ於テ第一七〇一二號登録商標專用權ハ喪失セルカ少クトモ請求人ノ專用權ヲ有スルモノニアラサルヲ以テ請求人ノ本件請求ハ其ノ理由ナキモノナリト云フト雖商標法第二條第四號ノ規定ハ類似商標ノ登録ヲ出願スルニ當リ既ニ一定ノ商標カ同一商品ニ對シテ登録セラレテ有效ニ現存シ又ハ登録失效後一年ヲ經過セサル時期内ニ屬スル上ハ後ノ商標ハ其登録ヲ受クルヲ得サルノ趣旨ニシテ本件第一七三三六號登録商標ノ登録ヲ出願セル明治三十五年四月十八日ニ於テ既ニ第一七〇一二號登録商標カ同一商品ニ對シテ登録セラレ且有效ニ存在セルモノナルコトハ被請求人ニ於テモ亦之ヲ爭ハサルトコロナルヲ以テ本件審判請求ノ當時ニ於テ第一七〇一二號登録商標專用權カ消滅ニ屬シタルモノナルヤ否又請求人ノ之ニ關シテ權利ヲ有スルヤ否ヤニ拘ハラヌ被請求人ノ登録商標ハ商標法第二條第四號ニ該當シタルモノニシテ同第十條ニ依リ其ノ登録ハ無効タルヘキモノナリ右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

明治三十八年十一月十一日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
 特許局事務官 松 田 啓 太郎
 特許局事務官 宮 内 國 太郎

第九百二十三號

北米合衆國紐育州紐育郡紐育市ウエ
 シー街四十六番地

東京市京橋區宗十郎町一番地特許代理業者
 東京市日本橋區馬喰町二丁目二番地

請 求 人 フランシス、シー、ブ
 ラオン
 右 代 理 人 岸 清 一
 被 請 求 人 篠 崎 又 兵 衛
 右 代 理 人 尾 崎 利 中

右フランシス、シー、ブラオン、ヨリ篠崎又兵衛ニ對シ第一七八四六號及第一七八四七號登録商標指定商品中「インキ」類萬年筆ペン軸ペン嘴ニ對スル登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタル處審理中被請求人篠崎又兵衛ヨリ前記商標指定商品中「インキ」類萬年筆「ペン」軸、「ペン」嘴ノ專用權ヲ拋棄シタルニヨリ本件請求ノ目的物ハ消滅セルモノトス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 本件ハ却下ス

明治三十八年十一月十一日於特許局

審判長 特許局長 磯部正春
 特許局事務官 秋山清
 特許局事務官 宮内國太郎

第九百二十七號

神戸市京町七十五番屋敷支那輸出入銀行株式會社

請求人 ハルトウイヒベーター

東京市京橋區明石町四十八番地特許代理業者

右代理人 ヘルマンケスレル

大阪市東區南久寶寺町二丁目百三十八番屋敷

被請求人 渡邊源兵衛

右請求人支那輸出入銀行株式會社ヨリ被請求人渡邊源兵衛ニ對シ第二三四七〇號商標登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ有スル第二三四七〇號商標ノ登録ハ第二類染料顔料及ヒ媒染料一切ニ對シテハ無効ナリト審決セラレ度其理由ハ被請求人ハ明治三十八年二月十日染料顔料及媒染料一切ニ使用スル爲メ螺旋形輪内部中央ニ蝙蝠ヲ顯ハシタルヲ置キ其左右ヨリ双翼ヲ有スル各一人ノ裸體ノ童兒カ立膝ニテ相對向シ兩手ニテ螺旋形輪ヲ擁シタル圖ヨリ成ル商標ノ登録ヲ出願シ同年五月三十日第二三四七〇號商標登録ヲ受ケタリ然ルニ右ハ請求會社ノ登録商標タル木葉輪ノ内部中央ニ獨乙國徽章ヲ顯ハシタルモノヲ置キ其ノ左右ヨリ双翼ヲ有スル各一人ノ裸體ノ童兒カ立膝ニテ相對向シ兩手ニテ該木葉輪ヲ擁シタル圖及ヒ樹ノ枝ヲ交叉シ布片ヲ以テ結束シタル圖形ト其ノ形狀ニ於テ全然類似商標タルモノナリ加

之請求人ノ商標タルヤ從來廣ク世界各地ニ使用シ特ニ日本ニ於テハ數十年前ヨリ頒布セラレタルモノニ屬スルヲ以テ被請求人ノ登録商標ハ商標法第二條第四號第五號ニ該當シ其ノ登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決セラレ度其ノ理由ハ請求人ノ有スル第八七九二號登録商標ハ木葉輪ノ内部中央ニ獨乙國徽章ヲ顯ハシタルモノヲ置キ其ノ左右ヨリ双翼ヲ有スル各一人ノ裸體ノ童兒カ立膝ニテ相對向シ兩手ニテ該木葉輪ヲ擁シタル圖及ヒ樹ノ枝ヲ交叉シ布片ヲ以テ結束シ其間ニ牡鹿ノ首ヲ顯ハシタルモノニテ該商標中最モ顯著ニシテ主要ト認ムヘキモノハ木葉輪ノ内部中央ニ置ケル獨乙國ノ徽章部分ナリ然ルニ被請求人所有ノ第二三四七〇號登録商標ハ螺旋形橫楕圓内ノ中央ニ兩翼ヲ擴ケタル蝙蝠ヲ顯ハシ其ノ左右ヨリ兩翼ノ各一人ノ裸體ノ童兒カ立膝ニテ各々右手ヲ以テ橢圓欄ノ上部ナル幅廣キ布形欄ヲ持チ左手ニテ橢圓欄ヲ持チタル圖及ヒ左右兩邊並ニ下邊ニハ唐草形ノ模様ヲ置キ右部上隅ト左部下隅トニ五重圓圈内壽字紋ヲ置キタルモノニシテ該商標中最モ顯著ニシテ主要ト認ムヘキモノハ螺旋形楕圓内ノ中央ニ兩翼ヲ擴ケタル蝙蝠ヲ顯ハシタル部分ナリ以上兩商標中兩翼ヲ有スル裸體童兒ノ圖形タケハ双方類似スト雖モ中央ナル主要部分ハ勿論其ノ他ノ附記ニ於テモ全然相異スルヲ以テ商標全形ノ上ニ於テ毫モ類似スルモノニアラス從テ類似商標ト認ムルヲ得サルモノナリ又請求人カ數十年前ヨリ我國ニ於テ該商標ニ依テ販賣頒布セリト云フニ關シテ毫モ證左ノ見ルヘキモノナシト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 被請求人ハ請求人所有ノ第八七九二號登録商標中其ノ最顯著ニシテ主要ト認ムヘキモノハ木葉輪ノ内部中央ニ於ケル獨乙國ノ徽章ニシテ被請求人ノ有スル第二三四七〇號登録商標中其ノ最顯著ニシテ主要ト

認ムヘキモノハ螺旋形橢圓内ノ中央ニ兩翼ヲ擴ケタル蝙蝠ナリト云フト雖モ今兩商標ニ就キ之ヲ按スルニ請求人ノ第八七九二號登錄商標ハ其ノ明細書ニ依レハ二線ヨリ成ル横長方形ノ線ト線トノ間ニ葉様ノモノヲ排列シ以テ周欄トナシ該周欄ノ上下ニハ欄ノ面上ニ兩端ニ漏斗狀ノモノヲ附シタル小欄ヲ設ケ下部ノ小欄内ニハ「ホンコン、エンド、ハンブルヒ」ト羅馬字ニテ記入シ欄内中央ニハ木葉輪ノ内部中央ニ獨乙國徽章ヲ顯ハシタルモノヲ置キ其ノ左右ヨリ兩翼ヲ有スル各一人ノ裸體ノ童兒カ立膝ニテ相對向シ兩手ニテ該木葉輪ヲ擁シタル様ヲ畫キ又欄内左右ニハ一線ヲ以テ縦長ノ區劃ヲ設ケ其ノ右方ニハ樹ノ枝ヲ交叉シ布片ヲ以テ結束シ其ノ間ニ牡鹿ノ首ヲ顯ハシタルモノヲ置キタルモノニシテ該商標中外觀著明ニシテ世人ノ注目ヲ惹キ以テ其ノ重要部分ト認ムヘキモノハ兩翼ヲ有スル各一人ノ裸體ノ童兒カ左右ヨリ立膝ニテ相對向シ兩手ニテ其ノ中間ニ存在スル一箇ノ木葉輪ヲ擁シ其ノ木葉輪ノ内部ニ獨乙國ノ徽章ヲ顯ハシタル圖形全體ニ外ナラス又被請求人ノ第三四七〇號登錄商標ハ同シク二線ヨリ成ル横長方形ヲ以テ其ノ周欄トナシ欄内中央ニハ螺旋形横橢圓欄ノ内部中央ニ兩翼ヲ擴ケタル蝙蝠ヲ顯ハシタルモノヲ置キ蝙蝠ノ上ニ「レヂスタード」下ニ「トレド、マート」ト羅馬字ニテ記入シ橢圓欄ノ左右ヨリハ兩翼ヲ有スル各一人ノ裸體ノ童兒カ立膝ニテ相對向シ右手ヲ以テ橢圓欄ノ上部ナル幅廣キ布形欄ヲ持テ左手ニテ橢圓欄ヲ持テタル圖形ヲ畫キ更ニ其ノ左右兩邊並ニ下邊ニ唐草形ノ模様ヲ右部上隅ト左部下隅トニ五重圓圈内ニ壽字紋アルヲ畫キタルモノニテ此ノ商標中外觀著明ニシテ世人ノ注目ヲ惹キ以テ其重要部分ト認ムヘキモノハ同シク兩翼ヲ有スル各一人ノ裸體ノ童兒カ左右ヨリ立膝ニテ相對向シ右手ヲ以テ其ノ中間ニ畫キタル螺旋形横橢圓欄ノ上部ナル幅廣キ布形欄ヲ持テ左手ニテ橢圓欄ヲ擁シ其ノ橢圓欄ノ内部ニハ兩翼ヲ擴ケタル蝙蝠ヲ畫キタル圖形全體ニ在リト云フヘシ而シテ右ニ商標ノ前記重要部分中兩翼ヲ有スル裸體童兒ノ相對向スル圖形ハ全ク相一致シ木葉輪及ヒ螺旋形橢圓欄ハ離隔的觀察ニ於テハ相

類似シ又其ノ中央ニ現ハシタル獨乙國徽章ト兩翼ヲ擴ケタル蝙蝠ノ圖形トハ對比上差別アリト雖モ獨乙國徽章モ其ノ主要部分ハ黑鷲ノ兩翼ヲ擴ケタル圖形ヨリ成ルヲ以テ兩商標ハ其全體ノ觀察上世人ノ混同誤認ヲ免カレサルモノニシテ類似商標ナリト云ハサルヘカラス然リ而シテ第八七九二號登錄商標ハ染料顔料一切ニ對シテ明治三十年五月六日之カ登錄ヲ受ケ又第三四七〇號登錄商標ハ染料顔料及ヒ媒染料一切ニ對シテ明治三十八年二月十日登錄ヲ出願シ同五月三十日其ノ登錄ヲ受ケタルモノナルヲ以テ右染料顔料ニ對シテハ被請求人ノ第三四七〇號登錄商標ハ商標法第二條第四號ノ規定ニ該當シ同第十條ニ依リ無効タルヘキモノナリ

其他双方ニ於テ申立ツルトコロアリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ説明セス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第三四七〇號商標登錄ハ染料顔料ニ對シ無効トス

明治三十八年十一月十一日於特許局

審判長 特許局長 磯部 正春
特許局事務官 松田 啓太郎
特許局事務官 宮内 國太郎

第九百四十二號

滋賀縣蒲生郡日野町大字村井二百二十番屋敷種物商 請求人 吉村 源兵衛
大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番屋敷特許代理業者 右代理人 廣井 代藏

滋賀縣蒲生郡日野町大字村井四十五番屋敷種物商

被請求人 野澤源太郎

右吉村源兵衛ヨリ野澤源太郎ニ對シ第五〇三五號登錄商標權利確認ノ爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ被請求人カ種子ニ使用スル商標(甲第十號乃至甲第十九號)即チ方形欄内ニ光線ヲ發射セル太陽ヲ描キ之ニ種源、日出商標ト記シ富士山ノ圖及ヒ附記ノ文字ヲ加ヘタル商標ハ請求人ノ所有スル第五〇三五號登錄商標ノ專用權ニ屬スルモノト審決相成度其理由ハ請求人ハ諸種ノ種子ニ對シ使用スル爲メ方形欄内ニ光線ヲ發射セル太陽ノ圖形ヲ描キ其光線上ニ種源ト記シ之ニ附記ノ文字ヲ加ヘタル商標ニ付明治二十六年七月十二日第五〇三五號商標ノ登錄ヲ受ケ爾來引續キ之ヲ使用セリ然ルニ被請求人ハ殆ント之ト同一ナル前記甲第十號證乃至甲第十九號證ノ商標ヲ商品袋廣告紙等ニ表ハシ同種ノ商品ニ對シ使用スルヲ以テ請求人ノ信用ヲ毀損シ損害ヲ加フルコト尠カラズ被請求人ハ文字ノ異同、富士山ノ圖形ノ有無ニ依リ兩者同一ノ商標ニアラスト主張スルモ文字ノ差異ハ附記ノ部分ニ止マリ主要ナル文字ニ及ハス富士山ノ圖形ハ單一ノ小部分ニ止マリ仔細ニ熟視スルニアラサレハ之ヲ發見スルコトヲ得ヌ要スルニ兩者其要部タル種源ノ二字及太陽ノ圖形ニ於テ相一致シ之ヲ全體ノ上ヨリ觀察スルニ一見同一ニシテ殆ト差別ヲ認メ難ク又其稱呼モ同一ナレハ兩者類似ノ商標ナリト云ハサルヲ得ヌ又被請求人ハ種源ノ文字ハ自己ノ營業名ト氏名トヨリ採リタルモノナルカ故ニ之ニヨリテ商標ノ類似ヲ來スコトナキカ如ク主張スト雖モ縱令語源ヲ如何ナル點ニ求メタリトスルモ之ヲ商標トシテ使用シ爲メニ他ノ商標ト類似スルニ至リテハ商標權ノ撞着ヲ來スヘキハ明カナリト云フニ在リテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第十九號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ請求ハ不當ナリ其理由ハ請求人ノ所有セル第五〇三五號登錄商標ハ方形區劃内ニ太陽ヲ描キ登錄商標中央ニ元祖ト割書ニナシ下部ニ種源トアリテ太陽光線ハ上ヨリ下ニ發射セリ然ルニ被請求人ノ使用スル商標ハ方形同一ナルモ日出ノ下ニ富士山ヲ描キ日出商標トシテ中央ハ本家ノ割書ヲ入レ種源ト記スルニ種ノ字ハ日出光線ノ上部ニ源ノ字ハ富士山ノ圖形中ニ記シアレハ何人ノ誤認ヲモ來スコトナシ被請求人ハ決シテ請求人ノ權利アル商標ヲ模擬シタルニアラス唯旭ニ山ヲ描キ自己ノ營業モ亦斯ノ如キ勢ヒニテ隆盛ニ至ランコトヲ希望スルノ意ニ出テタルニ外ナラス請求人ハ之ヲ以テ單一ノ小部分ノ差異ニ過キストシ其主要ノ部分ハ光線ヲ發射セル太陽ノ圖形ト種源ノ文字ナレハ全體ノ上ヨリ觀察シテ一見同一ノモノナリト主張スト雖モ兩者其差アルハ前述スルトコロノ如ク而カモ種源ナル文字ハ各自其名ノ頭字ヲ採用シ稱呼ヲ記スルニ外ナラサレハ之レカ爲メ權利侵害等ニ影響ヲ來スヘキニアラス即チ文字ニ於テハ日出ト登錄ノ差元祖ト本家トノ差アリ書體ハ楷書ヲ以テシ偶種源ノ二字ハ書體同一ナルモ此ハ是被請求人ノ屋號ト本名ナレハ當然表ハスヘキ文字ニシテ敢テ怪ムニ足ラサルノミナラス其一方ハ太陽ノ下部ニ接續記入シ一方ハ太陽ノ上下ニ二文字ヲ離隔シ各其位置ヲ異ニシテ渾テ同一ナラス殊ニ富士山ノ圖形ハ商標中根底ヲ定ムル第一要部ニ之ヲ描キ觀者視線ノ中心ニ當リ一目瞭然タリ夫レ商標ノ類似ハ商標其者ノ類似タラサルヘカラス商標中ノ文字若ハ圖畫中ノ幾分ノ類似ハ決シテ商標ノ類似ニアラス從テ商標權ノ侵害若クハ撞着ヲ來タスヘキモノニアラスト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件請求人ノ登錄商標ト被請求人ノ使用商標トハ種源ナル文字ノ配置、太陽ノ圖形ノ全形ナルト半形ナルト、後者ハ特ニ富士山ノ圖形ヲ有スルトニ於テ差異アリ對比的觀察ニ於テハ差別ナキニアラスト雖モ其要部タル種源ノ二字及太陽ノ圖形ニ於テ相類似シ而モ普通商品ノ需要者ハ商品ヲ購買スルニ當リ商標ノ要部ニシテ相類似スルニ於テハ同一商品ナリト爲シ必スシモ商標ノ全形ヲ對比精査シテ之レカ異同ヲ

甄別スルモノニアラサルカ故ニ前記ノ差異以テ取引上一般需用者ノ注意ヲ惹起スルニ足ラス從テ兩商標ハ相類似シ撞着スルモノト認定ス
仍テ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ商標(甲第十號乃至甲第十九號)ノ使用ハ第五〇三五號登錄商標ノ專用權ニ屬ス
明治三十八年十一月十一日於特許局

審判長 特許局長 磯部 正春
特許局事務官 松田 啓太郎
特許局事務官 秋山 清

第九百四十八號

大阪市北區東梅田町番外二百二十一番屋敷 請求人 小野岡 八五郎
大阪市東區伏見町二丁目一番屋敷 被請求人 谷 新 助

右小野岡八五郎ヨリ谷新助ニ對シ第一九七二七號商標ノ登錄ハ丸藥ニ付キ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタル處審理中被請求人谷新助ヨリ前記商標指定商品中丸藥ニ對スル專用權ヲ拋棄シタルニヨリ本件請求ノ目的物ハ消滅セルモノトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
本件請求ハ之ヲ却下ス

明治三十八年十一月二十七日於特許局

審判長 特許局事務官 中松 盛雄
特許局事務官 松田 啓太郎
特許局事務官 秋山 清

第八百八十號

神戸市下山手通八丁目外百九十番邸摺附木製造業 請求人 森井 棧太郎
東京市京橋區日吉町二十番地特許代理業者 右代理人 原 嘉 道
大阪市北區兔野町七百八十六番地摺附木業 被請求人 備仲 平 一郎
大阪市東區北濱三丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 松岡 歸 之

右森井棧太郎ヨリ備仲平一郎ニ對シ第一八〇二一號商標登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ第一八〇二一號登錄商標ハ無効ト審決セラレタシ請求人カ明治三十四年五月二十三日第一五八五二號ヲ以テ登錄ヲ受ケ摺附木ニ使用スル商標ハ兩箇ノ相對立スル唐獅子ヲ主要ナル部分トシ他ニ附記ノ部分アルモ離隔的觀察ニ於テハ主要部分ノミ人目ニ映シ該商標ヲ附シタル摺附木ハ普通ニ向ヒ獅子ト稱セラル、ナリ而シテ被請求人カ明治三十五年十月三日第一八〇二一號ヲ以テ登錄ヲ受ケ摺附木ニ使用スル商標ハ兩箇ノ相對立セル普通ノ獅子ヲ寫シ之ヲ主要部分トナスモノニシテ人頭及半地球形ハ附記ノ部分ニ過キス離隔的觀察ニ於テハ只兩箇ノ獅子ノ相對立スルヲ認メ得ヘキノミニシテ該商標ヲ附シタル商品ハ向ヒ獅子印ト稱セラルヘキナリ右二箇ノ商標ヲ對比シテ觀察セハ附記ニ付テハ彼此相

異ナルモ多數需要者カ商品ヲ購求スルニハ其商標中著明ノ一片又ハ商標ヨリ生スル自然ノ稱呼ニ依リ何人ノ製品ナルヤヲ速斷スルヲ常トスルヲ以テ本件ノ如ク主要部分カ共ニ對立セル兩箇ノ獅子ニシテ一ハ唐獅子一ハ普通ノ獅子ニ過キサルカ如キ場合ニ於テハ離隔的觀察上相似タルヲ免レサルノミナラス商標ノ稱呼モ亦同一ナルヲ以テ被請求人ノ登録商標ハ商標法第二條第四號ニ該當スルモノナリ且被請求人ハ第一八〇二二號商標登録後多ク之ヲ使用セス却テ之ニ類似セル商標ヲ使用シ其ノ商標ハ被請求人ノ登録商標ト類似スルト同時ニ請求人ノ登録商標ニ類似セリ之ニ依ルモ第一八〇二二號商標ハ些少ノ變更ニ依リ第一五八五二號商標ト同一圖形ト爲スヲ得ルヲ知ルヘク以テ本件所爭ノ商標ノ類似ナルコトヲ認ムルヲ得ヘシ被請求人ハ請求人カ審判請求ノ商標登録番號訂正ノ申立ヲ爲シタルニ對シ其申立ヲ否認シ本請求ハ却下セラルヘキモノナリト主張スト雖モ請求人ノ審判ヲ求メタル目的物ハ當初ヨリ被請求人ノ使用スル甲第二號登録商標(明治三十五年十月三日登録)ニ在リタルハ明ニシテ只登録番號ヲ誤記シタルニ過キス之カ訂正ニ依リ審判ノ目的物變更セラレサルモノトセハ偶々番號ノ表示ヲ誤リタリト理由ヲ以テ請求ノ却下ヲ主張シ得ヘキモノニアラス又被請求人ハ請求人ノ商標登録ヲ以テ商標法違反ナリト主張スト雖モ商標法第十條但書ノ規定アル以上ハ被請求人主張ノ如キ事實ナリトスルモ請求人ノ登録商標ハ今日ニ於テハ絶對的有效ニシテ被請求人ノ登録商標ハ第一六四四號商標ノ繼續ニアラス從テ請求人カ明治三十四年五月二十三日附ヲ以テ登録ヲ受ケタル商標ニ對抗シ優等ノ權利ヲ得ヘキ理由ナキモノナリト云フニ在リ而シテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ハ第一八〇三號商標登録無効ノ審判ヲ請求シタルモ同番號ノ商標ハ被請求人ニ於テ所有シ居ラサルニ依リ本件ハ却下セラレタシ而シテ請求人カ本件審判請求書中第一八〇三號トアルヲ第一八〇二二號ト訂正ストノ申立ハ之ヲ否認スルヲ以テ本件ハ結局却下セラレタシ假ニ右ノ

訂正ハ理由アルモノトスルモ甲第一號證ト甲第二號證商標トヲ對比セハ前者ハ異様ノ唐獅子カ對立シ花紋ノ如キモノヲ持スル圖形ヨリ成リ後者ハ地球儀ト弗形トヲ横置シ其左右ニ二頭ノ普通ノ獅子カ前足ヲ掛ケ立チ上ル圖形ヨリ成ルモノニシテ請求人主張ノ如ク此部分ヲ重要トシ彼ノ部分ヲ附記トスルカ如キ區別ノ意義ナク總テノ部分ノ結合ヨリ成レル商標ナレハ兩者ヲ望見スルトキニ於テモ互ニ特殊ノ外觀著明ニシテ混同誤認スルノ恐ナキモノナレハ之ヲ類似商標ナリトスル請求人ノ主張ハ理由ナキモノナリ又被請求人ハ明治二十年三月十二日登録ヲ出願シ明治二十年五月二十五日第一六四四號ヲ以テ登録證ヲ下附セラレタルモノナルカ右商標ノ專用權滿期ニ當リ其ノ商標ノ續用ヲ出願スルコトヲ怠リ失効トナリタルモ現行商標法ノ下ニ於テ同法第二條第四號ニ依リ失効後一年以內ニ再ヒ本件第一八〇二二號商標ノ登録ヲ受ケタルモノニシテ假ニ請求人主張ノ如ク本商標カ類似ナリトスレハ請求人ハ本來商標法第二條第四號ニ違反シ被請求人ノ專用權期間內ニ登録ヲ受ケタル違法アルモノニシテ却テ優先ノ專用權者タル被請求人ノ登録商標ヲ無効ト爲サントスルハ不當ノ甚シキモノナリ要スルニ請求人ノ請求ハ相立タサルモノト審決セラレタシト云フニ在リ而シテ右申立ヲ確ムル爲メ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ハ審判請求書中ニ被請求人ノ商標登録番號第一八〇三號トアルヲ第一八〇二二號ト訂正シタルヲ否認シ本件ハ却下セラルヘキモノナリト申立ツルモ審判請求書ニ於テハ請求ノ要旨ニ「明治三十五年十月三日附第一八〇三號登録商標云々」ト記載シ又理由中ニ「被請求人ハ明治三十五年十月三日附第一八〇三號ヲ以テ甲第二號證圖形ノ商標ヲ摺附木ニ使用スル爲メ登録ヲ受ケタリ」ト記載シアリ而シテ被請求人カ明治三十五年十月三日附ヲ以テ摺附木ニ付登録ヲ受ケタル甲第二號證商標ノ登録番號ハ第

一八〇二一號ナルヲ以テ本件審判請求ノ目的物ハ第一八〇二一號登錄商標ナルコト當初ヨリ明ナリ然レハ第一八〇〇三號ト記載シタルハ全ク誤記ニ過キサルニ依リ第一八〇二一號ト訂正スルコトハ商標法施行細則第十七條ニ依ル特許法施行細則第九條第一項但書ノ規定ニ係ル請求ノ要旨ヲ變更スルモノナリト謂フヲ得ス

依テ本件審判請求ハ之ヲ却下スヘキ理由ナシ而シテ本件所争ニ係ル商標ヲ閱スルニ第一八〇二一號商標ハ地球儀ト圓形内ニ人首ヲ畫キタルモノトヲ輪違ニ重ネ左右ヨリ二頭ノ獅子前足ヲ之ニ掛ケテ相對シ其上邊ニ外國文字ヲ記入セル布形ノ欄ヲ設ケ下邊ニ外國文字ヲ記シ子母線橫長方形ヲ以テ之ヲ圍ミタルモノ第一五八五二號登錄商標ハ花紋様ノ圓形ヲ左右ヨリ二頭ノ獅子前足ヲ之ニ掛ケテ相對シ其上邊弧狀欄ニ外國文字ヲ記シ其上部左右ニ唐草模様ヲ畫キ下邊ニモ欄ヲ設ケ其ノ内外ニ外國文字ヲ記シ橫長方形ノ輪郭ヲ以テ之ヲ圍ミタルモノニシテ兩商標ヲ對比スルトキハ前記各部分ニ種々ノ差異ノ存スルヲ認ムヘシ然ルニ一般消費者カ商品ノ選擇ヲ爲スニ當リ商標ニ依リ之ヲ甄別スルニハ商標ノ對比精査ヲ爲スモノニアラスシテ商標中主要著明ナル標識ニ注目スルコト市場ノ常態ナリ而シテ第一八〇二一號及第一五八五二號兩商標中主要著明ナル標識ハ共ニ相向ヘル二箇ノ獅子ノ圖ニ存シ其獅子タルハ普通ノ獅子ニシテ他ハ唐獅子タル差異アルモ其差異タル彼此商標ノ甄別上注目ヲ值スルニ足ラス故ニ前記二箇商標ハ主要著明ノ標識タル相向ヘル二箇ノ獅子ノ圖相酷似シ市場ニ於テ彼是混同誤認ヲ免レサルモノナルニ依リ第一八〇二一號商標ハ第一五八五二號商標ニ類似スルモノナリト謂ハサルヘカラス而シテ後者商標ハ明治三十四年二月二十六日出願シ同年五月二十三日登錄ヲ受ケテ摺附木ニ使用シ前者商標ハ其登錄後即チ明治三十五年八月六日出願シ亦摺附木ニ使用スルモノナレハ第一八〇二一號商標ハ商標法第二條第四號ノ規定ニ該當スルモノトス被請求人ハ本件商標ハ明治二十年五月二十五日登錄ヲ受ケタル第一六四四號ノ規定ニ該當スルモノトス被請求人ハ本件商標ハ明治二十年五月二十五日登錄ヲ受ケタル第一六四四號

商標ノ專用權期間滿了後一年以内ニ出願シテ登錄ヲ受ケタルモノナルカ故ニ假ニ本商標カ類似ナリトスレハ第一八〇二一號商標ハ本來商標法第二條第四號ニ該當シ被請求人ノ專用權期間内ニ登錄ヲ受ケタル違法アルモノナルヲ以テ却テ優先ノ專用權者タル被請求人ノ登錄商標ニ對抗スルヲ得スト主張スト雖モ第一五八五二號商標ハ明治二十七年五月二十四日以後ハ登錄後二年ヲ經過シ居レルヲ以テ商標法第十條但書ニ依リ被請求人ハ同商標カ同法第二條第四號ノ規定ニ該當ストノ理由ニ依リ其登錄ノ無效ヲ主張シ得ヘキモノニアラス之ニ反シテ請求人カ明治三十五年十月三日更ニ新規登錄ヲ受ケタル第一八〇二一號商標ニ對シ同商標カ商標法第二條第四號ノ規定ニ該當ストノ理由ニ依リ同第十條ニ依リ其登錄無効ノ審判請求ヲ爲スハ妨クル處ナシ要之第一八〇二一號商標ハ商標法第二條第四號ノ規定ニ該當シ登錄ヲ受ケルヲ得サリシモノナルニ依リ商標法第十條ニ依リ其ノ登錄ハ無効ナリトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第一八〇二一號商標ノ登錄ハ無効トス
明治三十八年十一月二十八日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局事務官 別 府 丑 太 郎
特許局事務官 宮 内 國 太 郎

第九百十七號

東京市神田區錦町一丁目二番地

請 求 人 仁 藤 安 太 郎

大阪市東區本町二丁目二十三番地

被請求人 角 利 吉

大阪市東區島町一丁目五十六番屋敷特許代理業者

右代理人 川 口 秀 臣

右仁藤安太郎ヨリ角利吉ニ對シ第一九七七五號商標登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有スル第一九七七五號商標登録ハ無効ナリト審決セラレ度其理由ハ本件商標ハ數多ノ黑點ヲ有スル圓形ノ下方ニ突出スル區畫ヲ附シ其上方ニ車輪ノ面上ニ半人半馬ノ圖及ヒ Centaur ト記セル區畫ヲ現ハシタルモノニシテ明治三十六年四月二十五日其登録ヲ出願シ同年七月十六日登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ該商標ハ元來英國ゼーニユーセンタウルサイクルコンパニーノ製造ニ係ル「センタウル」號自轉車ニ専用セラレ該自轉車ニ附着シテ輸入セラル、モノニシテ請求人ハ勿論其他當業者ニ於テ商標法施行前即チ明治三十二年七月一日前ヨリ使用スル所ナリ被請求人ハ同一商品タル自轉車ニ使用スル爲メ該商標ノ附記ノ部分タル社名産地等ヲ削除シ前記登録ヲ受ケタルニ過キササルモノナルヲ以テ本件商標ハ商標法第二條第五號及ヒ同第十條ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第八號證ヲ提出シ且人證ノ申立ヲ爲セリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決セラレ度其理由ハ請求人ハ被請求人カ所有ニ係ル本件登録商標ヲ無効タラシメントシテ甲第一號證乃至第八號證ヲ提出シ商標法施行前ヨリ本件登録商標ト同一ノ商標ヲ同一商品ニ附シアリシコト及ヒ西曆千八百九十八年即チ明治三十一年七月以來引續キ該商品ヲ輸入シテ該商標ノ使用サレツ、アリシコトヲ主張スト雖モ請求人ハ證據物ノ副本送附ヲナサス適法ニ立證セサルヲ以テ總テ之ヲ否認ス若シ假リニ右立證ヲ適法ナリトスルモ甲第二號證乃至第四號證及ヒ甲第六號證甲第七號證ノ如キハ隨時隨意ニ之ヲ作成スルコトヲ得ルニ依リ何等證據力ナキヲ以テ絶對的

ニ之ヲ否認ス又甲第五號證ハ之ヲ閱覽セサルモ請求人ノ主張ニ依リ本件ニ何等關係ナキモノト認ムルヲ以テ敢テ茲ニ辯論ヲ用ヒスト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件第一九七七五號登録商標ト類似ノ商標カ同一商品ニ對シ明治三十二年七月一日以前ヨリ引續キ帝國内ニ於テ他人ニ依リ使用セラレタルモノナルコトハ證人申村六彌ノ證言中明治二十九年末頃ヨリ明治三十二年四月マテ使用シテ居リマシタ其後モ引續キ使用シテ居リマシタ云々トアルニ依リテ之ヲ認知スルコトヲ得ヘシ故ニ本件登録商標ハ商標法施行以前ヨリ既ニ他ニ使用者アリタルモノニシテ商標法第二條第五號ニ該當シ同第十條ニ依リ其登録ハ無効タルヘキモノトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第一九七七五號商標登録ハ無効トス

明治三十八年十二月十三日於特許局

審判長 特許局事務官 中 松 盛 雄
特許局事務官 松 田 啓 太郎
特許局事務官 別 府 丑 太 郎

第九百四號

神戸市京町七十五番地支那輸出入銀行株式會社右代表者

請 求 人

ハルトウイヒ、ペーテ

東京市京橋區明石町四十八番地特許代理業者
大阪市南區難波櫻川町二丁目四千九百五十八番屋敷

右代理人 ヘルマン、ケスレル
被請求人 成瀬 治 三郎

右支那輸出入銀行株式會社ヨリ成瀬治三郎ニ對シ第二二八七八號商標登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求
シタル處該商標ハ請求前成瀬治三郎ヨリ寺村民藏ニ讓渡シタルヲ以テ成瀬治三郎ニ對シテハ審判ヲ請求
スルコトヲ得サルモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
本件請求ハ之ヲ却下ス

明治三十八年十二月十五日於特許局

審判長 特許局長 織 田 一
特許局事務官 松 田 啓 太郎
特許局事務官 宮 内 國 太 郎

第九百十九號

神戸市京町七十五番地支那輸出入銀行株式會社代表者

請 求 人 ハルトウイヒ、ペーテ

東京市京橋區明石町四十八番地特許代理業者

右代理人 ヘルマン、ケスレル

大阪市南區難波櫻川町二丁目四千九百五十八番屋敷

被請求人 寺 村 民 藏

右ハルトウイヒ、ペーテヨリ寺村民藏ニ對シ登録第二二八七八號商標ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シ

タルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ第二二八七八號登録商標ノ登録ハ無効ナリト審決セラレタシ其理由ハ請求人ハ第二二八七八號第一三二八三號第一三二八四號第一三二八五號等商標ヲ専用シテ第二二八七八一四號商標ノ圖形ハ鋸齒狀ニ屈折セル數線ヨリ成ル圓形内部ニ細横線ヲ填充セル圓形ヲ主眼トシ其面上ニ謙信洋行ナル文字ヲ副章トシテ明治三十八年一月三十一日再審査ノ上登録セラレタルモノニシテ第二二八七八號商標ト對照セハ圖形及洋行ナル文字モ同一ナルニ依リ標章上相混同シ易キハ勿論稱呼上判然區別ヲ有セサルモノト認ムルニ依リ類似商標ナリトス且大成洋行ノ文字ハ普通使用セラル、會社名ナルヲ以テ商標法第二條第六號ニ該當シ登録ヲ受クルヲ得サルモノナリト云フニ在リ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ請求ハ之ヲ却下セラレタシ其理由ハ第一三二八三號第一三二八四號第一三二八五號及第一三二八五號登録商標ハ其指定商品本件第二二八七八號登録商標ノ指定商品トハ全然別種ノモノニシテ本件ニ何等關係ヲ有セサルヲ以テ答辯スルノ必要ヲ認メス而シテ請求人所有ノ第二二八一四號登録商標ト本件登録商標トヲ對比スルニ鋸齒狀ヨリ成ル圓形ノ外圍ニ於テ双方少ク相類似スルノ嫌アリト雖モ第二二八一四號商標ハ圓形ニ白文字ヲ以テ縱ニ謙信洋行ト大書シアリ然ルニ本件登録商標ハ圓形内ニ横ニ橢圓形ノ白地ヲ置キ其内ニ縱ニ大成ト其左右ニ洋行ト記シタルモノニシテ全形ニ於テ著シキ差異アリテ毫モ類似スルノ點ヲ認メス全然別異ノ商標ニシテ双方相混同スル虞ナシト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ハ第二二八一四號登録商標ハ圓形内ニ白文字ヲ以テ縱ニ謙信洋行ト大書シアアルモ本件商標ハ圓形内ニ横ニ橢圓形ノ白地ヲ置キ其内ニ縱ニ大成ト其左右ニ洋行ト記シタルヲ以テ兩商標ハ全形ニ於テ甚